

石黒忠憲関係文書目録

書簡の部……1p
書類の部……69p

国立国会図書館憲政資料室
2011年2月現在

石黒忠憲関係文書目録

資料 番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文 庫情報
書簡の部												
日本人書簡												
1	青木周蔵書簡	書簡	青木周蔵	石黒男爵殿	大正2	6	9	墨書	1	通		封筒
2	青木周蔵カ書簡	書簡	周蔵カ	况翁閣下		1	19	墨書	1	通		封筒
3	青木周蔵書簡	書簡	青木周蔵	石黒光醒		4	29	墨書	1	通		封筒
4	青地幾次郎書簡	書簡	湛海	半月庵尊台		4	3	墨書	1	通	番号4、137A、573、1107、1122、1190、1201、1257は同綴。和敬会関係。紐をはずし1点ごとに採録した。綴紐を同封。	
5	青地幾次郎書簡	書簡	幾次郎	半月庵尊主		3	26・ 31	墨書	2	通	同綴	封筒
6	青地幾次郎書簡	書簡	湛海	帰雲亭主公		10	5	墨書	1	通	番号6～7は同封。	封筒
7	青地幾次郎書簡	書簡	湛海	帰雲亭主公		11	21	墨書	1	通	番号6～7は同封。	
8	青山胤通書簡	書簡	青山胤通	石黒先生	[大正元]	8	4	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
9	青山胤通書簡	書簡	青山胤通	男爵石黒先生		5	22	墨書	1	通		封筒、翻 刻原稿
10	青山胤通書簡	書簡	青山胤通	男爵石黒忠憲様		8	8	墨書	1	通		封筒
11	青山胤通書簡	書簡	青山胤通	男爵石黒先生				墨書	1	通		封筒
12	赤坂の黒仏書簡	書簡	赤坂の黒仏	石黒先生				墨書	1	通	番号12、157は同封。	
13	明石元二郎書簡	書簡	明石元二郎	石黒男爵閣下	[大正2]	1	1	墨書	1	通	年代は消印より推定。封筒上書き「朝鮮京城和城台」あり。	封筒
14	赤塚輯書簡	書簡	赤塚輯	石黒様		7	27	墨書	1	通		封筒
15	赤塚輯書簡	書簡	輯	石黒様		7	30	墨書	1	通		封筒
16	赤塚輯書簡	書簡	輯	石黒様			10	墨書	1	通		封筒
17	赤塚輯書簡	書簡	輯	牛込様			13	墨書	1	通		封筒
18	秋月新太郎書簡	書簡	秋新	石黒男爵閣下	[明治43]	1	1	墨書	1	通	番号18と19は同封。年代は消印より推定。年賀状	封筒
19	秋月新太郎書簡	書簡	秋月新太郎				28	墨書	1	通	番号18と19は同封。宛先は未記入。裏面に新聞記事「鳩山正四位夫人」が貼付。	
20	浅田信興書簡	書簡	浅田信興	石黒賢台		3	20	墨書	1	通		封筒
21	浅田徳衛書簡	書簡	徳衛	石黒賢台		2	9	墨書	1	通		封筒、翻 刻原稿

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
22	浅田徳衛書簡	書簡	徳衛	石黒賢台		2	13	墨書	1	通		封筒
23	旭玉山書簡	書簡	旭玉山	男爵石黒先生	[大正元]	8	21	墨書	1	通	年代は消印より推定。端裏に付箋「旭玉山」あり。	封筒、翻刻原稿
24	朝比奈知泉書簡	書簡	知泉	石黒大人		7	29	墨書	1	通		封筒
25	浅山郁次郎書簡	書簡	郁次郎	石黒国手		7	5	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
26	蘆原信之書簡	書簡	在岡山 蘆原信之	石黒男爵閣下	明治43	1	1	墨書	1	通		封筒
27	足立寛書簡	書簡	寛	男爵石黒閣下	[明治30]	10	2	墨書	1	通	年代は内容より推定。明治30年に陸軍軍医総監を「円満辞職」。	封筒、翻刻原稿
28	足立寛書簡	書簡	足立軍医正	石黒総監閣下		2	5	墨書	1	通		封筒
29	安達基平書簡	書簡	片貝 安達基平	東京 石黒先生	明治17	1	21	墨書	1	通	番号29と1769は同封。	封筒
30	安達基平書簡	書簡	安達基平	石黒大先生		7	7	墨書	1	通		封筒
31	阿部貞次郎書簡	書簡	阿部貞次郎	石黒男爵閣下		3	27	墨書	1	通		封筒
32	雨宮敬次郎書簡	書簡	雨宮敬次郎	石黒様		9	14	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
33	荒川邦蔵書簡	書簡	邦蔵	石黒賢台		10	20	墨書	1	通		封筒
34	荒木カ寅三郎書簡	書簡	寅三郎	石黒先生		1	15	墨書	1	通		封筒
35	荒木カ寅三郎書簡	書簡	寅三郎	石黒子爵		3	21	墨書	1	通		封筒
36	有賀長雄書簡	書簡	長雄	石黒男爵閣下		12	19	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
37	有阪長章書簡	書簡	長章	半月庵宗近閣下		1	14	墨書	1	通		封筒
38	有阪長章書簡	書簡	長章	半月庵宗近閣下		6	29	墨書	1	通		封筒
39	有馬太郎書簡	書簡	有馬太郎	総監閣下	明治23	11		墨書	1	通	裏面「栄転祝賀」が貼付。	封筒
40	有馬太郎書簡	書簡	有馬太郎	石黒軍医総監	明治36	1	1	墨書	1	通		封筒
41	有馬太郎書簡	書簡	有馬太郎	男爵石黒忠憲閣下	[大正6]	9	18	墨書	1	通	軍事郵便。年代は消印より推定。	
42	有馬太郎書簡	書簡	有馬太郎	石黒先生	大正12	2	9	墨書	1	通		封筒
43	有馬太郎書簡	書簡	有馬太郎	石黒軍医総監閣下		2	6	墨書	1	通		封筒
44	[有馬太郎ほか10名明治28年年賀状]	書簡	有馬太郎ほか10名	石黒忠憲	明治28	1	1	墨書	11	通		封筒
45	安藤正胤書簡	書簡	安藤正胤	陸軍医総監石黒忠憲	[明治28]	6	10	墨書	1	通	年代は内容より推定。	封筒、翻刻原稿

石黒忠恵関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
46	飯島茂書簡	書簡	茂	石黒閣下	[明治30]	10	14	墨書	1	通	年代は内容より推定。「円満辞職」につき。	封筒、翻刻原稿
47	飯島茂書簡	書簡	陸軍三等軍医正 飯島茂	石黒男爵閣下	明治38	1	6	墨書	1	通	軍事郵便。年代は消印より推定。	
48	飯島茂書簡	書簡	在山東 出征第十八師団軍医部 飯島茂	男爵石黒忠恵閣下	大正3	11	15	墨書	1	通	封筒上書き「軍事郵便(朱筆)」あり。	封筒
49	飯島茂書簡	書簡	於漢城西方龍山 茂	石黒総監閣下		7	7	墨書	1	通		封筒
50	飯田清太書簡	書簡	飯田清太	石黒子爵閣下	[大正10]	5	10	墨書	1	通	年代は内容より推定。大正10年の丹那トンネルの事故につき。端裏に「飯田清太」の付箋あり。	封筒、翻刻原稿
51	井口省吾書簡	書簡	省吾	石黒霜台閣下	[大正2]	11	28	墨書	1	通	年代は内容より推定。本郷房太郎次官の任期が大正2年5月7日～同3年4月17日。	封筒
52	井口省吾書簡	書簡	豊橋ニテ 井口省吾	石黒男爵閣下		5	14	墨書	1	通		封筒
53	池田有親書簡	書簡	[池田有親]		明治38	11	12	ペン	1	通	史料劣化につき取り扱い注意。宛先は未記入。	
54	池田有親書簡	書簡	池田有親	石黒忠恵殿	明治39	1	1	墨書	1	通		封筒
55	池田謙斎書簡	書簡	池田	石黒賢台		1	16	墨書	1	通	端裏に付箋「池田謙斎」あり。	封筒
56	池田謙斎書簡	書簡	池田謙斎	石黒総監		3	21	墨書	1	通		封筒
57	伊崎良熙書簡	書簡	良熙	男爵石黒閣下		3	9	墨書	1	通		封筒
58	伊崎良熙書簡	書簡	良熙	男爵石黒閣下		10	19	墨書	1	通		封筒
59	石井邦猷書簡	書簡	邦猷	石黒賢台		3	24	墨書	1	通		
60	石井邦猷書簡	書簡	石井邦猷	石黒忠恵様		4	29	墨書	1	通		封筒
61	石井邦猷書簡	書簡	邦猷	石黒老台		9	14	墨書	3	通	貼り合せ。	封筒、翻刻原稿
61-A	石井忠亮書簡	書簡	石井忠亮	石黒男爵		5	23	墨書	1	通		封筒
62	石井良斎書簡	書簡	石井良斎	石黒閣下・同令夫人	大正3	6	25	ペン	2	通	石井豊作からの死亡通知が同封。	封筒
63	石川良信ほか書簡	書簡	石川軍医正・林軍医鑑・松本軍医総監	石黒軍医正	[明治9]	4	31	墨書	1	通	年代は内容より推定。台湾出兵につき。	封筒
64	石黒久賀書簡	書簡	東京ニテ 石黒久賀	軍医総監博士士 リットル・フォン・ローツベッキ令夫人閣下				墨書	1	通	陸軍省の用箋を使用。	

石黒忠恵関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
65	石黒忠恵書簡	書簡	医学所句読助教 石黒恆太郎	羽州米沢ヨリ越後新潟迄右宿村間屋年寄衆中	明治元	2	10	墨書	1	通	戊辰=1868年。	封筒
66	石黒忠恵書簡	書簡	石黒忠恵	小出老先生	明治33	12	22	墨書	1	通		封筒
67	石黒忠恵書簡	書簡	忠恵	伊東子爵閣下	明治35	12	20	墨書	1	通		
68	石黒忠恵書簡	書簡	於東京 男爵石黒忠恵	イー・ダブルユー・ユール君	明治36	9	21	墨書	1	通	「石黒氏私用箋」を使用。	
69	石黒忠恵書簡	書簡	忠恵	長崎閣下	明治38	9	1	墨書	1	通		
70	石黒忠恵書簡	書簡	日本赤十字社社長 男爵石黒忠恵	男爵石黒忠恵殿	大正9	8	21	墨書	1	通		封筒
71	石黒忠恵書簡	書簡	忠恵	長崎省吾様	大正9	7	26	墨書	1	通		
72	石黒忠恵書簡	書簡	石黒忠恵	日本赤十字社看護婦諸姉へ	昭和			墨書	1	通	年月日は空欄。	封筒
73	石田真書簡	書簡	石田真	石黒医博閣下		1		墨書	1	通		封筒
74	石原秀男書簡	書簡	長寿の客舎にて秀男	石黒男爵様		3	24	墨書	1	通	とじはずれ。	封筒
75	石原秀男書簡	書簡	石原秀男	石黒男爵殿		10	12	墨書	1	通	図表1点あり。	封筒
76	石原秀男カ書簡	書簡	石原	石黒賢台		7	5	墨書	1	通		封筒
77	伊豆凡夫書簡	書簡	伊豆凡夫	石黒老台		12	2	墨書	1	通		封筒
78	伊丹書簡	書簡	伊丹	石黒様		2	16	墨書	1	通		封筒
79	一木喜徳郎書簡	書簡	一木喜徳郎	石黒老閣	[大正9]	7	2	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
80	一木喜徳郎書簡	書簡	喜徳郎	石黒男爵侍曹		3	19	墨書	1	通		封筒
81	一戸兵衛書簡	書簡	兵衛	石黒子爵		9	22	墨書	1	通	端裏に「一戸兵衛」の付箋あり。	封筒
82	伊東祐麿書簡	書簡	伊東祐麿	石黒鳳台	[明治37]	6	9	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
83	伊東祐麿書簡	書簡	伊東祐麿	石黒閣下		5	13	墨書	1	通		封筒
84	伊東祐麿書簡	書簡	伊東祐麿	石黒忠恵様		9	6	墨書	1	通		封筒
85	伊東祐麿書簡	書簡	伊東祐麿	男爵石黒忠恵殿		11	11	墨書	1	通		封筒
86	伊東祐亨書簡	書簡	伊東祐亨	男爵石黒忠恵殿	明治28	8		墨書	1	通		封筒
87	伊東祐亨書簡	書簡	祐亨	男爵石黒忠恵殿	[明治35]	3	13	墨書	1	通	年代は消印より推定。封筒上書き「軍令部 伊東祐亨」あり。	封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
88	伊東祐亨書簡	書簡	祐亨	石黒閣下		3	19	墨書	1	通		封筒
89	伊東祐亨書簡	書簡	祐亨	石黒男爵閣下		5	1	墨書	1	通		封筒
90	伊東祐亨書簡	書簡	祐亨	石黒忠憲殿		7	23	墨書	1	通		封筒
91	伊藤雋吉書簡	書簡	宗幽	況斎閣下	[明治31]	11	10	墨書	1	通	年代は消印より推定。封筒上書き「荏原郡北品川 伊藤雋吉」あり。	封筒
92	伊藤雋吉書簡	書簡	宗幽	況斎閣下		7	7	墨書	1	通		封筒
93	伊藤雋吉書簡	書簡	宗幽	況翁閣下		11	15	墨書	1	通		封筒
94	伊東坦次郎書簡	書簡	赤十字病院二区八号一番室 伊東坦次郎	石黒閣下		11		墨書	1	通	年代は消印より推定。	
95	伊東方成書簡	書簡	伊東方成	男爵石黒総監殿		3	1	墨書	1	通	番号95、97は同封。	封筒
96	伊東方成書簡	書簡	伊東方成	石黒忠憲様		8	3	墨書	1	通		封筒
97	伊東方成書簡	書簡	伊東方成	男爵石黒忠憲殿		12	15	墨書	1	通	番号95、97は同封。	
98	伊東巳代治書簡	書簡	巳代治	石黒貴爵閣下	[大正12]	3	19	墨書	1	通	年代は消印より推定。封筒上書き「東京市麹町区永田町一丁目十七番地 伯爵伊東巳代治」あり。	封筒
99-A	伊東巳代治書簡	書簡	巳代治	石黒総監殿		3	28	墨書	1	通		封筒
99-B	伊東巳代治書簡	書簡	巳代治	石黒総監殿			28	墨書	1	通		
99	井上円了書簡	書簡	井上円了	石黒男爵殿	[明治40]	5	17	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
100	井上円了書簡	書簡	井上円了	男爵石黒先生	大正8	5	5	墨書	1	通	深井子之吉の名刺と「練武館入門者心得」が同封。	封筒
101	井上円了書簡	書簡	井上円了	男爵石黒先生		2	11	墨書	1	通		
102	井上馨書簡	書簡	八窓庵主	石黒忠憲殿	[明治43]	4	7	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
103	井上毅書簡	書簡	毅	石黒殿		6	20	墨書	1	通	番号103、104は同封。	封筒
104	井上毅書簡	書簡	毅	石黒殿		9	28	墨書	1	通	番号103、104は同封。	
105	井上毅書簡	書簡	井上毅	石黒軍医総監殿		12	14	墨書	1	通		封筒
106	井上仁郎書簡	書簡	井上仁郎			1	14	墨書	1	通	後欠。宛先は不明。	封筒
107	井上通泰書簡	書簡	井上通泰	況翁先生		1	16	墨書	1	通		封筒
108	井上通泰書簡	書簡	井上通泰	石黒先生		3	24	墨書	1	通		封筒
109	井上頼因書簡	書簡	頼因カ	石黒先生		8	6	墨書	1	通		封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
110	井上頼囃書簡	書簡	井上頼囃	石黒国手		9	13	墨書	1	通		封筒
111	茨木惟昭書簡	書簡	惟昭	石黒国手	[明治30]	9	5	墨書	1	通	年代は内容から推定。「円満辞職」につき。	封筒、翻刻原稿
112	茨木惟昭書簡	書簡	茨木惟昭	石黒総管殿		10	17	墨書	1	通		封筒
113	今井宗元書簡	書簡	今井宗元	石黒様	[大正2]	9	22	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
114	今井宗元書簡	書簡	今井宗元	石黒様		11	9	墨書	1	通	番号114、155、359、497、581、654、706、943、1138、1211、1217、1459は同綴。	
115	今橋知勝書簡	書簡	陸軍少将 今橋知勝	石黒軍医総監閣下	明治38	6	19	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
116	今村緝熙書簡	書簡	出征第二軍兵站監部にて今村緝熙	石黒忠憲閣下	[明治38]	2	11	墨書	1	通	軍事郵便。年代は消印より推定。	
117	井山文陽書簡	書簡	井山文陽	石黒先生		12	18	墨書	1	通		封筒
118	入江貫一書簡	書簡	入江貫一	石黒子爵閣下		6	1	墨書	1	通		封筒
119	岩崎嘉資書簡	書簡	在戦地 岩崎嘉資	男爵閣下	[明治37]	4	29	墨書	1	通	年代は消印より推定。封筒に「軍事郵便」の押印あり。	
120	岩崎嘉資書簡	書簡	歩兵第一連隊第五中隊 岩崎嘉資	石黒男爵閣下	[明治37]	7	7	墨書	1	通	年代は消印より推定。封筒に「軍事郵便」の押印あり。	
121	岩崎嘉資書簡	書簡	在広嶋 岩崎嘉資	石黒忠憲殿	[明治37]	12	19	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
122	岩佐純書簡	書簡	いわさ純	石黒先生		11	23	墨書	1	通		封筒
123	岩谷カ修書簡	書簡	修	石黒先生		5	24	墨書	1	通		封筒
124	上杉茂憲書簡	書簡	上杉茂憲	石黒忠憲殿		7	4	墨書	1	通		封筒
125	上田有沢書簡	書簡	上田有沢	石黒軍医総監閣下		6	25	墨書	1	通		
126	上田有沢書簡	書簡	上田有沢	石黒盟兄		8	9	墨書	1	通		封筒
127	上原勇作書簡	書簡	第四軍 上原勇作	男爵石黒殿	[明治38]	3	18	墨書	1	通	軍事郵便。年代は消印より推定。	
128	上原勇作書簡	書簡	上原勇作	恵閣下	[大正2]	9	21	墨書	1	通	年代は消印より推定。封筒上書き「摂津国西之宮町字夙川 上原勇作」あり。	封筒、翻刻原稿
129	上原勇作書簡	書簡	上原勇作	石黒様		6	15	墨書	1	通		封筒
130	宇佐川一正・賀古鶴所書簡	書簡	宇佐川一正・鶴所	石黒閣下	明治38	5・7	15・8	墨書	2	通	貼り合せ。	封筒
131	潮恵之輔書簡	書簡	恵之輔	石黒子爵閣下		1	25	墨書	1	通		封筒
132	内田周平書簡	書簡	内田周平	况齋石黒先生		3	5	墨書	4	通	貼り合せ。	封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料 番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文 庫情報
133	内田貞書簡	書簡	内田貞	石黒況齋先生		8	31	墨書	1	通		封筒
134	内海忠勝書簡	書簡	忠勝	石黒男爵閣下		1	19	墨書	1	通		封筒
135	梅錦之丞書簡	書簡	梅錦之丞	石黒一等軍医正殿		1	11	墨書	1	通		封筒
136	瓜生震書簡	書簡	瓜生震	况翁老台		1	2	墨書	1	通		封筒
137	瓜生震書簡	書簡	震	况翁老台		2	26	墨書	1	通	番号137、139、140、142は同封。	
138-A	瓜生震書簡	書簡	瓜生震	况翁老台		3	28	墨書	1	通	番号4、137-A、573、1107、1122、1190、1201、1257は同綴。	
138	瓜生震書簡	書簡	震	况翁老台		6	7	墨書	1	通		封筒
139	瓜生震書簡	書簡	震	揚場町様閣下		6	12	墨書	1	通	番号137、139、140、142は同封。	
140	瓜生震書簡	書簡	震	况翁閣下		9	7	墨書	1	通	番号137、139、140、142は同封。	
141	瓜生震書簡	書簡	震	揚場町様御奥		9	16	墨書	1	通		封筒
142	瓜生震書簡	書簡	震	况翁老台		12	12	墨書	1	通	番号137、139、140、142は同封。	封筒
143	瓜生震書簡	書簡	震	石黒男爵閣下		12	13	墨書	1	通		封筒
144	江木高遠書簡	書簡	江木高遠	石黒先生		10・ 3	29・ 25	墨書	3	通	貼り合せ。ただし3通目は後欠。	封筒
145	江原素六書簡	書簡	江原素六	男爵石黒忠憲殿		9	2	墨書	1	通		封筒
146	遠藤常二郎書簡	書簡	遠藤常二郎	鼎の耳、金の銃たる 廢物老台先生閣下		11	13	墨書	1	通		封筒
147	大井成元書簡	書簡	大井成元	石黒忠憲閣下		4	20	墨書	1	通		封筒
148	大内雄蔵書簡	書簡	大内雄蔵	况齋至座下		12	3	墨書	1	通		封筒
149	大浦兼武書簡	書簡	日英博覧会総裁 男 爵大浦兼武	男爵石黒忠憲殿	明治42	9	30	墨書	1	通	前欠	封筒
150	大久保利貞書簡	書簡	大久保利貞	石黒先生		3	24	墨書	1	通		封筒、翻 刻原稿
151	大久保春野書簡	書簡	大久保春野	石黒閣下	[明治30]	10	4	墨書	1	通	年代は内容より推定。「円満辞職」につき。	封筒、翻 刻原稿
152	大久保春野書簡	書簡	春野	石黒賢台		4	23	墨書	1	通		封筒
153	大久保春野書簡	書簡	大久保春野	石黒老台		11	26	墨書	1	通		封筒
154	大久保北隠書簡	書簡	大久保北隠	况齋様	[大正4]	3	17	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒

石黒忠恵関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
155	大久保北隠書簡	書簡	大久保北隠	石黒様		11	6	墨書	1	通	番号114、155、359、497、581、654、706、943、1138、1211、1217、1459は同綴。	
156	大倉喜八郎書簡	書簡	鶴彦	况斎閣下	[明治32]	12	30	墨書	1	通	年代は端裏「三十二年十二月卅日」より推定。	封筒
157	大倉喜八郎書簡	書簡	大倉生	石黒様	[明治44]	12	2	墨書	1	通	番号12、157は同封。年代は消印より推定。	封筒
158	大倉喜八郎書簡	書簡	鶴彦	况斎老台	[大正2]	10	27	墨書	1	通	年代は消印より推定。封筒に付箋「大倉喜八郎(3)」あり。	封筒
159	大倉喜八郎書簡	書簡	鶴彦	况斎老台	[大正2]	11	14	墨書	1	通	年代は消印より推定。封筒に付箋「大倉喜八郎(4)」あり。	封筒
160	大倉喜八郎書簡	書簡	会主 大倉鶴彦	男爵石黒忠恵様	大正3	3		墨書	1	通	感涙会関係。	封筒
161	大倉喜八郎書簡	書簡	鶴彦	况斎老台	[大正4]	3	23	墨書	1	通	年代は消印より推定。封筒に付箋「大倉喜八郎(6)」あり。	封筒
162	大倉喜八郎書簡	書簡	会主 大倉鶴彦	男爵石黒忠恵殿	大正4	3		印刷	1	通	感涙会関係。	封筒
163	大倉喜八郎書簡	書簡	大倉鶴彦	男爵石黒忠恵殿	大正5	3		墨書	1	通		封筒
164	大倉喜八郎書簡	書簡	鶴彦	况斎老台	[大正6]	2	23	墨書	1	通	年代は内容より推定。1917年2月に石黒が赤十字社の社長就任。端裏に付箋「大倉喜八郎(8)」あり。	封筒、翻刻原稿
165	大倉喜八郎書簡	書簡	会主 大倉鶴彦	男爵石黒忠恵殿	大正8	3		印刷	1	通	感涙会関係。端裏に付箋「大倉喜八郎(18)」あり。	封筒、翻刻原稿
166	大倉喜八郎書簡	書簡	鶴彦	况斎老台	[大正9]	2	18	墨書	1	通	年代は消印より推定。封筒に付箋「大倉喜八郎(5)」あり。	封筒、翻刻原稿
167	大倉喜八郎書簡	書簡	鶴彦	石黒子爵閣下	[大正9]	9	6	墨書	1	通	年代は内容から推定。子爵陞爵につき。封筒に付箋「大倉喜八郎(2)」あり。	封筒、翻刻原稿
168	大倉喜八郎書簡	書簡	会主 大倉鶴彦	子爵石黒忠恵閣下	大正10	3		印刷	1	通	感涙会関係。端裏に付箋「大倉喜八郎(16)」あり。	封筒
169	大倉喜八郎書簡	書簡	会主 大倉鶴彦	子爵石黒忠恵様	大正11	3		墨書	1	通	感涙会関係。	封筒
170	大倉喜八郎書簡	書簡	鶴彦	况斎大兄		1	11	墨書	1	通	裏面に付箋「大倉喜八郎(13)」あり。	封筒
171	大倉喜八郎書簡	書簡	鶴彦	况斎老台		3	1	墨書	1	通	番号171と182は同封。	封筒
172	大倉喜八郎書簡	書簡	鶴彦	况斎老台		3	10	墨書	1	通	端裏に付箋「大倉喜八郎(10)」あり。	封筒
173	大倉喜八郎書簡	書簡	大倉鶴彦	石黒忠恵様		3	27	墨書	1	通		封筒
174	大倉喜八郎書簡	書簡	鶴彦	石黒老兄		3	30	墨書	1	通	端裏に付箋「大倉喜八郎(9)」あり。	封筒
175	大倉喜八郎書簡	書簡	鶴彦	况斎老台		4	1	墨書	1	通	端裏に付箋「大倉喜八郎(15)」あり。	封筒
176	大倉喜八郎書簡	書簡	鶴彦	况斎老台		4	4	墨書	1	通	端裏に付箋「大倉喜八郎(7)」あり。	封筒
177	大倉喜八郎書簡	書簡	鶴彦	况斎老台		11	29	墨書	1	通	端裏に付箋「大倉喜八郎(11)」あり。	封筒
178	大倉喜八郎書簡	書簡	鶴彦	况翁閣下		12	20	墨書	1	通	端裏に付箋「大倉喜八郎(18)」あり。	封筒、翻刻原稿

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
179	大倉喜八郎書簡	書簡	鶴彦	况斎老台		12	25	墨書	1	通	端裏に付箋「大倉喜八郎(14)」あり。	封筒
180	大倉喜八郎書簡	書簡	大倉喜八郎	男爵石黒忠憲殿		12		墨書	1	通	端裏に付箋「大倉喜八郎(1)」あり。	封筒、翻刻原稿
181	大倉喜八郎書簡	書簡	鶴彦	况斎老兄			25	墨書	1	通	端裏に付箋「大倉喜八郎(12)」あり。	封筒
182	大倉喜八郎書簡	書簡	鶴彦	况斎老台				墨書	1	通	番号171と182は同封。	
183	大蔵平三書簡	書簡	大蔵平三	石黒閣下		6	28	墨書	1	通		封筒
184	大阪医事会同社秋期懇親会幹事書簡	書簡	大阪医事会同社秋期懇親会幹事大野 晚造ほか4名	〔石黒軍医監〕	明治16	10	6	墨書	1	通	幹事は大野晚造、和田玄治、山中篤衛、牛尾光碩、江藤俊吾の5名。	封筒
185	大迫尚敏書簡	書簡	大迫尚敏	男爵石黒総監閣下	〔明治30〕	10	3	墨書	1	通	年代は内容から推定。「円満辞職」につき。	封筒、翻刻原稿
186	大迫尚敏書簡	書簡	大迫尚敏	子爵石黒忠憲閣下	〔大正9〕	9	28	墨書	1	通	年代は内容より推定。子爵陞爵につき。端裏に付箋「大迫尚敏(2)」あり。	封筒、翻刻原稿
187	大迫尚敏書簡	書簡	大迫尚敏	男爵石黒忠憲殿		5	7	墨書	1	通	端に「五月十日着」(朱筆)あり。	封筒
188	大迫尚敏書簡	書簡	大迫尚敏	石黒男爵閣下		9	21	墨書	1	通	端裏に付箋「大迫尚敏(1)」あり。	封筒、翻刻原稿
189	大里書簡	書簡	大里	况翁先生		10	24	墨書	1	通		封筒
190	大沢謙二書簡	書簡	大沢謙二	石黒先生		12	9	墨書	1	通		封筒
191	大島健一書簡	書簡	健一	石黒男爵閣下	〔明治39〕	9	17	墨書	1	通	年代は内容より推定。児玉源太郎の死去(明治39年)	封筒
192	大島健一書簡	書簡	大島健一	石黒子爵閣下		3	12	墨書	1	通	端に「大島健一」と上書き。	封筒
193	大島健一書簡	書簡	大島健一	石黒男爵閣下		12	7	墨書	1	通		封筒
194	大島久直書簡	書簡	久直	石黒閣下		3	14	墨書	1	通	端裏に大島久直、大山大臣、大迫少将、徳大寺内大臣ほか4名の上書きあり。	封筒
195	大島義昌書簡	書簡	大島義昌	石黒閣下	〔明治27〕	8	6・20	墨書	4	通	同綴年代は内容より推定。牙城凱旋につき。	封筒
196	大島義昌書簡	書簡	義昌	石黒閣下	〔明治28〕	1	1	墨書	1	通	端に「在九連城大島少将年始状」と上書き。端裏に付箋「(2)大島義昌」あり。	封筒、翻刻原稿
197	大島義昌書簡	書簡	義昌	石黒閣下	〔明治44〕	3	9	墨書	1	通	年代は消印より推定。端裏に付箋「(1)大島義昌」あり。関東都督府民政署の封筒を使用。	封筒、翻刻原稿
198	大島義昌書簡	書簡	義昌	石黒閣下		3	20	墨書	1	通	端裏に付箋「(3)大島義昌」あり。	封筒、翻刻原稿
199	大島義昌書簡	書簡	義昌	石黒男爵閣下		7	10	墨書	1	通		封筒
200	大谷光尊書簡	書簡	本願寺門跡 大谷光尊	石黒軍医総監殿	明治28	10	11	墨書	2	通	貼り合せ。	封筒
201	太田正隆書簡	書簡	太田正隆	石黒様		3		墨書	1	通		封筒
202	太田正隆書簡	書簡	正隆	石黒賢台		10	23	墨書	1	通		封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
203	大塚幸三郎書簡	書簡	大塚幸三郎	石黒忠憲様		11	3	墨書	1	通		封筒
204	大槻如電書簡	書簡	如電	况翁大人	[大正3]	1	20	墨書	3	通	年代は消印より推定。漢詩、短歌が同封。	封筒
205	大槻如電書簡	書簡	如電	况翁大人	[大正11]	12	17	墨書	1	通	壬戌=1922年。端に「大槻如電」と上書きあり。	封筒
206	大槻如電書簡	書簡	大槻如電					墨書	1	通	宛先は未記入。	封筒
207	大鳥圭介書簡	書簡	大鳥圭介	石黒先生		5	2	墨書	1	通		封筒
208	大鳥圭介書簡	書簡	大鳥圭介	石黒閣下		6	10	墨書	1	通		封筒
209	大鳥圭介書簡	書簡	大鳥圭介	石黒先生		8	15	墨書	1	通		封筒
210	大鳥圭介書簡	書簡	於西京丸船中 大鳥圭介	石黒老国手		9	13	ペン	1	通		封筒
211	大鳥圭介書簡	書簡	大鳥圭介	石黒男爵		10	19	墨書	1	通	端に「大鳥圭介君」と上書きあり。	封筒
212	大西亀次郎書簡	書簡	大西	况斎学兄		1	24	墨書	1	通	『帝国陸軍編成総覧』第一巻(281頁)参照。	封筒
213	大沼涉書簡	書簡	涉	石黒賢台		1	22	墨書	1	通	番号213、1555は同封。	封筒、翻刻原稿
214	大沼涉書簡	書簡	大沼涉	石黒忠憲様		2	26	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
215	大沼涉書簡	書簡	大沼涉	石黒軍医監		7	21	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
216	大沼涉書簡	書簡	大沼涉	石黒様			17	墨書	1	通	端に「陸軍少将大沼涉君」と上書き。	封筒
217	大野孝七郎書簡	書簡	大野孝七郎	石黒忠憲様	[明治19]	10	27	墨書	1	通	破損。年代は消印より推定。	封筒、翻刻原稿
218	大野松斎書簡	書簡	大野松斎	石黒様		3		墨書	1	通		封筒
219	大田美農里書簡	書簡	大田美農里	石黒忠憲様		6	5	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
220	大野誠書簡	書簡	大野誠	石黒老台		3	10	墨書	1	通		封筒
221	大庭景陽書簡	書簡	大庭景陽	况斎男爵閣下	[明治35]	2	4	墨書	1	通	年代は内容より推定。貴族院議員勅選。	封筒
222	大庭二郎カ書簡	書簡	二郎	石黒老台		12	12	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
223	大庭二郎カ書簡	書簡	二郎	石黒老台			18	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
224	大原宗敬書簡	書簡	満洲西小弧山兵站司令部 大原宗敬	大本營 石黒軍医総監閣下		2	13	墨書	1	通		封筒
225	大平周禎書簡	書簡	大平周禎	石黒先生		11	27	墨書	1	通		封筒
226	大森鐘一書簡	書簡	鐘一	石黒閣下		1	21	墨書	1	通		封筒
227	大森鐘一書簡	書簡	鐘一	石黒先生		1	22	墨書	1	通		封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
228	大森鐘一書簡	書簡	鐘一	石黒老台		4	2	墨書	1	通		封筒
229	大山巖書簡	書簡	巖	石黒先生	[明治25]	10・2	7・21	墨書	3	通	貼り合せ。年代は消印より推定。	封筒
230	大山巖書簡	書簡	沼津ヨリ巖	石黒先生	[明治30]	12	3	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
231	大山巖書簡	書簡	巖	石黒老台	[明治30]	12	24	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
232	大山巖書簡	書簡	巖	石黒男爵殿	明治31	1・10	1・18	墨書	2	通	貼り合せ。	封筒
233	大山巖書簡	書簡	赫山老生	石黒老台	[明治45]	3	9	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
234	大山巖書簡	書簡	赫山	石黒先生		1	13	墨書	1	通		封筒
235	大山巖書簡	書簡	巖	石黒老台		5	2	墨書	1	通		封筒
236	大山巖書簡	書簡	巖	石黒老台		5	15	墨書	1	通		封筒
237	大山巖書簡	書簡	大山	石黒老台		5	25	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
238	大山巖書簡	書簡	沼津ニ於テ 巖	石黒男閣下		7	31	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
239	大山巖書簡	書簡	沼津 巖	石黒先生		8	13	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
240	大山巖書簡	書簡	沼津ニ於テ 巖	石黒男爵殿		8	13	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
241	大山巖書簡	書簡	巖	石黒男爵殿		8・11	18・9	墨書	2	通	貼り合せ。	封筒
242	大山巖書簡	書簡	巖	石黒先生		9	13	墨書	1	通		封筒
243	大山巖書簡	書簡	巖	石黒先生		10	2	墨書	1	通		封筒
244	大山巖書簡	書簡	巖	石黒老台			31	墨書	1	通		封筒
245	大山捨松書簡	書簡	大山捨松	石黒男爵様	[明治39]	3	4	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒、翻刻原稿
246	大野恒徳ほか書簡	書簡	大野恒徳 奥山玄仲 大野松雨	石黒忠憲様		3	13	墨書	1	通		封筒
247	岡市之助書簡	書簡	岡市之助	石黒男爵閣下	[大正2]	6	24	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
248	岡市之助書簡	書簡	市之助	石黒男爵閣下		4	6	墨書	1	通		封筒
249	岡市之助書簡	書簡	市之助	石黒閣下		11	19	墨書	1	通		封筒
250	岡謙蔵書簡	書簡	岡謙蔵	石黒様		11	28	墨書	1	通		封筒
251	岡崎維素書簡	書簡	淵沖	半月庵主		7	11	墨書	1	通		封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
252	岡崎生三書簡	書簡	生三	石黒閣下	[明治37]	10	27	墨書	1	通	番号252と1792は同封。年代は内容より推定。	封筒
253	岡崎生三書簡	書簡	生三	男爵石黒忠憲	[明治42]	11	12	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
254	岡崎生三書簡	書簡	於高崎旅舎 岡崎生三	石黒閣下		2	24	墨書	1	通	包紙(「中将岡崎生三手紙書記中」)あり。	封筒
255	岡崎生三書簡	書簡	岡崎生三	石黒閣下		2	27	墨書	1	通		
256	岡崎生三書簡	書簡	岡崎生三	石黒閣下		3	1	墨書	1	通		封筒
257	岡崎生三書簡	書簡	於鳳凰城 生三	石黒閣下		5	14	墨書	1	通		封筒
257-A	岡崎生三書簡	書簡	生三	石黒閣下		9	4	墨書	1	通		封筒
258	岡崎生三書簡	書簡	広島予備病院ニ於テ岡崎生三	石黒閣下		12	9	墨書	1	通		封筒
259	岡崎生三書簡	書簡	生三	石黒閣下			10	墨書	1	通		封筒
260	岡沢精書簡	書簡	精	石黒閣下		6	14	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
261	緒方惟準書簡	書簡	惟準	忠憲賢兄		3	3	墨書	1	通		封筒
262	緒方惟準書簡	書簡	緒方惟準	石黒総監殿		8	10	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
263	緒方惟準・芳江書簡	書簡	緒方惟準・同妻芳江	男爵石黒忠憲殿 同令夫人殿		4	8	墨書	1	通		封筒
264	岡田良平書簡	書簡	岡田良平	石黒男爵閣下		8	2	墨書	1	通		封筒
265	岡樫之助書簡	書簡	陸軍騎兵中尉 岡樫之助	石黒忠憲閣下	[大正2]	6	21	墨書	1	通	年代は端裏書から推定。名簿2枚が添付。	封筒
266	岡部長職書簡	書簡	長職	石黒先生		2	25	墨書	1	通		封筒
267	岡本兵四郎書簡	書簡	岡本兵四郎	石黒総監殿		8	6	墨書	1	通		封筒
268	岡本兵四郎書簡	書簡	岡本兵四郎	石黒軍医総監閣下		10	12	墨書	1	通		封筒
269	岡本兵四郎書簡	書簡	岡本兵四郎	石黒忠憲殿		11	24	墨書	1	通		封筒
270	小川玄節書簡	書簡	小川玄節	石黒老台		6	27	墨書	1	通		封筒
271	小川平吉書簡	書簡	小川平吉	石黒子爵閣下	[大正9]	10	2	墨書	1	通	第一回国勢調査(1920年)から年代を推定。端裏に付箋「(2)小川平吉」あり。	封筒、翻刻原稿
272	小川平吉書簡	書簡	平吉	石黒子爵閣下		9	15	墨書	1	通	端裏に付箋「(1)小川平吉」あり。	封筒、翻刻原稿
273	小川又次書簡	書簡	又次	石黒先生	明治29	2	5	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
274	小川又次書簡	書簡	小川陸軍中将	石黒忠憲殿	明治37	9	27	墨書	1	通	軍事郵便。年代は消印より推定。	

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
275	小川又次書簡	書簡	小川少将	石黒総管殿		2	25	墨書	1	通		封筒
276	小川又次書簡	書簡	又次	石黒先生		9	7	墨書	1	通		封筒
276-A	小川又次書簡	書簡	又次	石黒閣下		10	12	墨書	1	通		封筒
277	隠岐重節ほか書簡	書簡	隠岐重節、中野天心、遠藤周民、阪井重季	石黒閣下		2	7	墨書	5	通	貼り合せ	封筒
278	萩野由之書簡	書簡	萩野由之	石黒男爵殿		12	10	墨書	1	通		封筒
279	沖原光孚書簡	書簡	沖原光孚	男爵石黒忠憲閣下	[明治30]	10	4	墨書	1	通	年代は内容から推定。「円満辞職」につき。	封筒
280	沖守固書簡	書簡	守固	石黒男爵閣下	[大正元]	8	14	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
281	沖守固書簡	書簡	守固	石黒賢台		3	20	墨書	1	通		封筒
282	沖守固書簡	書簡	沖老生	石黒男爵閣下		11	5	墨書	1	通		封筒
282-A	沖守固書簡	書簡	守固	石黒総監閣下		11	9	墨書	1	通		封筒
283	大給恒書簡	書簡	恒	石黒先生		2	26	墨書	1	通		封筒
284	大給恒書簡	書簡	恒	石黒兄閣下		3	5	墨書	1	通		封筒
285	大給恒書簡	書簡	恒	石黒先生		3	26	墨書	1	通		
286	大給恒書簡	書簡	恒	石黒先生		6	3	墨書	2	通	貼り合せ。ただし1通目は後欠。	封筒
287	大給恒書簡	書簡	恒	石黒先生		7	12	墨書	1	通		封筒
288	大給恒書簡	書簡	恒	石黒先生		10	16	墨書	1	通		封筒
289	奥保鞏書簡	書簡	第二軍司令官 男爵奥保鞏	男爵石黒忠憲殿	明治37	5	23	墨書	1	通		封筒
290	奥保鞏書簡	書簡	奥保鞏	男爵石黒忠憲殿	[明治37]	11	20	墨書	1	通	軍事郵便。年代は消印より推定。	
291	奥保鞏書簡	書簡	保鞏	石黒賢台		6	12	墨書	1	通	「山県公書牘控目録14」が同封。	
292	奥保鞏書簡	書簡	保鞏	石黒老閣		7	24	墨書	1	通		封筒
293	奥義則書簡	書簡	奥義則	石黒老先生		9	3	墨書	1	通		封筒
294	尾崎三良書簡	書簡	尾崎三良	石黒男爵閣下	大正3	8	16	墨書	1	通		封筒
295	小山内建書簡	書簡	小山内建	軍医本部次官 陸軍医監 石黒忠憲殿	明治15	10	6	墨書	1	通	「広島鎮台」の用箋を使用。	封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
296	小沢武雄書簡	書簡	南窓	況齋先生		2	15	墨書	1	通	河原弥三郎『憲法五十年史』(昭和13年)、30頁を参照。	封筒
297	小沢武雄書簡	書簡	武雄	石黒閣下		11	14	墨書	1	通		封筒
298	小田耕岳書簡	書簡	出征第一軍後備歩兵第五旅団司令部付 従軍僧 小田耕岳	石黒軍医惣監閣下		1	1	墨書	1	通	軍事郵便。	
299	大谷喜久蔵書簡	書簡	大谷喜久蔵	石黒男爵閣下	大正8	7	30	墨書	1	通		封筒
300	小野敦善書簡	書簡	小野敦善	石黒閣下	明治33	6	7	墨書	3	通	貼り合せ。「和況翁先生之玉韻」同封。	封筒
301	小幡篤次郎書簡	書簡	小幡篤次郎	石黒賢台		6	21	墨書	1	通		封筒
302	香川敬三書簡	書簡	敬三	石黒様	[明治28]	1	22	墨書	1	通	年代は内容より推定。有栖川宮熾仁の危篤につき。明治28年1月25日に死亡。	封筒
303	香川敬三書簡	書簡	皇后宮大夫子爵 香川敬三	男爵石黒軍医総監殿	明治29	4	9	墨書	1	通		封筒
304	香川敬三書簡	書簡	敬三	石黒様		1	15	墨書	1	通		封筒
305	香川敬三書簡	書簡	皇后宮大夫香川敬三	陸軍軍医監石黒忠憲殿		1	28	墨書	1	通		封筒
306	香川敬三書簡	書簡	敬三	石黒様		1	28	墨書	1	通	端裏に付箋「香川敬三」あり。	封筒
307	香川敬三書簡	書簡	敬三	石黒様		1	31	墨書	1	通		封筒
308	香川敬三書簡	書簡	敬三	石黒様		2	19	墨書	1	通		封筒
309	香川敬三書簡	書簡	敬三	石黒男爵閣下		2	24	墨書	1	通		封筒
310	香川敬三書簡	書簡	敬三	石黒様		4	12	墨書	1	通		封筒
311	香川敬三書簡	書簡	香川敬三	石黒様		5	12	墨書	1	通		封筒
312	香川敬三書簡	書簡	敬三	石黒惣監殿		5	13	墨書	1	通	ロシア皇太子の容体(大津事件か)など	封筒
313	香川敬三書簡	書簡	敬三	石黒男爵閣下		5	27	墨書	1	通		封筒
314	香川敬三書簡	書簡	敬三	石黒様		6	8	墨書	1	通		封筒
315	香川敬三書簡	書簡	敬三	石黒軍医総監殿		6	22	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
316	香川敬三書簡	書簡	敬三	石黒様		7	25	墨書	1	通		封筒
317	香川敬三書簡	書簡	敬三	石黒様		7	26	墨書	1	通		封筒
318	香川敬三書簡	書簡	敬三	石黒様		8	4	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
319	香川敬三書簡	書簡	敬三	石黒様		9	18	墨書	1	通		封筒

石黒忠恵関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
320	香川敬三書簡	書簡	敬三	石黒様		9	24	墨書	1	通		封筒
321	香川敬三書簡	書簡	敬三	石黒様		10	24	墨書	1	通		封筒
322	香川敬三書簡	書簡	敬三	石黒様		10	29	墨書	1	通		封筒
323	香川敬三書簡	書簡	香川敬三	石黒様		11	4	墨書	1	通		封筒
324	香川敬三書簡	書簡	敬三	石黒総監殿		12	12	墨書	1	通		封筒
325	香川桜男書簡	書簡	桜男	石黒忠恵閣下	明治37	7	27	墨書	1	通		封筒
326	柿内曾次郎書簡	書簡	曾次郎	石黒閣下		5	22	墨書	1	通	端裏に付箋「柿内曾次郎」あり。	封筒、翻刻原稿
327	賀古鶴所書簡	書簡	鶴所	石黒男閣下		4	20	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
328	賀古鶴所書簡	書簡	賀古鶴所				31	墨書	1	通	後欠。宛先は未記入。	封筒
329	笠原親寧ほか書簡	書簡	笠原親寧 木村軍医部長 木村辰次 山野新太郎 林軍医正 西郷軍医正 十倉高行 谷口謙	石黒忠恵恩師閣下	明治28	9		墨書	8	通	貼り合せ。	封筒、翻刻原稿
330	笠原光雄書簡	書簡	光雄	石黒男爵閣下	[明治30]	10	25	墨書	1	通	年代は内容より推定。「円満辞職」につき。	封筒
330-A	笠原光雄書簡	書簡	光雄	石黒閣下	[大正9]	1	17	墨書	1	通	庚申=1920年。	封筒
331	笠原光雄書簡	書簡	光雄	石黒子爵閣下	[大正11]	4	15	墨書	1	通	端に「笠原光雄」と上書きあり。	封筒
332	笠原光雄書簡	書簡	光雄	石黒様		2	26	墨書	1	通		封筒
333	笠原光雄書簡	書簡	光雄	石黒子爵閣下		12	2	墨書	1	通	端裏に付箋「笠原光雄」あり。	封筒、翻刻原稿
334	樫村清徳書簡	書簡	樫村清徳	石黒先生		9	4	墨書	1	通		封筒
335	梶山次大書簡	書簡	梶山次大	石黒忠恵閣下	明治28	8	31	墨書	1	通		封筒
336	片山国嘉書簡	書簡	片山国嘉	石黒忠恵様		10	17	墨書	1	通		封筒
337	松川敏胤書簡	書簡	松川敏胤	石黒軍医総監閣下		2	12	墨書	1	通		封筒
338	桂太郎書簡	書簡	太郎	石黒老台	明治27	12	31	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
339	桂太郎書簡	書簡	太郎	石黒老兄	[明治30]	9	29	墨書	1	通	年代は内容より推定。「円満辞職」につき。	封筒
340	桂太郎書簡	書簡	太郎	石黒老台	[明治39]	10	23	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒、翻刻原稿

石黒忠憲関係文書目録

資料 番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文 庫情報
341	桂太郎書簡	書簡	太郎	石黒老台	[明治35]	6	12	墨書	1	通	年代は内容より推定。大橋図書館の開館(明治35年6月15日)	封筒、翻刻原稿
342	桂太郎書簡	書簡	太郎	石黒老兄		1	18	墨書	1	通		封筒
343	桂太郎書簡	書簡	太郎	石黒老台		1	23	墨書	1	通		封筒
344	桂太郎書簡	書簡	太郎	石黒老兄		3	18	墨書	1	通		封筒
346	桂太郎書簡	書簡	太郎	石黒老台		4	22	墨書	1	通		封筒
347	桂太郎書簡	書簡	太郎	石黒総監		6	9	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
348	桂太郎書簡	書簡	太郎	石黒老台		7・ 10	3・ 14	墨書	2	通	貼り合せ。	封筒
349	桂太郎書簡	書簡	太郎	石黒老台		8	19・ 29	墨書	2	通	貼り合せ。	封筒、翻刻原稿
350	桂太郎書簡	書簡	太郎	石黒老台		8	25	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
351	桂太郎書簡	書簡	太郎	石黒老台		10	10	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
352	桂太郎書簡	書簡	太郎	石黒総監殿		10	26	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
353	加藤高明書簡	書簡	加藤高明	子爵石黒忠憲	[大正9]	9	20	墨書	1	通	年代は消印より推定。陸爵につき。	封筒、翻刻原稿
354	加藤弘之書簡	書簡	加藤鈴子・加藤弘之	石黒男爵・同夫人	明治33	5	10	墨書	1	通		封筒
355	加藤弘之書簡	書簡	加藤弘之	石黒男閣下		5	19	墨書	1	通		封筒
356	加藤弘之書簡	書簡	加藤弘之	石黒御二方		7	22	墨書	1	通		封筒
357	加藤弘之書簡	書簡	加藤弘之	石黒国手		9	5	墨書	1	通		封筒
358	加藤正義カ書簡	書簡	正義	石黒男爵殿		3	18	墨書	1	通		封筒
359	加藤正義書簡	書簡	正義	石黒男爵閣下		6	30	墨書	1	通	番号114、155、359、497、581、654、706、943、1138、1211、1217、1459は同綴。	
360	加藤正義書簡	書簡	正義	况斎男爵閣下		11	3	墨書	1	通		封筒
360-A	金井之恭葉書	書簡	金井之恭	石黒男爵	[明治39]	5	14	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
361	金沢三右衛門書簡	書簡	蒼夫	牛籠様		12	2	墨書	1	通		封筒
362	金杉英五郎書簡	書簡	金杉生	况翁先生	明治44	12	30	墨書	1	通	辛亥＝明治44年	封筒
363	金杉英五郎書簡	書簡	金杉英五郎	石黒况斎仁先生	大正6	11	29	墨書	1	通		封筒
364	金子堅太郎書簡	書簡	金子堅太郎	Baron Ishiguro	明治37	6	5	ペン	1	通	年代は消印より推定。	封筒
365	金子賢太郎書簡	書簡	賢太郎	石黒老台		7	17	墨書	1	通		封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
366	金坂円カ書簡	書簡	金坂円カ	況齋先生		11	28	墨書	1	通		封筒
367	樺山資紀書簡	書簡	樺山資紀	石黒先生		3	1	墨書	1	通	端裏に付箋「樺山資紀」あり。	封筒
368	蒲生重章書簡	書簡	蒲生重章	石黒君閣下		11	7	墨書	1	通		封筒
369	川上操六書簡	書簡	操六	石黒尊台	[明治28]	9	25	墨書	1	通	年代は内容より推定。李鴻章の来日につき。	封筒
370	川上操六書簡	書簡	操六	石黒老兄		2	21	墨書	1	通	端裏に付箋「川上操六」あり。	封筒
371	川上操六書簡	書簡	操六	石黒老台		2	24	墨書	1	通		封筒
372	川上操六書簡	書簡	操六	石黒賢兄		4	12	墨書	2	通	貼り合せ。	封筒
373	川上操六書簡	書簡	操六	石黒大兄		8	13	墨書	1	通		封筒
374	川上操六書簡	書簡	川上	石黒様		10	15	墨書	1	通		封筒
375	川上操六書簡	書簡	操六	石黒賢兄		12	26	墨書	1	通		封筒
376	川上操六書簡	書簡	操六	石黒賢兄		12	28	墨書	1	通		封筒
376-A	川崎祐名書簡	書簡	祐名	石黒賢台		5	24	墨書	1	通		封筒
376-B	川崎祐名書簡	書簡	祐名	石黒賢台		12	29	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
377	川路寛堂書簡	書簡	川路寛堂	石黒男爵殿	明治36	12	10	墨書	1	通		封筒
378	川路寛堂書簡	書簡	川路寛堂	石黒男爵殿	明治44	9	28	墨書	1	通		封筒
379	川路寛堂書簡	書簡	於備後福山西町 川路寛堂	石黒先生		10	18	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
380	川島欽次郎書簡	書簡	清国青泥窪兵站病院赤十字臨時第三救護班医員 川島欽次郎	男爵石黒忠憲	明治37	9	20	墨書	1	通	軍事郵便。	封筒
381	河田景与書簡	書簡	河田景与	石黒先生		12	6	墨書	1	通	人名書上げ1枚が同封。井上泰通、大鳥圭介、河田景与、銀林綱男、大谷尊光ほか10名。	封筒
382	川田剛書簡	書簡	剛	石黒男和尚		9	7	墨書	1	通		封筒
383	河西健次書簡	書簡	満州軍総司令部 河西軍医正	男爵石黒忠憲閣下		4	27	墨書	1	通	軍事郵便。	
384	川村景明書簡	書簡	景明	石黒閣下		4	18	墨書	1	通	端裏に付箋「川村景明」あり。	封筒
385	菊池篤忠書簡	書簡	菊池生	石黒総監閣下	[明治37]	11	13	墨書	1	通	年代は内容より推定。金州攻撃など。	封筒
386	菊池篤忠書簡	書簡	菊池	石黒男爵閣下	[明治38]	4	16	墨書	1	通	年代は内容より推定。奉天開戦の準備など。	封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
387	菊池篤忠書簡	書簡	菊池篤忠	石黒忠憲殿		2	6	墨書	1	通		封筒
388	菊池篤忠書簡	書簡	陸軍々医監菊池篤忠	陸軍々医総監石黒忠憲閣下		10	5	墨書	1	通		封筒
389	キクチ軍医正電報	書簡	キクチグンイセイ	石黒軍医総監	明治23	11	5	ペン	1	通		封筒
390	菊池大麓書簡	書簡	大麓	石黒老台		7	5	墨書	1	通		封筒
391	木越安綱書簡	書簡	男爵木越安綱	男爵石黒忠憲閣下	明治40	9	30	墨書	1	通		封筒
392	岸宇吉書簡	書簡	岸宇吉	石黒忠憲様 石黒令夫人様	[明治31]	10	3	墨書	1	通	年代は内容より推定。孝子の結婚につき。	封筒
393	岸宇吉・三島億二郎書簡	書簡	岸宇吉・三島億二郎	石黒大国手		2	24	墨書	1	通		封筒
394	北垣国道書簡	書簡	国道	石黒賢台		7	29	墨書	1	通		封筒
395	北垣国道書簡	書簡	北垣国道	石黒賢台		10	12	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
396	北里柴三郎書簡	書簡	奉天 満鉄公所 北里柴三郎	男爵石黒忠憲殿	[明治44]	4	4	ペン	1	通	年代は消印より推定。	封筒
397	北里柴三郎書簡	書簡	北里柴三郎	石黒野戦衛生長官殿		3	2	墨書	1	通	端裏に付箋「北里柴三郎」あり。	封筒、翻刻原稿
398	北田仁高書簡	書簡	北田仁高	石黒忠憲様		9	13	墨書	1	通		封筒
399	北野元峰書簡	書簡	元峰	石黒男爵閣下	大正7	2・4	6・9	墨書	2	通	貼り合せ。	封筒
400	北野元峰書簡	書簡	元峰	石黒子爵台下	[大正9]	9	5	墨書	1	通	年代は内容より推定。陸爵への祝辞。	封筒、翻刻原稿
401	北野元峰書簡	書簡	静岡市瑞光寺内 北野元峰	石黒子爵閣下	[大正10]	10	11	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒、翻刻原稿
402	北野元峰書簡	書簡	元峰	石黒子爵閣下		3	1	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
403	北野元峰書簡	書簡	元峰	石黒様		8	31	墨書	1	通	端裏に「青松寺北野元峰和尚」と上書き。	封筒
404	北野元峰書簡	書簡	元峰	石黒様		9	4	墨書	1	通		封筒
405	北野元峰書簡	書簡	元峰	石黒男爵閣下		11	25	墨書	1	通		封筒
406	北野元峰書簡	書簡	元峰	石黒子爵閣下		11	25	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
407	北村條雲書簡	書簡	第四軍兵站軍医部長 北村條雲	男爵石黒忠憲殿	[明治38]	1	3	墨書	1	通	軍事郵便。年代は消印より推定。	
408	鬼頭悌二郎書簡	書簡	在晩香坡 鬼頭悌二郎	石黒軍医総監	明治25	12	18	墨書	1	通	前欠	封筒、翻刻原稿
409	木村達書簡	書簡	木村達	石黒閣下	大正元	12	23	墨書	1	通		封筒
410	木村達書簡	書簡	木村達	石黒閣下		1	21	墨書	1	通		封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
411	肝付兼英書簡	書簡	伴鴻生	况斎賢台		5	12	墨書	1	通		封筒
412	行徳文卿書簡	書簡	行徳文卿	石黒大先生		9	12	墨書	1	通		封筒
413	清浦奎吾書簡	書簡	奎吾	石黒賢兄	[明治25]	4	19	墨書	1	通	年代は内容より推定。ローマ会議の開催につき(万国赤十字会議:明治25年4月21日)。	封筒
414	清浦奎吾書簡	書簡	奎吾	石黒老閣	大正2	6	1	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
415	清浦奎吾書簡	書簡	奎堂	石黒老兄	[大正12]	2	5・9	墨書	2	通	番号415、418、420は同封。年代は内容より推定。黒木為植の死去(大正12年2月)。	封筒
416	清浦奎吾書簡	書簡	清浦奎吾	石黒老台		2	19	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
417	清浦奎吾書簡	書簡	奎吾	石黒白馬將軍		6	8	墨書	1	通		封筒
418	清浦奎吾書簡	書簡	奎	况斎老兄		7	13	墨書	1	通	番号415、418、420は同封。	封筒
419	清浦奎吾書簡	書簡	奎堂	况斎老兄		7	27	墨書	1	通		封筒
420	清浦奎吾書簡	書簡	奎堂	况斎老台		10	12	墨書	1	通	番号415、418、420は同封。	
421	清浦奎吾書簡	書簡	奎堂	况斎老兄		10	16	墨書	1	通	端裏に付箋「清浦奎吾」あり。	封筒
422	清浦奎吾書簡	書簡	奎	石黒老兄		11	11	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
423	桐淵道斎書簡	書簡	桐淵道斎	石黒様	大正3	12	22	墨書	1	通		封筒
424	銀林綱男書簡	書簡	銀林綱男	石黒老兄		2	19	墨書	1	通		封筒
425	久我通久書簡	書簡	久我道久	石黒男爵閣下		7	18	墨書	1	通	端裏に「九鬼隆一 橋本実梁」と上書きあり。	封筒
426	九鬼隆一書簡	書簡	九鬼	石黒様		7	1	墨書	1	通		封筒
427	草刈義哉書簡	書簡	草刈義哉	石黒忠憲閣下		2	6	墨書	1	通		封筒
428	楠多敬太郎書簡	書簡	楠多敬太郎	石黒忠憲殿	大正10	7	10	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
429	倉田松涛書簡	書簡	倉田松涛	况斎老先生		2	12	墨書	1	通	番号429、430は同封。	封筒
430	倉田松涛書簡	書簡	倉田松涛	况翁老閣下		5	15	墨書	1	通	番号429、430は同封。	
431	倉富勇三郎書簡	書簡	倉富勇三郎	石黒閣下	[大正9]	8	17	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
432	栗野慎一郎書簡	書簡	栗野慎一郎	石黒子爵閣下	[大正9]	9	22	墨書	1	通	年代は内容より推定。陸爵につき。	封筒
433	栗野慎一郎書簡	書簡	栗野慎一郎	石黒男爵		3	30	墨書	1	通		封筒
434	栗山善四郎書簡	書簡	栗山善四郎	石黒様	大正4	2	18	墨書	1	通		封筒
435	呉秀三書簡	書簡	呉秀三	石黒男爵	大正4	1	9	墨書	1	通	端裏に「呉秀三」と上書き。	封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
436	黒井悌次郎書簡	書簡	於横須賀 黒井悌次郎	石黒男爵閣下	[大正3]	8	29	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
437	黒井悌次郎書簡	書簡	黒井悌次郎	石黒男爵閣下		8	13	墨書	1	通		封筒
438	黒井悌次郎書簡	書簡	黒井悌次郎	男爵石黒忠憲閣下		8	21	墨書	1	通	端裏に付箋「黒井悌次郎」あり。	封筒、翻刻原稿
439	黒井悌次郎書簡	書簡	黒井悌次郎	石黒男爵閣下		11	10	墨書	1	通		封筒
440	黒井悌次郎書簡	書簡	黒井悌次郎	石黒男爵閣下		12	9	墨書	1	通		封筒
441	黒井悌次郎書簡	書簡	大連湾 黒井悌次郎	石黒長官殿		12	28	墨書	1	通		封筒
442	黒田久孝書簡	書簡	黒田久孝	石黒老台		10	1	墨書	1	通		封筒
443	桑田衡平葉書	書簡	衡平	石黒忠憲	[明治38]	7	6	墨書	1	通	年代は消印より推定。番号443、1154、1838は「戦死者手紙」として一括。	封筒
444	桑田衡平書簡	書簡	桑田衡平	石黒閣下		1	9	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
445	桑田衡平書簡	書簡	桑田衡平	石黒男爵閣下		3	26	墨書	1	通	番号445、448、449は同封。	封筒
446	桑田衡平書簡	書簡	衡平	况翁石黒先生		3	30	墨書	1	通	前欠	封筒
447	桑田衡平書簡	書簡	衡平	石黒先生		4	1	墨書	1	通		
448	桑田衡平書簡	書簡	桑田衡平	石黒忠憲様		10	9	墨書	1	通	番号445、448、449は同封。	
449	桑田衡平書簡	書簡	衡平	况斎先生		10	13	墨書	1	通	番号445、448、449は同封。	
450	桑田衡平書簡	書簡	衡平	石黒况斎先生		12	17	墨書	1	通		封筒
451	桑田衡平書簡	書簡	桑田衡平	况斎石黒先生				墨書	1	通		封筒
452	桑田鉄縣書簡	書簡	桑田鉄縣	况斎石黒の大人		5	12	墨書	1	通		封筒
453	小池正直書簡	書簡	正直	石黒公閣下	明治15	12	7	墨書	1	通		封筒
454	小池正直書簡	書簡	小池正直	石黒公閣下	明治22	4	16	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
455	小池正直書簡	書簡	小池正直	石黒総監閣下	明治28	1	30	墨書	1	通		封筒
456	小池正直書簡	書簡	小池正直	石黒忠憲公閣下		5	7	墨書	1	通	前欠	封筒
457	小池正直書簡	書簡	小池正直	石黒忠憲公閣下		8	26	墨書	1	通		封筒
458	小泉正保ほか書簡	書簡	小泉正保、一戸兵衛、三須宗太郎 光尊 松翁ほか	石黒軍医総監閣下		3	17 ~8 月 25	墨書	6	通	貼り合せ。	封筒

石黒忠恵関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
459	小出栄書簡	書簡	栄	况斎先生		2	11	墨書	1	通		封筒
460	小出栄書簡	書簡	小出栄	石黒様		10	11	墨書	1	通		封筒
461	古宇田倣太郎書簡	書簡	古宇田倣太郎	石黒先生		8	10	墨書	1	通		
462	児島惟謙書簡	書簡	惟謙	石黒老閣		4	22	墨書	1	通	端に「児島惟謙」と上書き。	封筒、翻刻原稿
463	小島政憲書簡	書簡	小島政憲	石黒忠恵閣下		2	6	墨書	1	通		封筒
464	児玉軍太ほか書簡	書簡	児玉軍太ほか	石黒閣下		12	19	墨書	2	通	貼り合せ。	封筒
465	後藤新平書簡	書簡	新平	石男爵	[明治40]	6	13	墨書	1	通	満鉄総裁時代のもの。	封筒
466	後藤新平書簡	書簡	大連 後藤新平	男爵石黒忠恵	明治40	8	7	墨書	1	通		封筒
467	後藤新平書簡	書簡	後藤新平	石黒先生	[明治41]	1	7	墨書	1	通	年代は内容より推定。端裏に「明治四十一年一月」と上書き。短歌、年始挨拶が同封。	封筒
468	後藤新平書簡	書簡	新平	况翁先生		1	16	墨書	1	通	端に「後藤新平君」と上書き。	封筒
469	後藤新平書簡	書簡	新平	石男爵閣下		2	5	墨書	1	通		封筒
470	後藤新平書簡	書簡	後藤新平	石黒先生		5	17	墨書	1	通	端裏に「後藤」と上書き。	封筒
471	後藤新平書簡	書簡	新平	石黒先生		5	31	墨書	1	通	前欠	
472	後藤新平書簡	書簡	新平	石黒子爵閣下		7	15	墨書	1	通		封筒
473	後藤新平書簡	書簡	後藤新平	石黒先生		8	7	墨書	1	通	満鉄の封筒を使用。封筒には「大連 後藤新平」と上書き。	封筒
473-A	後藤新平書簡	書簡	新平	石黒先生		10	19	墨書	1	通		
474	後藤新平書簡	書簡	新平	石黒子爵老大人		12	11	墨書	1	通	端裏に付箋「後藤新平」あり。	封筒、翻刻原稿
475	小中村清矩書簡	書簡	小中村清矩	石黒忠恵様		9	24	墨書	1	通		封筒
476	近衛篤磨書簡	書簡	公爵近衛篤磨	石黒総監殿		2	21	墨書	1	通	前欠。端裏に付箋「近衛篤磨」あり。	封筒
477	近衛篤磨書簡	書簡	解傭軍夫救護会々長 公爵近衛篤磨	石黒衛生長官殿		3	28	墨書	1	通	前欠	
478	小林和介書簡	書簡	小林和介	石黒忠恵	[明治30]	5	1	墨書	1	通	年代は消印より推定。差出人自署の箇所に横浜正金銀行サンフランシスコ支店の押印あり。	封筒
479	小林権七郎書簡	書簡	小林権七郎	石黒忠徳様	明治18	12	22	墨書	1	通		封筒
480	小林三敬書簡	書簡	陸軍二等軍医正 小林三敬	石黒先生		11	18	墨書	1	通	漢詩1枚が同封。	封筒
481	小林重賢書簡	書簡	小林重賢	石黒総監閣下		2	6	墨書	1	通		封筒

石黒忠恵関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
482	小林雄太郎書簡	書簡	小林雄太郎	石黒先生		4	12	墨書	1	通		封筒
483	小林義直書簡	書簡	小林義直	石黒忠恵	[明治23]	10	9	墨書	1	通	年代は内容より推定。軍医総監の就任祝い。	封筒
484	小松宮彰仁親王書簡	書簡	彰仁		明治29	4		印刷	1	通	宛先は未記入。	封筒
485	小松原英太郎書簡	書簡	小松原英太郎	石黒男爵殿		7	30	墨書	1	通	端裏に「御覽後直ニ御返却可被下 必他見無用」と上書き。	封筒
486	小松原英太郎書簡	書簡	英太郎	石黒尊台		9	28	墨書	1	通		封筒
487	近藤常次郎書簡	書簡	近藤常次郎	况斎先生閣下	明治31	4	3	墨書	1	通	欄外に「在伯林近藤医学士の書簡 三十一年五月十八日達ス」	封筒
488	近藤常次郎書簡	書簡	常次郎	况翁先生		4	13	墨書	1	通		封筒
489	近藤常次郎書簡	書簡	常次郎	况斎先生		7	17	墨書	1	通		封筒
490	近藤常次郎書簡	書簡	常次郎	况翁先生		7	24	墨書	1	通		封筒
491	近藤常次郎書簡	書簡	近藤常次郎	况翁先生同御奥様		8	16	墨書	1	通		封筒
492	近藤常次郎書簡	書簡	常次郎	况翁大老夫子		12	7	墨書	1	通	端に「近藤常次郎」と上書き。	封筒
493	近藤廉平書簡	書簡	其日庵主	况翁男爵閣下	[大正4]	5	17	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
494	近藤廉平書簡	書簡	廉平	石黒老閣	[大正9]	3	3	墨書	1	通	年代は内容より推定。枢密顧問官の就任につき。	封筒
495	近藤廉平書簡	書簡	近藤廉平	石黒男爵閣下		1	25	墨書	1	通		封筒
496	近藤廉平書簡	書簡	廉平	况翁男爵閣下		4	12	墨書	1	通		封筒
497	近藤廉平書簡	書簡	廉平	石黒况翁男爵閣下		9	13	墨書	1	通	番号114、155、359、497、581、654、706、943、1138、1211、1217、1459は同綴。	
498	近藤廉平書簡	書簡	廉平	石黒貴閣		12	22	墨書	1	通		封筒
499	西郷山人書簡	書簡	西郷山人	石黒尊台		7	26	墨書	1	通		封筒
500	西郷従道書簡	書簡	西郷従道	石黒先生		8	2	墨書	1	通		封筒
501	税所篤カ書簡	書簡	篤カ	况翁雅奨カ		2	12	墨書	1	通		封筒
502	税所篤カ書簡	書簡	篤カ	况斎老生		11	15	墨書	1	通		封筒
503	斎藤カ椎堂書簡	書簡	椎堂	多門莊主公		10	15	墨書	1	通		封筒
504	斎藤徳明書簡	書簡	斎藤徳明	石黒忠恵様	明治37	11	9	墨書	1	綴		封筒
505	酒井嘉代太書簡	書簡	仙台予備病院陸軍一等軍医 酒井嘉代太	男爵石黒忠恵殿	[明治38]	11	6	墨書	1	通	軍事郵便。年代は消印より推定。	

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
506	阪井重季書簡	書簡	重季	忠憲様	[明治30]	10	11	墨書	1	通	年代は内容から推定。「円満辞職」につき。	封筒、翻刻原稿
507	阪井重季書簡	書簡	阪井重季	石黒先生		9		墨書	1	通		封筒
508	坂本重国書簡	書簡	重国	石黒先生		1	24	墨書	1	通		封筒
509	坂本重国書簡	書簡	重国	石黒大国手		8	19	墨書	1	通		封筒
510	相良憲太書簡	書簡	近衛歩兵第四連隊本部 陸軍歩兵大尉 相良憲太	石黒忠憲殿	明治38	1	3	墨書	1	通	軍事郵便。色紙に貼り付け。	
511	相良憲太書簡	書簡	相良憲太	石黒忠憲殿	[明治38]	6	2	墨書	1	通	軍事郵便。年代は消印より推定。	
512	佐々木東洋書簡	書簡	佐々木東洋	石黒賢台	[明治28]	3	26	墨書	1	通	年代は内容より推定。征清総統府に随行。下関で負傷した李鴻章の治療など。	封筒
513	佐々木東洋書簡	書簡	佐々木東洋	男爵石黒閣下	大正4	1	23	墨書	1	通		封筒
514	佐々木東洋書簡	書簡	佐々木東洋	石黒忠憲様	大正6	1	15	墨書	1	通	端裏に付箋「佐々木東洋」あり。	封筒、翻刻原稿
515	佐々木東洋書簡	書簡	佐々木東洋	男爵石黒閣	大正7	3	16	墨書	1	通		封筒
516	佐々木東洋書簡	書簡	佐々木東洋	男爵石黒翁閣下	[大正7]	5	4	墨書	1	通	年次は未記入。ただし、年代は内容より推定。池田謙斎の死去につき。	封筒
517	佐々木東洋書簡	書簡	佐々木東洋	石黒閣下		6	13	墨書	1	通		封筒
518	佐々木東洋書簡	書簡	佐々木東洋	男爵石黒賢台		11	4	墨書	1	通		
519	佐々木東洋書簡	書簡	佐々木東洋	石黒賢台		11	5	墨書	1	通		
520	佐々木東洋書簡	書簡	佐々木東洋	石黒男爵閣下				墨書	1	通		
521	佐々木信綱書簡	書簡	佐々木信綱	石黒大人	[明治38]	5	27	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
522	佐々木信綱書簡	書簡	佐々木信綱	石黒大人				墨書	1	通	包紙1枚あり。	封筒
523	佐々木信綱書簡	書簡	佐々木信綱	石黒先生				墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
524	佐多愛彦書簡	書簡	佐多愛彦	石黒大人				墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
525	佐藤悞書簡	書簡	第二軍司令部陸軍歩兵中尉佐藤悞	男爵石黒忠憲殿				墨書	1	通	軍事郵便。	
526	佐藤治書簡	書簡	佐藤治	大医石黒明公		7	18	墨書	1	通		封筒
527	佐藤勤也書簡	書簡	佐藤勤也	男爵石黒忠憲閣下	大正8	11	9	墨書	1	通	漢詩2枚同封。	封筒、翻刻原稿
528	佐藤勤也書簡	書簡	勤也	石黒男爵閣下	大正8	12	6	墨書	1	通		封筒

石黒忠恵関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
529	左藤衡平書簡	書簡	左藤衡平	況齋石黒先生		5	9	墨書	1	通	包紙「桑田手紙」が同封。	封筒
530	佐藤進書簡	書簡	佐藤進	男爵石黒忠恵様	[明治30]	9	30	墨書	1	通	年代は内容から推定。明治30年に軍医総監を「円満辞職」。	封筒、翻刻原稿
531	佐藤進書簡	書簡	佐藤進	男爵石黒忠恵殿	[明治38]	3	2	墨書	1	通	内容は松本順の授爵について。松本の男爵授与は1905年。	封筒
532	佐藤進書簡	書簡	佐藤進	石黒長官殿		2	21	墨書	1	通	橋裏に付箋「佐藤進」あり。	封筒
533	佐藤進書簡	書簡	進	男爵石黒忠恵殿		2	26	墨書	1	通		封筒
534	佐藤進書簡	書簡	佐藤進	男爵石黒忠恵殿		5	1	墨書	1	通		
535	佐藤進書簡	書簡	進	況齋先生		12	12	墨書	1	通		封筒
536	佐藤正書簡	書簡	佐藤正	石黒軍医総監閣下	明治31	11	31	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
537	佐藤正書簡	書簡	佐藤正	石黒軍医総監殿		2	7	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
538	佐藤正書簡	書簡	佐藤正	石黒老台		4・11	30・1	墨書	2	通	貼り合せ。	封筒
539	佐藤正書簡	書簡	佐藤正	石黒閣下		5	5	墨書	1	通		封筒
540	佐藤正書簡	書簡	佐藤正	石黒閣下		6	20	墨書	1	通		封筒
541	佐藤正書簡	書簡	佐藤正	石黒軍医総監		7	9	墨書	1	通		封筒
542	佐藤正書簡	書簡	佐藤正	石黒閣下		8	11	墨書	1	通		封筒
543	佐藤正書簡	書簡	佐藤正	石黒閣下		8	13	墨書	1	通		封筒
544	佐藤正書簡	書簡	佐藤正	石黒閣下		9	2	墨書	1	通	封筒上書き「陸軍少将佐藤正書状 先帝陛下御遺徳二付キ 必要文書」	封筒
545	佐藤正書簡	書簡	佐藤正	石黒閣下		11	5	墨書	1	通		封筒
546	佐藤正書簡	書簡	佐藤正	石黒閣下		11	23	墨書	1	通		封筒
547	佐藤正書簡	書簡	佐藤正	石黒閣下 同令夫人殿		12	5	墨書	1	通		封筒
548	佐藤恒丸書簡	書簡	京城衛戍病院 佐藤	石黒男爵閣下	[明治43]	7	30	墨書	1	通	軍事郵便。年代は消印より推定。	
549	佐藤直次郎書簡	書簡	佐藤直次郎	石黒男爵閣下		6	6	墨書	1	通		封筒
550	佐野常民書簡	書簡	佐野常民	石黒忠恵殿		2	3	墨書	1	通		封筒
551	佐野常民書簡	書簡	常民	石黒老台		2	10	墨書	1	通		封筒
552	佐野常民書簡	書簡	常民	石黒賢台		3	12	墨書	1	通		封筒
553	佐野常民書簡	書簡	常民	石黒賢台		3	28	墨書	1	通	破損	封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
554	佐野常民書簡	書簡	常民	石黒賢台		4	15	墨書	1	通		封筒
555	佐野常民書簡	書簡	常民	石黒賢台		5	5	墨書	1	通		封筒
556	佐野常民書簡	書簡	常民	石黒賢台		5	12	墨書	1	通		封筒
557	佐野常民書簡	書簡	常民	石黒賢台		5	15	墨書	1	通		封筒
558	佐野常民書簡	書簡	常民	石黒賢台		5	19	墨書	1	通		封筒
559	佐野常民書簡	書簡	常民	石黒賢台		5	20	墨書	1	通		封筒
560	佐野常民書簡	書簡	佐野常民	石黒軍医監		5	21	墨書	1	通		封筒
561	佐野常民書簡	書簡	佐野常民	松平秉承・石黒忠憲		5	22	墨書	1	通		封筒
562	佐野常民書簡	書簡	常民	石黒賢台		5	23	墨書	1	通		
563	佐野常民書簡	書簡	常民	石黒閣下		5	30	墨書	1	通		封筒
564	佐野常民書簡	書簡	常民	石黒様		9	26	墨書	1	通		封筒
565	佐野常民書簡	書簡	常民	石黒賢台		10	20	墨書	1	通		封筒
566	佐野常民書簡	書簡	常民	石黒賢台		10	22	墨書	1	通		
567	佐野常民書簡	書簡	常民	石黒総監殿		10	23	墨書	1	通	端に「佐野常民」とあり。	封筒
568	佐野常民書簡	書簡	常民	石黒老台		11	7	墨書	1	通		封筒
569	佐野哲太郎書簡	書簡	佐野中尉	男爵石黒忠憲閣下	[明治24]	9	23	墨書	1	通	年代は消印より推定。封筒に「支那昌黎鉄道守備隊 中尉佐野哲太郎」と上書き。	封筒
570	沢田宣之書簡	書簡	鷹洲七十三翁	石黒忠憲様	大正3	10	7	墨書	1	通		封筒
571	三田葆光書簡	書簡	三田葆光	石黒大先生		3	1	墨書	1	通		封筒
572	三田葆光書簡	書簡	三田葆光	石黒先生		3	3	墨書	1	通		封筒
573	三田葆光書簡	書簡	三田	石黒様		3	5	墨書	1	通	番号4、137-A、573、1107、1122、1190、1201、1257は同綴。和敬会関係。	
574	三田葆光書簡	書簡	三田葆光	石黒先生		3	13	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
575	三田葆光書簡	書簡	三田葆光	石黒先生		5	17	墨書	1	通		封筒
576	三田葆光書簡	書簡	三田葆光	石黒先生		8	30	墨書	1	通		封筒
577	三田葆光書簡	書簡	葆光	况翁先生		12	2	墨書	1	通		封筒
578	三宮義胤書簡	書簡	義胤	男石黒	明治32	4	18	墨書	1	通		封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
579	塩野金吾ほか陸軍軍医書簡	書簡	陸軍三等軍医塩野金吾 陸軍三等軍医片寄三次郎 陸軍三等軍医 近藤重義ほか5名。	陸軍軍医総監石黒忠憲閣下	明治23	11	18	墨書	1	通		封筒
580	志賀潔書簡	書簡	志賀潔	石黒男爵	[大正元]	10	18	墨書	1	通	明治天皇大喪(大正元年9月13日)について。ドイツ語新聞の切り抜きが添付。	封筒
581	式守恒平書簡	書簡	式守恒平	石黒忠憲様		10	24	墨書	1	通	番号114、155、359、497、581、654、706、943、1138、1211、1217、1459は同綴。	
582	穴戸璣書簡	書簡	璣	石黒殿		3	24	墨書	1	通	番号582、583は同封。	封筒
583	穴戸璣書簡	書簡	璣	石黒殿		4	13	墨書	1	通	番号582、583は同封。	
584	穴戸璣書簡	書簡	璣	石黒様		5	12	墨書	1	通		封筒
585	穴戸璣書簡	書簡	璣	石黒殿		5	13	墨書	1	通	番号585、586は同封。	封筒
586	穴戸璣書簡	書簡	璣	石黒殿		8	29	墨書	1	通	番号585、586は同封。	
587	穴戸璣書簡	書簡	璣	石黒殿		11	18	墨書	1	通		封筒
588	穴戸璣書簡	書簡	璣	石黒殿		12	2	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
589	品川弥二郎書簡	書簡	品川弥二郎	石黒軍医監	[明治20]	5	23	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
345	品川弥二郎郎書簡	書簡	やじ	石黒様		3	20	墨書	1	通		封筒
590	信夫恕軒書簡	書簡	恕軒	况夫子			5	墨書	1	通		封筒
591	信夫恕軒書簡	書簡	信夫粲	石黒先生				墨書	1	通		封筒
592	柴直言書簡	書簡	柴直言	石黒閣下		8	5	墨書	1	通		封筒
593	柴五郎書簡	書簡	在北京 柴五郎	石黒閣下	明治34	1	1	墨書	1	通		封筒
594	柴原和書簡	書簡	和	石黒男閣下		7	18	墨書	1	通		封筒
595	柴原和書簡	書簡	和	石黒男閣下		8	15	墨書	1	通		封筒
596	柴原和書簡	書簡	和	石黒賢台		11	18	墨書	1	通	端に「柴原和」と上書き。	封筒
597	渋沢栄一書簡	書簡	渋沢栄一	石黒男爵		4	12	墨書	1	通	端裏に付箋「(1)渋沢栄一」あり。	封筒、翻刻原稿
598	渋沢栄一書簡	書簡	渋沢栄一	石黒先生		5	16	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
599	渋沢栄一書簡	書簡	渋沢栄一	石黒子爵		6	30	墨書	1	通	端裏に付箋「(3)渋沢栄一」あり。	封筒、翻刻原稿

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
600	渋沢栄一書簡	書簡	渋沢栄一	石黒子爵閣下		8	15	墨書	1	通	端に「渋沢」と上書き。	封筒
601	渋沢栄一書簡	書簡	渋沢栄一	石黒男爵閣下		8	22・25	墨書	2	通	封筒に「協定会へ恩賜の件 聯合会病院慰問」と上書き。	封筒
602	渋沢栄一書簡	書簡	渋沢栄一	石黒男爵閣下		8	30	墨書	1	通		封筒
603	渋沢栄一書簡	書簡	渋沢	石黒国手		9	16	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
604	渋沢栄一書簡	書簡	渋沢栄一	石黒男爵様		12	13	墨書	1	通	端裏付箋「(2)渋沢栄一」あり。	封筒
605	渋沢栄一書簡	書簡	渋沢栄一	石黒忠憲様		12	31	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
606	島地黙雷書簡	書簡	黙雷	石黒賢台		8	25	墨書	1	通		封筒
607	島田三郎書簡	書簡	島田三郎	石黒国手		2	12	墨書	1	通		封筒
608	島田三郎書簡	書簡	島田三郎	石黒先生		9	11	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
609	嶋田張一書簡	書簡	征露第八師団第三十二連隊内 嶋田張一	石黒忠憲閣下	明治38	1	6	墨書	1	通	軍事郵便。	
610	嶋田張一書簡	書簡	出征第八師団第三十二連隊	男爵石黒忠憲閣下	[明治38]	4	25	墨書	1	通	軍事郵便。年代は内容より推定。奉天会戦の勝利につき。手紙の作成者は張寅張。	
611	嶋田張一書簡	書簡	出征第八師団第三十二連隊 嶋田張一	男爵石黒忠憲閣下	[明治38]	5	1	墨書	1	通	軍事郵便。年代は消印より推定。	
612	島田泰夫書簡	書簡	島田泰夫	石黒忠憲殿	[明治12]	4	1	墨書	1	通	年代は内容より推定。「脚気病院第二報告」の上申につき(明治12年)。	封筒
613	島村民衛書簡	書簡	大石橋駅 島村民衛	男爵石黒閣下	明治43	3	30	墨書	1	通		封筒
614	嶋本書簡	書簡	嶋本	石黒閣下		4	10	墨書	1	通		封筒
615	欠番→笠原光雄(330-A)											
616	下条正雄書簡	書簡	正雄	况翁老閣		3	3	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
617	下条正雄書簡	書簡	正雄	况翁老閣		7	8	墨書	1	通		封筒
618	下条正雄書簡	書簡	正雄	况翁男閣下		11	5	墨書	1	通		封筒
619	下条正雄書簡	書簡	正雄	况翁男老閣		11	29	墨書	1	通		封筒
620	下瀬謙太郎書簡	書簡	北京日本公使館 下瀬軍医正	男爵石黒忠憲閣下	[明治43]	10	20	墨書	1	通	軍事郵便。年代は消印より推定。	
621	釈宗演書簡	書簡	釈宗演	石黒忠徳男爵閣下	[明治39]	3	20	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
622	釈宗演書簡	書簡	釈宗演	况翁先生		1	8	墨書	1	通		封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
623	釈宗演書簡	書簡	釈宗演	况翁老先生		1	12	墨書	1	通		封筒
624	釈宗演書簡	書簡	宗演	石黒况翁先生		5	12	墨書	1	通		封筒
625	釈宗演書簡	書簡	英京ロンドンニテ釈宗演	石黒况翁男爵閣下		6	9	墨書	1	通	新聞切抜き4枚添付。	封筒
626	釈宗演書簡	書簡	釈宗演	石黒况翁		10	4	墨書	1	通		封筒
627	釈宗演書簡	書簡	釈宗演	石黒忠憲閣下		10	9	墨書	1	通		封筒
628	釈宗演書簡	書簡	宗演	石黒况翁				墨書	1	通		封筒
629	勝田四方蔵書簡	書簡	勝田四方蔵	軍医総監男爵石黒忠憲閣下	[明治30]	10	4	墨書	1	通	年代は内容から推定。「円満辞職」につき。	封筒、翻刻原稿
630	荘野孝恭書簡	書簡	荘野孝恭	石黒况齋大先生		2	25	墨書	1	通		封筒
631	白根専一書簡	書簡	専一	石黒様	[明治30]	9	30	墨書	1	通	年代は内容から推定。「円満辞職」につき。	封筒、翻刻原稿
632	白根専一書簡	書簡	専一	石黒先生	明治31	2	3	墨書	1	通		封筒
633	白根専一書簡	書簡	専一	石黒先生		6	2	墨書	1	通		封筒
634	白根専一書簡	書簡	専一	石黒老台		11	13	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
635	末松謙澄書簡	書簡	末松謙澄	野田石黒両男爵閣下			13	墨書	1	通		封筒
636	末松謙澄書簡	書簡	末松謙澄	石黒様			22	墨書	1	通		封筒
637	菅春風書簡	書簡	菅春風	石黒忠憲先生		3	29	墨書	1	通		封筒
638	菅原如庵書簡	書簡	如庵	况齋大人	大正3	8	4	墨書	1	通	甲寅=大正3年。	封筒
639	杉孫七郎書簡	書簡	孫七郎	石黒賢台	大正2	9	22	墨書	1	通	癸丑=大正2年。年封筒上書き「石黒男爵殿 広島県務中省三持参」とあり。	封筒、翻刻原稿
640	杉村広太郎書簡	書簡	杉村太郎	石黒賢台	大正10	4	19	墨書	1	通		封筒
641	杉山茂丸書簡	書簡	杉山茂丸	石黒忠憲様		5	20	墨書	1	通		封筒
642	鈴木健蔵書簡	書簡	鈴木健蔵	石黒忠憲様	明治26	4	5	墨書	1	通		封筒
643	鈴木健蔵ほか書簡	書簡	鈴木健蔵・鈴木暢軒	陸軍軍医総監 石黒忠憲閣下	明治28	1	1	墨書	1	通	端に「新潟県西蒲原郡粟生津村」と上書き。	封筒
644	鈴木健蔵ほか書簡	書簡	鈴木暢軒・健蔵	石黒忠憲殿	明治28・29	12・3	17・9	墨書	2	通	貼り合せ。丙申=明治29年。	封筒
645	鈴木昌司書簡	書簡	鈴木昌司	石黒忠憲君	[明治25]	3	13	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
646	鈴木昌司書簡	書簡	鈴木昌司	石黒忠憲様			29	墨書	1	通		封筒
647	鈴木荘介書簡	書簡	鈴木荘介	石黒男爵閣下	[大正9]	2	19	墨書	1	通	年代は内容より推定。枢密顧問官(大正9年2月17日)就任への祝辞。	封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
648	鈴木莊介書簡	書簡	鈴木莊介	石黒男爵閣下		1	5	墨書	1	通		封筒
649	須知源次郎書簡	書簡	在巴里 須知源次郎	石黒男爵閣下	明治32	1	1	墨書	1	通	包紙に「常陸丸戦士 須知手紙」と上書き。	封筒
650	瀨尾玄弘書簡	書簡	瀨尾玄弘	石黒忠憲様	大正5	12	28	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
651	瀨川昌耆書簡	書簡	瀨川昌耆	况翁男爵閣下	大正4	4	17	墨書	1	通	封筒に「神田駿河台西紅梅町」と上書き。	封筒
652	瀨川昌耆書簡	書簡	瀨川昌耆	石貴爵	大正6	1	4	墨書	1	通		封筒
653	瀨川昌耆書簡	書簡	瀨川昌耆	石男爵様		2	24	墨書	1	通		封筒
654	瀨川昌耆書簡	書簡	瀨川昌耆	况翁貴爵		12	25	墨書	1	通	番号114、155、359、497、581、654、706、943、1138、1211、1217、1459は同綴。	
655	関彪書簡	書簡	富士製紙株式会社社員 関彪	石黒男爵殿	明治34	5		墨書	1	通	漢詩2枚が同綴。	封筒
656	関場不二彦書簡	書簡	関場不二彦	男爵石黒忠憲殿	大正9	1	21	墨書	1	通		封筒
656-A	関屋貞三郎書簡	書簡	貞三郎	石黒男爵閣下		3	14	墨書	1	通		封筒
657	関矢孫左衛門書簡	書簡	関矢孫左衛門	石黒仁先生	[明治24]	5	20	墨書	1	通	年代は内容より推定。大津事件と三条実美の死去など。	封筒
658	関矢孫左衛門書簡	書簡	関矢孫左衛門	石黒賢台	大正元	10	17	墨書	1	通	端裏に「関矢」と上書き。	封筒
659	関矢孫左衛門書簡	書簡	関矢孫左衛門	石黒様	大正3	2	26	墨書	1	通		封筒
660	関矢孫左衛門書簡	書簡	関矢孫左衛門	石黒男爵閣下	大正3	5	25	墨書	1	通		封筒
661	関矢孫左衛門書簡	書簡	関矢孫左衛門	石黒男爵閣下・同御令夫人様・同忠篤	大正4	1	21	墨書	1	通	端裏に「関矢」と上書き。	封筒
662	関矢孫左衛門書簡	書簡	関矢孫左衛門	石黒男爵閣下	大正4	1	27	墨書	1	通		
663	関矢孫左衛門書簡	書簡	関矢孫左衛門	石黒男爵閣下		5	15	墨書	1	通		封筒
664	関矢孫左衛門書簡	書簡	関矢孫左衛門	石黒使君		7	29	墨書	1	通		封筒
665	関矢孫左衛門書簡	書簡	関矢孫左衛門	石黒男爵閣下		9	12	墨書	1	通		封筒
666	関矢孫左衛門書簡	書簡	関矢孫左衛門	石黒忠憲様		9	18	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
667	関矢孫左衛門書簡	書簡	関矢孫左衛門	石黒御老台下		10	10	墨書	1	通		封筒
668	関矢孫左衛門書簡	書簡	関矢孫左衛門	石黒賢台		10	21	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
669	銭なしの喜楽書簡	書簡	銭なしの喜楽	石黒大先生		8	10	墨書	1	通		封筒
670	千書簡	書簡	千	石黒况翁大人	大正11	12	9	墨書	1	通	千宗室カ	封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
671	千宗室書簡	書簡	千宗室	石黒男爵殿		11	14	墨書	1	通	番号671、675は同封。	
672	千宗室書簡	書簡	千宗室	石黒忠憲殿				墨書	1	通	番号672、673は同封。	封筒
673	千宗室書簡	書簡	千宗室	石黒殿				墨書	1	通	番号672、673は同封。	
674	千宗室書簡	書簡	千宗室	石黒老台				墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
675	千宗室書簡	書簡	千宗室	石黒况翁雅君				墨書	1	通	番号671、675は同封。	封筒
676	仙波太郎書簡	書簡	仙波太郎	石黒大人		3	6	墨書	1	通		封筒
677	仙波太郎書簡	書簡	仙波太郎	石黒男爵		6	25	墨書	1	通		封筒
678	副島種臣書簡	書簡	副島種臣	石黒御惣管閣下		12	5	墨書	1	通	端に「副島種臣君」と上書き。	封筒
679	副島種臣書簡	書簡	種臣	石黒先生		12	12	墨書	1	通		封筒
680	副島中陰書簡	書簡	ちういん	石黒先生		7	7	墨書	1	通	端裏に「副島中陰」と上書き。	封筒
681	曾我祐準書簡	書簡	曾我祐準	石黒老台	大正12	10	12	墨書	1	通	封筒には「伊東熱海 曾我祐準」と上書き。	
682	曾我祐準書簡	書簡	祐準	石黒老閣	大正12	11	20	墨書	1	通		
683	曾我祐準書簡	書簡	祐準	石黒閣下	大正12	12	29	墨書	1	通	封筒には「伊豆熱海字木嵐 曾我祐準」と上書き。	封筒
684	曾我祐準書簡	書簡	曾我	石黒君		5	30	墨書	1	通		封筒
685	曾我祐準書簡	書簡	祐準	石黒老台		6	9	墨書	1	通		
686	曾我祐準書簡	書簡	祐準	石黒先生		7	17	墨書	1	通		封筒
687	曾我祐準書簡	書簡	曾我	石黒殿		11・12	16・14	墨書	2	通	貼り合せ。	封筒
688	曾禰荒助書簡	書簡	荒助	石黒殿		4	5	墨書	1	通		封筒
689	高木兼寛書簡	書簡	高木兼寛	石黒閣下	明治45	6	14	墨書	1	通		封筒
690	高木兼寛書簡	書簡	高木兼寛	石黒老先生		3	11	墨書	1	通		封筒
691	高木兼寛書簡	書簡	高木兼寛	石黒忠憲殿		9	25	墨書	1	通		封筒
692	高木玄甫・玄了書簡	書簡	高木玄甫・玄了	石黒衛生長官閣下	[明治28]	3	12・24	墨書	2	通	貼り合せ。	封筒
693	高木友枝書簡	書簡	高木友枝	石黒男爵閣下		7	7	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
694	高崎五六書簡	書簡	高崎五六	石黒総監閣下		11	27・30	墨書	2	通	貼り合せ。	封筒
695	高崎正風書簡	書簡	高崎正風	石黒衛生長官	[明治28]	2	10	墨書	1	通	年代は内容より推定。彰仁親王の参謀総長就任につき。	封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
696	高崎正風書簡	書簡	高崎正風	石黒忠憲様		5	28	墨書	1	通		封筒
697	高階雄徳カ書簡	書簡	高階雄徳カ	石黒先生		2	22	墨書	1	通		封筒
698	高島靱之助書簡	書簡	靱之助	石黒公			28	墨書	1	通	端に「高島中将」と上書き。	封筒
699	高島靱之助書簡	書簡	高嶋靱之助	石黒大兄			29	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
700	高島平三郎書簡	書簡	高島平三郎	石黒男爵		11	20	墨書	1	通	端裏に「高島平三郎」と上書き。	封筒
701	高田善一書簡	書簡	高田善一	石黒総管閣下		2	22	墨書	1	通		封筒
702	高橋作衛書簡	書簡	高橋作衛	况斎先生	[大正元]	8	6	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
703	高橋竹之介書簡	書簡	高橋竹之介	石黒忠徳様		3	10	墨書	1	通		封筒、差出を大正
704	高橋義雄書簡	書簡	箒案	况斎先覚	[大正4]	3	18	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
705	高橋義雄書簡	書簡	箒案	况翁大雅		1	14	墨書	1	通		封筒
706	高橋義雄書簡	書簡	箒庵	石黒貴爵閣下		2	10	墨書	1	通	番号114、155、359、497、581、654、706、943、1138、1211、1217、1459は同綴。	
707	高橋義雄書簡	書簡	箒案	况翁大宗		2	15	墨書	1	通		封筒
708	高橋義雄書簡	書簡	箒案	石黒大人		12	2	墨書	1	通		封筒
709	高橋義雄書簡	書簡	義雄	石黒男爵閣下				墨書	1	通		封筒
710	高橋凌雲書簡	書簡	高橋凌雲	男爵石黒忠憲様	大正2	6	11	墨書	1	通		封筒
711	高平小五郎書簡	書簡	高平小五郎	石黒男爵殿		1	9	墨書	1	通		封筒
712	高村カ光太郎書簡	書簡	光太郎	石黒閣下		7	1	墨書	1	通		封筒
713	高村カカ太郎書簡	書簡	光太郎	石黒様				墨書	1	通		封筒
714	高谷恒太郎書簡	書簡	高谷恒太郎	况翁石黒先生	大正3	5	12	墨書	1	通	封筒には「大阪市今橋二丁目 高谷恒太郎」と上書き。	封筒
715	瀧谷琢宗書簡	書簡	瀧谷琢宗	石黒従五位殿	明治20	5	21	墨書	1	通		封筒
716	瀧谷琢宗書簡	書簡	瀧谷琢宗	石黒老先生	[明治21]	11	12	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
717	竹内正策書簡	書簡	竹内正策	石黒閣下		8	24	墨書	1	通	番号717、1420は同封。	封筒
718	竹内正策書簡	書簡	竹内正策	石黒男爵閣下		11	13	墨書	1	通		封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
719	竹内正策ほか書簡	書簡	竹内正策、友安治延、佐田広太郎、伊崎良熙	石黒忠憲閣下		3	25	墨書	4	通	貼り合せ。	封筒
720	竹城書簡	書簡	竹城	石黒先生		9	7	墨書	1	通		封筒
721	武谷水城書簡	書簡	陸軍一等軍医正 武谷水城	陸軍々医総監男爵 石黒忠憲閣下	明治30	10	20	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
722	竹橋尚文書簡	書簡	竹橋尚文	男爵石黒閣下	[明治30]	10	3	墨書	1	通	年代は内容より推定。「円満辞職」につき。	封筒、翻刻原稿
723	田代基徳書簡	書簡	基徳	石黒男爵殿		2	25	墨書	1	通		封筒
724	田代基徳書簡	書簡	田代基徳	石黒男爵殿		5	16	墨書	1	通		封筒
725	立花小一郎書簡	書簡	立花小一郎	石黒老先生	大正9	9		墨書	1	通	端裏に付箋「立花小一郎」あり。	封筒
726	立花種恭書簡	書簡	種恭	石黒先生		9	26	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
727	立見尚文書簡	書簡	立見尚文	石黒先生	[明治38]	3	22	墨書	1	通	年代は内容より推定。奉天占領の祝詞へのお礼。	封筒、翻刻原稿
728	立見尚文書簡	書簡	立見軍務局長	石黒軍医総監閣下		6	9	墨書	1	通		封筒
729	田中稻城書簡	書簡	稻城	石黒男爵殿		9	16	墨書	1	通	端に「本邦図書館事業ノ創設者ナル文学士田中稻城君(帝国図書館長)」と上書き。	封筒
730	田中義一書簡	書簡	義一	石黒閣下			25	墨書	1	通		封筒
731	田中義一書簡	書簡	義一	石黒閣下			28	墨書	1	通	端裏に付箋「田中義一」あり。	封筒、翻刻原稿
732	田中光顕書簡	書簡	田中光顕	况斎老閣	大正11	4	4	墨書	1	通		封筒
733	田中光顕書簡	書簡	田中光顕	石黒老先生		2	8	墨書	1	通		封筒
734	田中光顕書簡	書簡	光顕	石黒総監閣下		3	16	墨書	1	通		封筒
735	田中光顕書簡	書簡	田中光顕	石黒老先生		10	21	墨書	1	通		封筒
736	田中光顕書簡	書簡	田中光顕	石黒惣監閣下		12	4	墨書	1	通		封筒
737	田中弥太郎書簡	書簡	田中弥太郎	石黒男爵閣下		6	5	墨書	1	通		封筒
738	谷干城書簡	書簡	干城	石黒様		5	5	墨書	1	通		
739	谷干城書簡	書簡	干城	石黒忠憲		5	14	墨書	1	通	前欠	封筒
740	谷干城書簡	書簡	谷干城	石黒様		6	18	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
741	谷干城書簡	書簡	谷干城	石黒忠憲殿		7	26	墨書	1	通		封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
742	谷干城書簡	書簡	谷干城	石黒様		7	29	墨書	1	通		封筒
743	谷干城書簡	書簡	干城	石黒様		7	31	墨書	1	通		
744	谷干城書簡	書簡	干城	石黒忠憲君		12	19	墨書	1	通		封筒
745	谷口謙書簡	書簡	陸軍一等軍医谷口謙	陸軍々医監石黒忠憲	[明治19]	11	2	墨書	1	通		封筒
746	谷口謙書簡	書簡	第一軍軍医部谷口軍医監	石黒男爵閣下	明治38	1	6	墨書	1	通	軍事郵便。	
747	谷口謙書簡	書簡	謙	男爵石黒閣下	[大正2]	1	15	墨書	1	通	年代は内容より推定。文中の小池男爵は小池正直カ 小池は大正2年に死去。	封筒
748	谷口謙書簡	書簡	於安東県 謙	石黒男爵閣下		5	3	墨書	1	通		封筒
749	谷山隆英書簡	書簡	谷山隆英	石黒閣下		3	12	墨書	1	通		封筒
750	田部正壮書簡	書簡	田部正壮	石黒男爵閣下	明治38	3	8	墨書	1	通		封筒
751	田村怡与造書簡	書簡	怡与造	石黒男爵殿		2	1	墨書	1	通		封筒
752	田村怡与造書簡	書簡	田村怡与造	石黒閣下		8	23	墨書	1	通	端に「田村怡与造君」と上書き。	封筒
753	田村寛一書簡	書簡	台中 寛一	石黒閣下野田閣下	明治30年	1	29	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
754	筑紫熊七書簡	書簡	筑紫熊七	石黒閣下		7	28	墨書	1	通	端に「筑紫熊七」と上書き。	封筒
755	長三州書簡	書簡	三洲生	石黒先生		3	3	墨書	1	通		封筒
756	長四郎三書簡	書簡	長四郎三	多聞山主閣下		7	4	墨書	1	通	『懐旧九十年』附録4頁を参照。	封筒
757	珍田捨巳書簡	書簡	珍田捨巳	石黒男爵殿	大正9	4	28	ペン	1	通		封筒
758	塚本勝嘉書簡	書簡	塚本勝嘉	石黒男爵		7	12	墨書	1	通	端に「在北京塚本少将」と上書き。	封筒
759	辻新次書簡	書簡	新次	石黒男爵閣下		10	16	墨書	1	通	端裏に「辻新次」と上書き。	封筒
760	土屋光春書簡	書簡	光春	石黒先生	[明治37]	3	20	墨書	1	通	端裏に付箋「土屋光春」あり。旅順口封鎖について。番号960、1057は同封。	封筒
761	土屋光春書簡	書簡	光春	石黒総監閣下	[明治38]	3	31	墨書	1	通	年代は内容より推定。奉天会戦の勝利などについて。	封筒
762	土屋光春葉書	書簡	土屋光春	男爵石黒忠憲殿	[大正2]	4	30	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
763	土屋光春書簡	書簡	帝国軍人後援会副会長 男爵土屋光春	男爵石黒忠憲閣下		11	6	墨書	1	通		封筒
764	土屋光春書簡	書簡	光春	石黒先生		11	20	鉛筆	1	通		

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
765	都筑馨六書簡	書簡	都筑馨六	石黒男爵殿	[明治41]	8	11	墨書	1	通	年代は内容より推定。男爵叙任(明治41年)につき。	封筒、翻刻原稿
766	都筑馨六書簡	書簡	都筑	石黒大人	[大正9]	7	31	墨書	1	通	年代は内容より推定。子爵降爵につき。	封筒、翻刻原稿
767	都筑馨六書簡	書簡	都筑	石黒老台	[大正11]	2	21	墨書	1	通	番号767、768は同封。年代は内容より推定。山県有朋の死去(大正11年2月)。端裏に「都筑馨六」と上書き。	封筒
768	都筑馨六書簡	書簡	都筑	石太人		3	21	墨書	1	通	番号767、768は同封。端に「都筑馨六」と上書き。	
769	都筑馨六書簡	書簡	都筑	石黒老台		3	21	墨書	1	通	端裏に付箋「(1)都筑二通」あり。	封筒、翻刻原稿
770	都筑馨六書簡	書簡	都筑	石黒太人		7	14	墨書	1	通		封筒
771	都筑馨六書簡	書簡	都筑	石黒大人		8	8	墨書	1	通		封筒
772	都筑馨六書簡	書簡	都筑	石黒子爵閣下		12	16	墨書	1	通		封筒
773	角田真平書簡	書簡	角田真平	石黒忠憲様		4		墨書	1	通		封筒
774	角田秀松書簡	書簡	角田秀松	石黒総監殿		1	30	墨書	1	通	端裏に付箋「角田秀松」あり。	封筒、翻刻原稿
775	角田秀松書簡	書簡	角田秀松	石黒惣監閣下		9	7	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
776	坪井正五郎書簡	書簡	坪井正五郎	石黒忠憲様	明治39	11	4	墨書	1	通	端裏に「坪井正五郎」と上書き。	封筒、翻刻原稿
777	鶴田禎次郎書簡	書簡	於金州半島 陸軍二等軍医 鶴田禎次郎	石黒閣下		7	20	墨書	1	通		封筒
778	鍊成納カ光書簡	書簡	鍊成納カ光	石黒国手		5	2	墨書	1	通		封筒
779	寺内正毅書簡	書簡	正毅	石黒閣下	[明治30]	10	6	墨書	1	通	年代は内容より推定。「円満辞職」につき。端裏に「石黒円満辞職」と上書き。	封筒
780	寺内正毅書簡	書簡	正毅	石黒総監閣下	明治37	2	14	墨書	1	通		封筒
781	寺内正毅書簡	書簡	正毅	石黒男爵閣下	[明治43]	3	7	墨書	1	通	年代は消印より推定。端裏に付箋「(2)寺内正毅」あり。封筒に「朝鮮京城 寺内正毅」と上書き。	封筒、翻刻原稿
782	寺内正毅書簡	書簡	正毅	石黒様	[明治43]	8	30	墨書	1	通	年代は消印より推定。端裏に「日韓併合後 日韓併合」と上書き。封筒に「朝鮮京城 寺内正毅」と上書き。	封筒
783	寺内正毅書簡	書簡	正毅	石黒男爵閣下	[明治44]	6	27	墨書	1	通	年代は消印より推定。封筒に「朝鮮京城 寺内正毅」と上書き。	封筒
784	寺内正毅書簡	書簡	正毅	石黒男爵閣下	[明治45]	1	14	墨書	1	通	年代は消印より推定。封筒に「朝鮮京城 寺内正毅」と上書き。	封筒
785	寺内正毅書簡	書簡	正毅	石黒男爵閣下	[明治45]	3	24	墨書	1	通	年代は消印より推定。封筒に「朝鮮京城 寺内正毅」と上書き。	封筒
786	寺内正毅書簡	書簡	正毅	石黒男爵閣下	[大正元]	10	13	墨書	1	通	年代は消印より推定。封筒に「朝鮮京城 寺内正毅」と上書き。端裏に「大正四年従 重遠云々 ほづみ行 桂公 薨去」と上書き	封筒
787	寺内正毅書簡	書簡	朝鮮京城 寺内正毅	石黒閣下	[大正元]	12	13	墨書	1	通	年代は消印より推定。封筒に「朝鮮京城 寺内正毅」と上書き。	封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
788	寺内正毅書簡	書簡	正毅	石黒男爵閣下	[大正2]	2	15	墨書	1	通	年代は内容より推定。大正政変による第三次桂太郎内閣の辞職。	封筒
789	寺内正毅書簡	書簡	正毅	石黒様	[大正2]	6	16	墨書	1	通	年代は消印より推定。封筒に「朝鮮京城南山 寺内正毅」と上書き。	封筒
790	寺内正毅書簡	書簡	正毅	石黒男爵	[大正2]	11	10	墨書	1	通	年代は消印より推定。封筒に「朝鮮京城南山町官舎 寺内正毅」と上書き。端裏に付箋「(1)寺内正毅」あり。	封筒、翻刻原稿
791	寺内正毅書簡	書簡	正毅	石黒閣下	[大正3]	6	30	墨書	1	通	年代は内容より推定。第33回帝国議会(臨時)と石黒忠篤の欧米外遊はともに1914年6月のことである。外遊については日本農業研究所『石黒忠篤伝』(岩波書店、1969年)、142頁を参照。	封筒
792	寺内正毅書簡	書簡	正毅	石黒男爵閣下	[大正3]	8	10	墨書	1	通	年代は内容より推定。第一次世界大戦の勃発。	封筒
793	寺内正毅書簡	書簡	正毅	石黒男爵閣下	[大正4]	3	8	墨書	1	通	年代は消印より推定。封筒に「朝鮮京城南山町 寺内正毅」と上書き。	封筒
794	寺内正毅書簡	書簡	正毅	石黒男爵閣下	[大正4]	9	16	墨書	1	通	年代は消印より推定。封筒に「朝鮮京城南山町 寺内正毅」と上書き。	封筒
795	寺内正毅書簡	書簡	正毅	石黒男爵閣下	[大正5]	2	9	墨書	1	通	年代は消印より推定。端裏に付箋「(3)寺内正毅」あり。封筒に「朝鮮京城南山町 寺内正毅」と上書き。	封筒、翻刻原稿
796	寺内正毅書簡	書簡	正毅	石黒男爵閣下	[大正5]	4	28	墨書	1	通	年代は消印より推定。端裏に付箋「(4)寺内正毅」あり。封筒に「朝鮮京城 寺内正毅」と上書き。	封筒、翻刻原稿
797	寺内正毅書簡	書簡	朝鮮京城 寺内正毅	石黒男爵閣下	[大正5]	5	16	墨書	1	通	年代は消印より推定。封筒に「朝鮮京城 寺内正毅」と上書き。	封筒
798	寺内正毅書簡	書簡	寺内正毅	石黒男爵・同令夫人	[大正5]	12	2	墨書	1	通	795と同じ内容。端裏に「寺内伯謝恩会」と上書き。	
799	寺内正毅書簡	書簡	寺内正毅	石黒男爵・同令夫人	[大正5]	12	13	墨書	1	通	年代は内容より推定。大山巖国葬につき会を延期。	封筒
800	寺内正毅書簡	書簡	正毅	石黒男爵閣下	[大正8]	3	3	墨書	1	通	年代は消印より推定。封筒に「従大磯 寺内正毅」と上書き。	封筒
801	寺内正毅書簡	書簡	正毅	石黒男爵閣下		1	5	墨書	1	通		封筒
802	寺内正毅書簡	書簡	正毅	石黒様		2	9	墨書	1	通		封筒
803	寺内正毅書簡	書簡	正毅	石黒閣下		3	8	墨書	1	通		封筒
804	寺内正毅書簡	書簡	正毅	石黒様		3	15	墨書	1	通	端裏に「大山元帥」「寺内伯」「桂公爵」ほか3名の人名が上書き。	封筒
805	寺内正毅書簡	書簡	正毅	石黒様		4	26	墨書	1	通		封筒
806	寺内正毅書簡	書簡	正毅	石黒閣下		5	29	墨書	1	通		封筒
807	寺内正毅書簡	書簡	正毅	石黒男爵閣下		6	5	墨書	1	通		封筒
808	寺内正毅書簡	書簡	寺内正毅	石黒殿		8	18	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
809	寺内正毅書簡	書簡	正毅	石黒閣下		9	26	墨書	1	通		封筒
810	寺内正毅書簡	書簡	正毅	石黒様		9	22	墨書	1	通		封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料 番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文 庫情報
811	欠番→小川又次(276-A)											
812	寺内正毅書簡	書簡	正毅	石黒男爵		10	15	墨書	1	通		封筒
813	寺内正毅書簡	書簡	正毅	石黒男閣下		10	17	墨書	1	通		封筒
814	欠番→沖守固(282-A)											
815	寺内正毅書簡	書簡	正毅	石黒男爵閣下		11	29	墨書	1	通		封筒
816	寺内正毅書簡	書簡	正毅	况翁老台			10	墨書	1	通		封筒
817	寺内正毅書簡	書簡	正毅	石黒閣下			15	墨書	1	通		
818	田健治郎書簡	書簡	健治郎	况翁老先生	大正3	3	10	墨書	1	通	封筒に「麻布区本村町五〇 田健次郎」と上書き。	封筒
819	田健治郎書簡	書簡	健	石黒爵閣				墨書	1	通	裏面に「田健次郎」と上書き。	封筒
820	土居通予書簡	書簡	通予	男爵石黒尊台		3	2	墨書	1	通		封筒
821	東儀季芳カ書簡	書簡	焦老人カ	况斎先生		12	26	墨書	1	通	包紙に「東儀手紙」と上書き。	封筒
822	東郷平八郎電報	書簡	トウゴウ レンゴウカ ンタイ シレイテウカ	イシグロチウヂョウ	明治37	5	18	電報	1	通	裏面は表面の訳文あり。	封筒
823	遠田澄庵書簡	書簡	遠田澄	忠憲先生			4	墨書	1	通		封筒
824	土岐頼徳書簡	書簡	土岐軍医部長	石黒衛生長官閣下		10	22	墨書	1	通		封筒
825	土岐頼徳書簡	書簡	清国金州城 土岐軍 医監	石黒総監殿		12	7	墨書	1	通		封筒
826	徳川家達書簡	書簡	家達	石黒男爵殿	明治35	12	25	墨書	1	通		封筒
827	徳川家達書簡	書簡	家達	石黒男爵	大正3	5	14	墨書	1	通		封筒
828	徳川家達書簡	書簡	東照宮三百年祭記 念会 総裁徳川家達	男爵石黒忠憲殿	大正8	5	7	墨書	1	通		封筒
829	徳川家達書簡	書簡	家達	石黒子爵閣下	大正9	9	5	墨書	1	通		封筒
830	徳川国順書簡	書簡	徳川国順	石黒子爵閣下	[大正9]	9	6	墨書	1	通	年代は内容より推定。子爵陞爵につき。端裏に付箋「徳川国順」あり。	封筒
831	徳川達孝書簡	書簡	日本弘道会長 徳川 達孝	石黒忠憲殿	[大正元]	10	22	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
832	徳川実枝子書簡	書簡	徳川実枝子	男爵石黒忠憲様		9	10	墨書	1	通		封筒
833	徳川頼倫書簡	書簡	徳川頼倫	石黒忠憲殿		12	19	墨書	1	通		封筒
834	徳富猪一郎書簡	書簡	伯林ニ於テ 徳富生	Baron Ishiguro	[明治29]	9	18	ペン	1	通	年代は内容より推定。宛先は封筒の表書きを採録。	封筒

石黒忠恵関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
835	徳富猪一郎書簡	書簡	蘇峰生		[明治30]	9	尽	墨書	1	通	年代は内容より推定。「円満辞職」につき。宛先は未記入。	封筒、翻刻原稿
836	徳富猪一郎書簡	書簡	徳富猪一郎	况斎先生	[明治35]	1	28	墨書	1	通	年代は内容より推定。貴族院議員に勅選。漢詩1枚あり。	封筒
837	徳富猪一郎書簡	書簡	猪一郎	况斎先生	大正元	9	1	墨書	1	通		封筒
838	徳富猪一郎書簡	書簡	猪	石黒閣下	大正3	3	11	墨書	1	通	封筒に「東京日吉町国民新聞社 徳富猪一郎」と上書き。番号838、846は同封。	封筒
839	徳富猪一郎書簡	書簡	猪一郎	况斎先生	大正6	2	21	墨書	1	通		封筒
840	徳富猪一郎書簡	書簡	猪一郎	况斎老先生	大正8	5	12	墨書	1	通		封筒
841	徳富猪一郎書簡	書簡	猪一郎	况斎老閣下	大正8	11		墨書	1	通		封筒
842	徳富猪一郎書簡	書簡	猪一郎	况斎老先生	大正9	5	18	墨書	1	通	端裏に「(1)」と上書き。また付箋「徳富猪一郎 二通」あり。	封筒、翻刻原稿
843	徳富猪一郎書簡	書簡	猪一郎	况斎老先生	大正9	10	10	墨書	1	通	端裏に「(2)徳富猪一郎(2)」と上書き。	封筒
844	徳富猪一郎書簡	書簡	猪一郎	况斎先生	大正11	3	19	墨書	1	通	端に「徳富」と上書き。	封筒
845	徳富猪一郎書簡	書簡	猪一郎	况斎老閣	大正12	3	9	墨書	1	通	端に「徳富」と上書き。	封筒
846	徳富猪一郎書簡	書簡	猪一郎	石黒閣下		8	20	墨書	1	通	番号838、846は同封。	
847	徳富猪一郎書簡	書簡	蘇峰生	况斎老先生		10	16	墨書	1	通		封筒
848	徳富猪一郎書簡	書簡	猪一郎	况斎老先生				墨書	1	通		封筒
849	戸塚正一書簡	書簡	戸塚正一	石黒先生		11	17	墨書	1	通		封筒
850	富岡鉄斎書簡	書簡	富岡鉄斎	石黒男爵君		9	2	墨書	1	通	宛先は封筒の表書きを採録。	
851	外山正一書簡	書簡	外山正一	男爵石黒忠恵殿		11	15	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
852	外山正一書簡	書簡	正一	石黒賢兄		12	13	墨書	1	通	端に「外山正一」と上書き。	封筒
853	豊辺新作書簡	書簡	豊辺大佐	石黒閣下	明治37	11	24	墨書	1	通	「陸軍恤兵部調製」罫紙を利用。地図(遼陽付近における部隊配置)が同封。	封筒
854	豊辺新作書簡	書簡	豊辺新作	石黒男爵閣下		5	24	墨書	1	通		封筒
855	豊辺新作ほか書簡	書簡	豊辺新作・鈴木荘兵・伊豆凡夫	陸軍々医総監男爵石黒忠恵閣下	明治39	1	8月13日	墨書	3	通	貼り合せ。	封筒
856	鳥尾小弥太書簡	書簡	得庵	石黒国手		5	27	墨書	1	通	端に「鳥尾小弥太 得庵」と上書き。	封筒
857	中泉正書簡	書簡	中泉正	石黒閣下	明治31	10	6	墨書	1	通		封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
858	中泉正書簡	書簡	中泉正	石黒閣下		2	5	墨書	1	通		封筒
859	長岡外史書簡	書簡	長岡外史	石黒忠憲殿	[明治45]	4	23	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
860	長岡護美書簡	書簡	長岡護美	石黒忠憲殿		1	27	墨書	1	通		封筒
861	長岡護美書簡	書簡	長岡護美	石黒賢台		10	5	墨書	1	通	端に「子爵長岡護美君」と上書き。	封筒
862	中川十全書簡	書簡	中川十全	石黒男爵閣下	[明治30]	1	18	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
863	中川十全書簡	書簡	中川十全	男爵石黒忠憲閣下				墨書	1	通	軍事郵便。消印は判読できない。	
864	仲木之植書簡	書簡	仲木之植	石黒軍医総監閣下	[明治30]	10	4	墨書	1	通	年代は内容より推定。「円満辞職」につき。	封筒
865	永坂周二書簡	書簡	永坂周二	况翁大先生		12	13	墨書	1	通		封筒
866	中島謹蔵書簡	書簡	中島謹蔵	従四位勳三等陸軍 軍医総監 石黒忠憲 先生	明治23	10		墨書	1	通		封筒
867	中嶋俊子書簡	書簡	中嶋俊子	石黒先生		9・ 11	20・ 23	墨書	2	通	貼り合せ。	封筒
868	仲小路廉書簡	書簡	仲小路廉	况翁様	[明治45]	5	9	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒、翻 刻原稿
869	仲小路廉書簡	書簡	仲小路廉	石黒老台		9	7	墨書	1	通		封筒
870	長瀬時衡書簡	書簡	時衡	况斎大先生	[明治30]	10	5	墨書	1	通	年代は内容から推定。「円満辞職」につき。	封筒、翻 刻原稿
871	長瀬時衡書簡	書簡	長瀬時衡	石黒先生	明治甲子	4	16	墨書	1	通		封筒
872	中西正樹書簡	書簡	中西正樹	石黒大人		1	21	墨書	1	通		封筒
873	中野幸太郎書簡	書簡	在満州盛京府安東 県 従軍記者 中野 幸太郎	石黒忠憲様	[明治38]	10		墨書	1	通	軍事郵便。年代は消印より推定。	
874	永松東海書簡	書簡	永松東海	石黒閣下		3	27	墨書	1	通		封筒
875	中上川彦次郎書簡	書簡	中上川彦次郎	石黒忠憲様	明治14	5	9	墨書	1	通	前欠	封筒
876	中村覚書簡	書簡	広島市猫屋町歩兵 第二旅団司令部 陸 軍少将 中村覚	男爵石黒忠憲閣下	[明治37]	3	21	墨書	1	通	軍事郵便。年代は消印より推定。	
877	中村覚書簡	書簡	第三軍第一師団歩 兵第二旅団司令部 陸軍中將 中村覚	男爵石黒忠憲閣下	[明治37]	7	3	墨書	1	通	軍事郵便。年代は消印より推定。	
878	中村覚書簡	書簡	中村覚	石黒忠憲閣下		1	23	墨書	1	通		封筒
879	中村覚書簡	書簡	中村覚	石黒男爵閣下		2	21	墨書	1	通	石黒宛上原勇作書簡(断簡)が貼り合せ。	封筒

石黒忠恵関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
880	中村元雄書簡	書簡	中村元雄	石黒忠恵殿		1	15	墨書	1	通	端裏に「中村元雄」と上書き。	封筒
881	中村雄太郎書簡	書簡	中村雄太郎	石黒閣下		7	23	墨書	1	通		封筒
882	中目斎書簡	書簡	中目斎	石黒忠恵様	明治34	1	1	墨書	1	通		封筒
883	中目斎書簡	書簡	中目斎	石黒先生	大正元	12	23	墨書	1	通		封筒
884	中目斎書簡	書簡	中目斎	况斎石黒大先生	[大正10]	10	10	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
885	中目斎書簡	書簡	中目斎	况斎大先生		1	21	墨書	1	通		封筒
886	中目斎書簡	書簡	中目斎	石黒大先生閣下御 奥様		3	23	墨書	1	通		封筒
887	中目斎書簡	書簡	中目斎	况翁大先生閣下		3	5	墨書	1	通		封筒
888	中目斎書簡	書簡	斎	半月庵不円大先生		4	14	墨書	1	通		封筒
889	中目斎書簡	書簡	中目斎	况斎大先生		5	24	墨書	1	通		封筒
890	中目斎書簡	書簡	中目斎	况斎大先生		12	29	墨書	1	通		封筒
891	長屋重名書簡	書簡	長屋重名	石黒况翁先生		3	12	墨書	1	通		封筒、明 治33年と
892	中山寛六郎書簡	書簡	中山寛六郎	石黒老先生		3	13	墨書	1	通	端に「会計検査官 中山寛六郎」と上書き。	封筒
893	永山武四郎書簡	書簡	永山武四郎	石黒忠恵		1	13	墨書	1	通		封筒、翻 刻原稿
894	長与専斎書簡	書簡	専斎	石黒賢台		1	19	墨書	1	通		封筒
895	長与専斎書簡	書簡	専斎	石黒賢台		1	22	墨書	1	通		封筒
896	長与専斎書簡	書簡	専斎	石黒賢台		2	25	墨書	1	通	端裏に付箋「長与専斎」あり。	封筒
897	長与専斎書簡	書簡	専斎	石黒賢台		3	16	墨書	1	通	脚気病院(明治11～15年)の設置につき。	封筒
898	長与専斎書簡	書簡	専斎	石黒賢台		3	18	墨書	1	通		封筒
899	長与専斎書簡	書簡	専斎	石黒賢台		4	4	墨書	1	通		封筒
900	長与専斎書簡	書簡	専斎	石黒賢台		8	12	墨書	1	通		封筒
901	鍋島栄子書簡	書簡	栄子	石黒様	[大正4]	4	10	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
902	鍋島幹書簡	書簡	鍋島幹	石黒賢台		2	9	墨書	1	通		封筒
903	南摩綱紀書簡	書簡	南摩綱紀	石黒先生		6	27	墨書	1	通		封筒
904	西周書簡	書簡	西周	石黒先生		3	5	墨書	1	通	松下芳男『徴兵令制定史』のコピー添付。	封筒

石黒忠恵関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
905	西寛二郎書簡	書簡	於旅順口 西寛二郎	石黒老台	[明治34]	11	23	墨書	1	通	年代は内容より推定。旅順港攻撃	封筒
906	西寛二郎書簡	書簡	寛二郎	石黒様		2	5	墨書	1	通		封筒
907	西寛二郎書簡	書簡	西寛二郎	石黒軍医監		6	5	墨書	1	通	端に「中将西寛二郎」と上書き。	封筒
908	西寛二郎書簡	書簡	寛二郎	石黒老台		12	3	墨書	1	通	端に「西寛二郎君」と上書き。	封筒
909	西寛二郎ほか書簡	書簡	為道・春野・寛二郎・歩兵第12連隊長谷山隆英・井口省吾	石黒賢台	明治37	5・12	15・23	墨書	5	通	貼り合せ。包紙あり。「卅八九年遼東半島戦線ヨリ」と上書き。伊豆凡夫、後藤新平、股野琢ほか4名の名前あり。	封筒、翻刻原稿
910	西島助義書簡	書簡	満州沙濠堡 助義	石黒閣下	明治38	10	16	墨書	1	通		封筒
911	西牟田豊親書簡	書簡	西牟田豊親	石黒忠恵殿	[明治28]	8	21	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
912	西村虎四郎書簡	書簡	虎四郎	石黒忠恵様		3	19	墨書	1	通		封筒
913	西脇新兵衛書簡	書簡	西脇新兵衛	石黒忠恵様		1	29	墨書	1	通	端に「西新兵衛」と上書き。	
914	西脇悌二郎書簡	書簡	西脇悌二郎	石黒忠恵・西脇国三郎様	[明治25]	6	25	墨書	1	通	年代は消印より推定。	
915	西脇悌二郎書簡	書簡	在志加古ニテ西脇悌二郎	石黒忠恵・西脇国三郎様	[明治26]	11	7	ペン	1	通		
916	西脇悌二郎書簡	書簡	在米国ボストン市ニテ西脇悌二郎	石黒忠恵先生	明治29	2	24	ペン	1	通		
917	西脇悌二郎書簡	書簡	悌二郎	石黒忠恵様	明治29	11	30	ペン	1	通	西脇新次郎より悌次(ママ)郎宛書簡が同封	封筒
918	西脇悌二郎書簡	書簡	米国ボストンニテ西脇悌二郎	石黒忠恵先生	明治30	1	1	ペン	1	通		
919	西脇悌二郎書簡	書簡	英領晚香波ニテ 西脇悌二郎	石黒忠恵様		9	29	墨書	1	通		封筒
920	根津嘉一郎書簡	書簡	嘉一郎	石黒况翁		5	4	墨書	1	通	番号920～922は同封。	
921	根津嘉一郎書簡	書簡	根津嘉一郎	石黒忠恵閣下		5	12	墨書	1	通	番号920～922は同封。	
922	根津嘉一郎書簡	書簡	根津嘉一郎	石黒忠恵様		12	29	墨書	1	通	番号920～922は同封。	封筒
923	能久平書簡	書簡	能久平	石黒忠恵様		8	1	墨書	1	通		封筒
924	乃木希典書簡	書簡	希典	石黒仁兄	[明治25]	6	7	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒、翻刻原稿
925	乃木希典書簡	書簡	希典	石黒仁兄	明治32	11	3	墨書	1	通	端裏に「4」と上書き。	封筒、翻刻原稿
926	乃木希典書簡	書簡	乃木希典	石黒賢台	[明治38]	11	12	墨書	1	通	軍事郵便。年代は消印より推定。端裏に「(3)」と上書き。「乃木將軍手紙 軍銃取調書」が同封。	封筒、翻刻原稿
927	乃木希典書簡	書簡	赤坂 乃木希典	石黒賢兄	[明治43]	8	6	墨書	1	通	年代は消印より推定。端裏に「(2)」と上書き。	封筒、翻刻原稿

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
928	乃木希典書簡	書簡	希典	石黒男爵閣下		6	24	墨書	1	通	端裏に「(1)」と上書き。	封筒、翻刻原稿
929	乃木希典書簡	書簡	乃木希典	石黒大仁兄		10	11	墨書	1	通	端裏に「6」と上書き。	封筒、翻刻原稿
930	乃木希典書簡	書簡	希典	石黒兄			24	墨書	1	通	端裏に「5」と上書き。	封筒、翻刻原稿
931	野口小蕉書簡	書簡	野口小蕉	石黒様		3	1	墨書	1	通		封筒
932	野口親書簡	書簡	野口親	石黒先生	[明治31]	11	6	墨書	1	通	年代は内容より推定。明治31年小野塚喜平次に孝子が嫁ぐ。	封筒
933	野口英世書簡	書簡	野口英世	男爵石黒忠憲先生	大正4	11	29	墨書	1	通	The Rockefeller Insititute for Medical Researchの封筒を使用。	
934	野口英世書簡	書簡	於静養地 野口英世	石黒男爵閣下	大正6	8	19	ペン	1	通		
935	野口英世書簡	書簡	米国紐育市 野口英世	東京日本赤十字社男爵石黒社長閣下	[大正6]	8	21	ペン	1	冊	The Rockefeller Insititute for Medical Research, Courses of Instraction、絵葉書4枚が同封。封筒に付箋「赤十字社ヨリ送附 外国ヨリ到着差上候御留守なれば止置きとの事」あり。包紙「在米野口英世 手紙」あり。年代は消印より推定。	
936	野口英世書簡	書簡	野口英世	石黒男爵閣下	大正8	4	28	ペン	1	通	付箋「野口英世博士書簡」あり。	
937	野崎広太書簡	書簡	野崎	石黒様		3	12	墨書	1	通		封筒
938	野崎広太書簡	書簡	広太	况翁男		5	28	墨書	1	通		封筒
939	野崎広太書簡	書簡	幻庵	况翁男		6	17	墨書	1	通	番号939、940、942は同封。	
940	野崎広太書簡	書簡	幻庵	况翁男		8	5	墨書	1	通	番号939、940、942は同封。	封筒
941	野崎広太書簡	書簡	広太	况翁御侍曹		9	21	墨書	1	通		封筒
942	野崎広太書簡	書簡	幻庵	况翁男		10	3	墨書	1	通	番号939、940、942は同封。	
943	野崎広太書簡	書簡	幻庵	石黒男爵		11	21	墨書	1	通	番号114、155、359、497、581、654、706、943、1138、1211、1217、1459は同綴。	
944	野田豁通書簡	書簡	豁通	石黒閣下		8	16	墨書	1	通		封筒
945	野田宥勝書簡	書簡	野田宥勝	石黒様	[大正10]	5	24	墨書	1	通	差出人の肩書は「西巢鴨宗教大学社会室」とある。	封筒
946	野津道貫書簡	書簡	陸軍大将伯爵 野津道貫	男爵石黒忠憲殿	明治38	3	22	墨書	1	通		封筒
947	野村素介書簡	書簡	野邨素	石黒忠憲様		4	23	墨書	1	通		封筒
948	野村靖書簡	書簡	靖	石黒老兄		4	6	墨書	1	通	端に「野村内務大臣」と上書き。	封筒
949	芳賀栄次郎書簡	書簡	栄次郎	石黒閣下閣下		5	3	墨書	1	通		

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
950	橋本雅邦書簡	書簡	橋本雅邦	石黒忠憲様		1	21	墨書	1	通		封筒
951	橋本実梁書簡	書簡	実梁	石黒先生		3	30	墨書	1	通		封筒
952	橋本実梁書簡	書簡	実梁	石黒先生		4	27	墨書	1	通		封筒
953	橋本実梁書簡	書簡	実梁	石黒殿		5	5	墨書	1	通		封筒
954	橋本実梁書簡	書簡	実梁	石黒先生		5	23	墨書	1	通		封筒
955	橋本実梁書簡	書簡	実梁	石黒君		9	3	墨書	1	通		封筒
956	橋本実梁書簡	書簡	実梁	石黒先生		10	15	墨書	1	通		封筒
957	橋本実梁書簡	書簡	実梁	石黒君		11	2	墨書	1	通		封筒
958	橋本綱常書簡	書簡	橋本綱常	石黒総監閣下		1	18	墨書	1	通	端裏に付箋「(1)橋本綱常(二通)」あり。	封筒、翻刻原稿
959	橋本綱常書簡	書簡	綱常	石黒先生		1	19-20	墨書	2	通	貼り合せ。付箋「橋本(2)」あり。	封筒、翻刻原稿
960	橋本綱常書簡	書簡	綱常	石黒先生		5	20	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
961	橋本綱常書簡	書簡	綱常	石黒貴台		8	24	墨書	1	通		封筒
962	橋本綱常書簡	書簡	綱常	石黒貴台		11	4	墨書	1	通		封筒
963	橋本綱常書簡	書簡	綱常	石黒先生		11	11	墨書	1	通		封筒
964	橋本綱常書簡	書簡	綱常	石黒先生		12	11	墨書	1	通		封筒
965	長谷川畏三郎書簡	書簡	備前国邑久郡鶴海村四百九十番住 馳川愛三郎改名 長谷川畏三郎	東京陸軍内御医正 石黒忠憲様	明治13	3	25	墨書	1	通		封筒
966	長谷川泰書簡	書簡	長谷川	石黒况齋先生		2	22	墨書	1	通	端裏に「長谷川」と上書き。付箋「長谷川」あり。	封筒、翻刻原稿
967	長谷川泰書簡	書簡	長谷川泰	石黒男爵閣下		3	27	墨書	1	通		封筒
968	長谷川泰書簡	書簡	長谷川泰	石黒况齋先生		6	4	墨書	1	通		封筒
969	長谷川泰書簡	書簡	長谷川泰	石黒况齋先生		8	22	墨書	1	通		封筒
970	長谷川泰書簡	書簡	長谷川泰	石黒况齋先生		10	30	墨書	1	通		封筒
971	長谷川好道書簡	書簡	長谷川好道	石黒男爵閣下	[明治30]	10	5	墨書	1	通	年代は内容より推定。「円満辞職」につき。	封筒、翻刻原稿
972	長谷川好道書簡	書簡	長谷川好道	石黒男爵閣下	[明治37]	9	13	墨書	1	通	軍事郵便。年代は消印より推定。	

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
973	長谷川好道書簡	書簡	好道	石黒賢台		9	7	墨書	1	通	端に「陸軍大将」と上書き。	封筒
974	長谷場純孝書簡	書簡	純孝	石黒男爵	[大正元]	8	21	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
975	長谷場純孝書簡	書簡	純孝	石黒老台・野田老台閣下		2	19	墨書	1	通	端裏に「長谷村純孝」の付箋あり。長谷場純孝の誤り。	封筒、翻刻原稿
976	長谷場純孝書簡	書簡	純孝	石黒老台		10	30	墨書	1	通		封筒
977	波多野央書簡	書簡	波多野央	石黒大先生		4	16	墨書	1	通		封筒
978	波多野央書簡	書簡	波多野央	石黒先生		12	28	墨書	1	通		封筒
979	花岡真節書簡	書簡	花岡真節	石黒先生		9	25	墨書	1	通		封筒
980	花房直三郎書簡	書簡	花房直三郎	石黒男爵閣下		2	13	墨書	1	通		封筒
981	花房義質書簡	書簡	義質	石黒大兄	[明治30]	7・9	3・29	墨書	2	通	年代は内容より推定。「円満辞職」につき。	封筒、翻刻原稿
982	花房義質書簡	書簡	花房義質	石黒賢台		3	8	墨書	1	通		封筒
983	花房義質書簡	書簡	義質	石黒男爵閣下		4	29	墨書	1	通		封筒
984	花房義質書簡	書簡	義質	石黒大人		10	29	墨書	1	通		封筒
985	花房義質書簡	書簡	義質	石黒様			7	墨書	1	通		封筒
986	馬場命英書簡	書簡	歩兵大佐 馬場命英	石総監閣下		3	9	墨書	1	通	端裏に付箋「歩兵大佐 馬場命英？」あり。	封筒
987	馬場命英書簡	書簡	少将馬場命英	石総監閣下				墨書	1	通		封筒
988	浜尾新書簡	書簡	新	石黒男爵閣下		3	3	墨書	1	通		封筒
989	浜尾新書簡	書簡	新	石黒男閣下		3	9	墨書	1	通		封筒
990	浜尾新書簡	書簡	新	石黒男爵閣下		5	6	墨書	1	通		封筒、後藤新平と
991	浜尾新書簡	書簡	新	石黒国手		5	8	墨書	1	通		封筒
992	欠番→後藤新平(473-A)											
993	浜尾新書簡	書簡	新	池田・石黒・三宅				墨書	2	通	貼り合せ。	封筒
994	早川鉄治カ書簡	書簡	早川鉄治カ	石黒子爵閣下		7	23	墨書	1	通		封筒
995	早川恭太郎書簡	書簡	遼東守備隊海城兵站病院長 早川恭太郎	石黒男爵閣下	[明治38]	1		墨書	1	通	軍事郵便。年代は消印より推定。番号995、1146は台紙に貼り付け。	
996	林董書簡	書簡	在倫敦 林董	陸軍軍医総監男爵 石黒忠憲殿	明治37	6	15	ペン	1	通		

石黒忠憲関係文書目録

資料 番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文 庫情報
997	林董書簡	書簡	林董	石黒忠憲様	[明治38]	4	9	墨書	1	通	年代は消印より推定。	
998	林董書簡	書簡	林董	石黒国手	[明治38]	6	13	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
999	林董書簡	書簡	林董	石黒老台	[明治42]	4	12	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
1000	林紀書簡	書簡	紀	忠憲賢兄		7	3	墨書	1	通		封筒、翻 刻原稿
1001	林洞海書簡	書簡	洞海	忠憲先生		3	29	墨書	1	通		封筒
1002	林曄礼書簡	書簡	於金州舎密カ病院第 二野戦病院付 陸軍 二等軍医 林曄礼	野戦衛生長官石黒 忠憲殿	明治28	2	4	墨書	1	通		封筒
1003	原田一道書簡	書簡	原田一道	石黒先生		4	27	墨書	1	通	端裏に「要用書状」と上書き。	封筒
1004	東久世通禧書簡	書簡	竹亭	况翁尊台	[明治44]	2	1	墨書	1	通	番号1004、1012は同封。年代は消印より推定。	封筒
1005	東久世通禧書簡	書簡	竹亭	况翁老生		4	25	墨書	1	通	番号1005、1007は同封。	封筒
1006	東久世通禧書簡	書簡	古帆	况翁尊台		5	6	墨書	1	通		封筒
1007	東久世通禧書簡	書簡	竹亭	况翁閣下		8	4 10	墨書	2	通	番号1005、1007は同封。貼り合せ。	
1008	東久世通禧書簡	書簡	竹亭	石黒先生		8	19	墨書	1	通		封筒
1009	東久世通禧書簡	書簡	竹亭	况翁尊台		9	26	墨書	1	通	番号1009、1010は同封。	封筒
1010	東久世通禧書簡	書簡	竹亭	况翁閣下		10	7	墨書	1	通	番号1009、1010は同封。	
1011	東久世通禧書簡	書簡	竹亭	石黒様		10	12	墨書	1	通	番号1004、1012は同封。	
1012	東久世通禧書簡	書簡	古帆	况翁貴下		12	15	墨書	1	通		封筒
1013	土方久元書簡	書簡	宮内大臣子爵 土方 久元	陸軍軍医総監 石黒 忠憲殿	明治28	2	6	墨書	1	通		封筒
1014	土方久元書簡	書簡	久元	石黒老台	明治38	4	26	墨書	1	通		封筒
1015	土方久元書簡	書簡	土方久元	石黒賢台		1	21	墨書	1	通		封筒
1016	土方久元書簡	書簡	久元	石黒賢台		2	15	墨書	1	通		封筒、翻 刻原稿
1017	土方久元書簡	書簡	土方久元	石黒賢台		9	12	墨書	1	通	破損。	封筒
1018	土方久元書簡	書簡	久元	石黒殿		10	28	墨書	1	通		封筒、翻 刻原稿
1019	土方久元書簡	書簡	久元	石黒賢台		12	3	墨書	1	通		封筒
1020	土方久元書簡	書簡	久元	石黒賢台		12	15	墨書	1	通		封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
1021	比志島義輝書簡	書簡	比志島義輝	石黒忠憲様	[明治28]	11	15	墨書	1	通	年代は内容より推定。北白川宮の死去。	封筒、翻刻原稿
1022	比志島義輝書簡	書簡	比志島義輝	石黒忠憲閣下	[明治38]	9	14	墨書	1	通	年代は内容より推定。	封筒
1023	比志島義輝書簡	書簡	比志島義輝	男爵石黒忠憲殿		6	27	墨書	1	通		封筒
1024	比志島義輝書簡	書簡	義輝	男爵石黒忠憲殿		10	21	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
1025	肥田浜五郎書簡	書簡	肥田浜五郎	石黒忠憲様		7	12	墨書	1	通	番号1025、1026は同封。	封筒
1026	肥田浜五郎書簡	書簡	肥田浜五郎	石黒忠憲様		12	12	墨書	1	通	番号1025、1026は同封。	
1027	平井保平書簡	書簡	出征第一臨時築城 団班長 陸軍工兵少 佐平井保平	石黒忠憲閣下	明治38	1	1	墨書	1	通	軍事郵便。色紙に貼り付け。510に同封。	
1028	平野好徳書簡	書簡	好徳	石黒様		1	15	墨書	1	通	端に「平野好徳」と上書き。	封筒
1029	平山成信書簡	書簡	成信	石黒子爵閣下		2	20	墨書	1	通	端裏に「平山男内信」と上書き。	封筒
1030	平山成信書簡	書簡	成信	石黒男爵閣下		3	2	墨書	1	通		封筒
1031	平山成信書簡	書簡	成信	石黒男爵閣下		7	15	墨書	1	通		封筒
1032	弘田親厚書簡	書簡	弘田親厚	石黒総監閣下		6	5	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
1033	広幡忠隆書簡	書簡	広幡忠隆	石黒野戦衛生長官 殿		3	28	墨書	1	通		封筒
1034	福井菊三郎書簡	書簡	福井菊三郎	石黒忠憲殿	[大正3]	7	6	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
1035	福沢諭吉書簡	書簡	諭吉	石黒様	明治24	6	16	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
1036	福沢諭吉書簡	書簡	諭吉	石黒様	明治28	3	18	墨書	1	通		封筒
1037	福沢諭吉書簡	書簡	諭吉	石黒様	明治28	3	26	墨書	1	通		
1038	福島安正書簡	書簡	安正	石黒大人	[明治24]	11	24	ペン	1	通	年代は消印より推定。	封筒
1039	福島安正書簡	書簡	安正	石黒大人	明治24	4	8	ペン	1	通		封筒
1040	福島安正書簡	書簡	北京儀鸞殿 福島安 正	石黒大人	[明治34]	1	7	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
1041	福島安正書簡	書簡	北京儀鸞殿 福島安 正	男爵石黒大人	[明治34]	4	10	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
1042	福島安正書簡	書簡	満洲軍 福島安正	男爵石黒忠憲	[明治37]	10	24	墨書	1	通	年代は消印より推定。軍事郵便。	封筒
1043	福島安正葉書	書簡	安正	石黒大人	[明治38]	3	25	ペン	1	通	年代は内容より推定。奉天会戦の勝利を伝える。軍事郵便。	
1044	福島安正書簡	書簡	安正	石黒大人	大正3	9	7	墨書	1	通	関東都督府の用箋を使用。裏面に「(福カ)島安正大将」と上書き。	封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
1045	福島安正葉書	書簡	安正	石黒大人		8	25	ペン	1	通	軍事郵便。日露戦時に書かれたものカ	封筒
1046	福島安正書簡	書簡	安正	石黒男閣下		9	23	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
1047	福島安正書簡	書簡	安正	石黒大人		10	4	墨書	1	通		封筒
1048	福島安正書簡	書簡	安正	石黒大人		10	21	墨書	1	通		封筒
1049	福島安正書簡	書簡	安正	石黒大人		12	31	墨書	1	通		封筒
1050	福地源一郎書簡	書簡	源一郎	石黒先生		5	17	墨書	1	通		封筒
1051	福地源一郎書簡	書簡	福地源一郎	石黒老台		5	25	墨書	1	通		封筒
1052	福地源一郎書簡	書簡	源一郎	石黒男爵閣下		5	27	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
1053	福地源一郎書簡	書簡	源一郎	石黒老先生		5	29	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
1054	福地源一郎書簡	書簡	源一郎	况斎老台		9	23	墨書	1	通		封筒
1055	福原豊功書簡	書簡	豊功	石黒閣下			23	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
1056	福原豊功書簡	書簡	福原	石黒様				墨書	1	通		封筒。不円文庫の
1057	福原豊功書簡	書簡	豊功	石黒閣下				墨書	1	通	番号960、1057は同封。端裏に付箋「福原豊助」あり。「豊功」の誤りカ	封筒
1058	藤井茂太書簡	書簡	北満州 藤井茂太	石黒忠憲殿	[明治37]	5	18	墨書	1	通	軍事郵便。年代は消印より推定。	
1059	富士川游書簡	書簡	富士川游	石黒老先生		5	21	墨書	1	通		封筒
1060	藤浪鑑書簡	書簡	藤浪鑑	石黒先生	明治33	3	10	墨書	1	通		
1061	藤浪鑑書簡	書簡	藤浪鑑	男爵石黒先生	大正9	1	6	墨書	1	通		封筒
1062	藤浪鑑書簡	書簡	藤浪鑑	石黒先生		6	29	墨書	1	通	端裏に「藤浪」と上書き。	封筒
1063	藤浪鑑書簡	書簡	藤浪鑑	石黒先生		8	23	墨書	1	通	端裏に「藤浪鑑」と上書き。	封筒
1064	藤林広蔵書簡	書簡	藤林広蔵	石黒男爵	[大正2]	6	25	墨書	1	通	年代は消印より推定した。	封筒
1065	藤原銀次郎書簡	書簡	藤原銀次郎	石黒子爵閣下		1	20	墨書	1	通		封筒
1066	船越衛書簡	書簡	船越衛	石黒忠憲先生				墨書	1	通		封筒
1067	日置黙仙書簡	書簡	日置黙仙	石黒男爵閣下	明治39	7	8	墨書	1	通		封筒
1068	日置黙仙書簡	書簡	静岡市富永医院ニテ日置黙仙	男爵石黒閣下	[明治39]	7	29	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒、翻刻原稿
1069	日置黙仙書簡	書簡	日置黙仙	男爵石黒忠憲	大正元	9	22	墨書	1	通		封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
1070	日置黙仙書簡	書簡	日置黙仙	石黒男爵閣下		4	6	墨書	1	通		封筒
1071	日置黙仙書簡	書簡	日置黙仙	石黒男爵閣下		4	19	墨書	1	通		
1072	穆堂来光書簡	書簡	穆堂来光	石黒况斎男爵閣下	大正8			墨書	1	通		封筒
1073	星潤次郎書簡	書簡	出征第八師団衛生予備員長 陸軍三等軍医正 星潤次郎	男爵石黒忠憲殿	明治37	12	29	墨書	1	通	軍事郵便。	
1074	星野葆光書簡	書簡	葆光	石黒閣下		3	13	墨書	1	通	第二師団の師団病院に配属(『帝国陸軍編成総覧』第一巻、214頁を参照)。	封筒、翻刻原稿
1075	星一書簡	書簡	星一	石黒子爵閣下	昭和4	10	25	タイプ	1	通		封筒
1076	穂積重遠書簡	書簡	重遠	石黒御老台	[明治30]	10	17	墨書	1	通	年代は内容より推定。「円満辞職」につき。	封筒、翻刻原稿
1077	穂積陳重書簡	書簡	陳重	石黒老閣下	[大正9]	2	20	墨書	1	通	年代は内容より推定。枢密顧問官の就任につき。	封筒
1078	穂積陳重書簡	書簡	陳重	况斎老台		8	14	墨書	1	通		封筒
1079	細川潤次郎書簡	書簡	細川潤次郎	石黒先生	[明治28]	7	27	墨書	1	通	明治28年7月の山陽鉄道軍用列車海中転落事故カ	
1080	細川潤次郎書簡	書簡	細川潤次郎	石黒忠憲殿	[大正9]	2	20	墨書	1	通	年代は内容より推定。枢密顧問官の就任につき。	封筒
1081	細川潤次郎書簡	書簡	細川潤次郎	石黒軍医総監殿		7	16	墨書	1	通		
1082	細川潤次郎書簡	書簡	細川潤次郎	石黒忠憲殿		4	17	墨書	1	通		封筒
1083	細川潤次郎書簡	書簡	細川潤次郎	石黒老生		7	27	墨書	1	通		
1084	堀内利国書簡	書簡	堀内利国	石黒一等軍医正・副島陸軍軍医副	明治7	3	26	墨書	1	通	前欠。大阪鎮台病院の用箋を使用。	封筒
1085	堀内利国書簡	書簡	利国	石黒殿	明治25	2	15	墨書	1	通		封筒
1086	堀内利国書簡	書簡	利国	石黒大人	明治27	9	18	墨書	1	通		封筒
1087	堀内利国書簡	書簡	堀内利国	石黒総監閣下		2	2	墨書	1	通	番号1087、1088は同封。	封筒
1088	堀内利国書簡	書簡	利国	石黒閣下		2	16	墨書	1	通	番号1087、1088は同封。	封筒
1089	堀内利国書簡	書簡	堀内医正	石黒軍医監殿		12	6	墨書	1	通		封筒
1090	堀内利国書簡	書簡	堀内利国	石黒大人				墨書	1	通		封筒
1091	堀内文次郎書簡	書簡	出征第十八師団 堀内少将	石黒仁兄	[大正3]	10	11	墨書	1	通	軍事郵便。年代は消印より推定。封筒に付箋「青島征討」あり。	封筒

石黒忠恵関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
1092	堀内文次郎書簡	書簡	於青島堪山堡壘堀内少将	男爵石黒忠恵閣下	大正3	11	15	墨書	1	通	軍事郵便。	封筒
1093	本郷房太郎書簡	書簡	本郷房太郎	石黒老台		3	26	墨書	1	通	端裏に付箋「本郷房太郎」あり。漢詩1枚同封。	封筒、翻刻原稿
1094	本多静六書簡	書簡	本多静六	石黒忠恵先生	明治30	10	9	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
1095	前島密書簡	書簡	前嶋密	石黒先生	丑	4	1	墨書	1	通		封筒
1096	前島密書簡	書簡	前嶋密	石黒老先生		1	19	墨書	1	通		封筒
1097	前島密書簡	書簡	前嶋密	石黒忠恵様		2	7	墨書	1	通		封筒
1098	前島密書簡	書簡	前嶋密	石黒閣下		3	4	墨書	1	通		封筒
1099	前島密書簡	書簡	前嶋密	石黒先生		5	28	墨書	1	通		封筒
1100	前島密書簡	書簡	前嶋密	石黒老先生		11	7	墨書	1	通		封筒
1101	前田献吉書簡	書簡	前田献吉	石黒軍医監殿	明治18	5	12	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
1102	前田政四郎書簡	書簡	前田軍医正	石黒総監閣下		4	30	墨書	1	通		封筒
1103	牧野忠篤書簡	書簡	牧の	石黒先生		6	3	墨書	1	通	番号1103、1104は同封。	封筒
1104	牧野忠篤書簡	書簡	牧の	石黒先生		6	24	墨書	1	通	番号1103、1104は同封。	
1105	牧野忠篤書簡	書簡	牧野忠篤	石黒忠恵殿		8	18	墨書	1	通		封筒
1106	牧野忠篤書簡	書簡	牧の	石黒先生		11	1	墨書	1	通		封筒
1107	馬越恭平書簡	書簡	馬越恭平	石黒男爵閣下	大正4	3	9	墨書	1	通	番号4、137-A、573、1107、1122、1190、1201、1257は同綴。和敬会関係。	
1108	馬越恭平書簡	書簡	恭平	石黒子閣下	[大正12]	9	25	墨書	1	通	番号1108、1109は同封。	封筒
1109	馬越恭平書簡	書簡	恭平	石黒子閣下		12	8	墨書	1	通	番号1108、1109は同封。	
1110	間島与喜書簡	書簡	間島与喜	石黒老大人		4	24	墨書	1	通		封筒
1111	益田克徳書簡	書簡	益田克徳	石黒忠恵様		11	13	墨書	1	通	端に「益田克徳」と上書き。	封筒
1112	益田孝書簡	書簡	鈍	石黒况翁男閣下	[大正3]	7	17	墨書	1	通	番号1112、1123、1124は同封。年代は消印より推定。	封筒
1113	益田孝書簡	書簡	鈍	石黒况翁閣下	[大正4]	8	28	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
1114	益田孝書簡	書簡	益田孝	石黒男爵閣下	[大正9]	2	18	墨書	1	通	番号1114~1117、1125は同封。枢密顧問官の就任につき。	
1115	益田孝書簡	書簡	鈍	石黒子爵閣下	[大正10]	5	9	墨書	1	通	番号1114~1117、1125は同封。	封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
1116	益田孝書簡	書簡	鈍	况翁子閣下	[大正10]	11	14	墨書	1	通	番号1114~1117、1125は同封。	
1117	益田孝書簡	書簡	孝	石黒子爵閣下	[大正10]	11	17	墨書	1	通	番号1114~1117、1125は同封。	
1118	益田孝書簡	書簡	孝	男石黒閣下		1	4	墨書	1	通	端に「益田孝君」と上書き。	封筒
1119	益田孝書簡	書簡	鈍	石黒况翁男閣下		3・5	24・7	墨書	2	通	貼り合せ。	封筒
1120	益田孝書簡	書簡	鈍	石黒况翁男閣下		4	22	墨書	1	通	番号1120、1121は同封。	封筒
1121	益田孝書簡	書簡	孝	况斎翁閣下		5	19	墨書	1	通	番号1120、1121は同封。	
1122	益田孝書簡	書簡	孝	石黒忠憲様		6	27	墨書	1	通	番号4、137-A、573、1107、1122、1190、1201、1257は同綴。和敬会関係。	
1123	益田孝書簡	書簡	鈍	石黒男閣下		11	9	墨書	1	通	番号1112、1123、1124は同封。	
1124	益田孝書簡	書簡	鈍	淘雪亭		12	2	墨書	1	通	番号1112、1123、1124は同封。	
1125	益田孝書簡	書簡	鈍	石黒子爵閣下		12	22	墨書	1	通	番号1114~1117、1125は同封。	
1126	増村度次書簡	書簡	増村度次	石黒子爵閣下		12	15	墨書	1	通		封筒
1127	股野琢書簡	書簡	琢	况斎翁		4	2	墨書	1	通	端裏に「股野琢氏手紙」と上書き。	封筒
1128	股野琢書簡	書簡	琢	况斎老兄		3	10	墨書	1	通	端裏に「股野琢」と上書き。	封筒
1129	股野琢書簡	書簡	琢	况斎兄		8	4	墨書	1	通		封筒
1130	松井茂書簡	書簡	茂	石黒男爵閣下			23	墨書	1	通	端裏に「松井茂」と上書き。	封筒
1131	松浦詮書簡	書簡	詮	石黒様	[明治23]	10	23	墨書	1	通	年代は内容より推定。軍医総監の就任につき。	封筒
1132	松浦詮書簡	書簡	詮	况翁老兄		2・3	14・31	墨書	4	通	貼り合せ。	封筒
1133	松浦詮書簡	書簡	松浦詮	石黒忠徳殿		5	21	墨書	1	通		封筒
1134	松浦詮書簡	書簡	松浦詮	石黒忠憲殿		12	13	墨書	1	通		封筒
1135	松浦詮書簡	書簡	松浦	石黒君				墨書	1	通		封筒
1136	松浦厚書簡	書簡	松浦	石黒子爵殿		5	15	墨書	1	通		封筒
1137	松浦厚書簡	書簡	松浦厚	石黒男爵殿		5	16	墨書	1	通		封筒
1138	松浦厚書簡	書簡	厚	石黒先生		11	29	墨書	1	通	番号114、155、359、497、581、654、706、943、1138、1211、1217、1459は同綴。	
1139	松浦詮書簡	書簡	松浦	石黒男爵殿		12	4	墨書	1	通		封筒
1140	松浦安仁書簡	書簡	安仁生	石先生		2	23	墨書	1	通	前欠	封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
1141	松浦安仁書簡	書簡	安仁	石黒御奥様		5	12	墨書	1	通		封筒
1142	松尾耕書簡	書簡	松尾耕	石黒軍医監閣下		4	18	墨書	1	通		封筒
1143	松方正義書簡	書簡	松方正義	石黒老台	大正11	12	16	墨書	1	通		封筒
1144	松方正義書簡	書簡	正義	石黒男爵殿		1	11	墨書	1	通		封筒
1145	松方正義書簡	書簡	正義	石黒賢台		9	23	墨書	1	通		封筒
1146	松川武徳書簡	書簡	第一師団彈薬大隊 第二野砲兵縦列 砲兵大尉松川武徳	石黒忠憲殿	[明治38]	1	10	墨書	1	通	軍事郵便。年代は消印より推定。番号995と1146は台紙に貼り付け。現物は番号995(早川恭太郎書簡)に同封。	
1147	松平直亮書簡	書簡	松平直亮	石黒忠憲様	大正5	3・4	15・24	墨書	2	通	貼り合せ。	封筒
1148	松平乗承書簡	書簡	松平乗承	石黒軍医総監殿		10	16	墨書	1	通		封筒
1149	松平正直書簡	書簡	松平正直	忠憲賢台		8	28	墨書	1	通		封筒
1150	松田周平書簡	書簡	松田周平	石黒忠憲閣下			11	墨書	1	通		封筒
1151	松田秀雄書簡	書簡	東京市参事会 東京市長松田秀雄	男爵石黒忠憲殿	明治34	11	12	墨書	1	通		封筒
1152	松永正好書簡	書簡	遼陽之北方四里英城子ニ於テ 松永正好	石黒閣下		9	10	墨書	1	通	端裏に「松永正好」の付箋あり。	封筒、翻刻原稿
1153	松村務本書簡	書簡	出征第一師団司令部 松村務本	男爵石黒忠憲閣下	[明治37]	9	5	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
1154	松村務本書簡	書簡	出征第一師団司令部 陸軍中將 松村務本	男爵石黒忠憲殿	明治38	1	18	墨書	1	通	番号443、1154、1838は「戦死者手紙」として一括。	
1155	松本順書簡	書簡	松本順	石黒忠憲殿	明治27	1	1	墨書	1	通		封筒
1156	松本順書簡	書簡	蘭畴	况翁雅兄	[明治29]	10	10	墨書	1	通		封筒
1157	松本順書簡	書簡	松本順	石黒先生		1	31	墨書	1	通		封筒
1158	松本順書簡	書簡	松本順	石黒忠憲様		1	25	墨書	1	通		封筒
1159	松本順書簡	書簡	軍医総監松本順	石黒医正		4	5	墨書	1	通	陸軍本病院罫紙を使用。	封筒
1160	松本順電報	書簡	松本惣管	石黒医正		4	15	鉛筆	1	通		封筒
1161	松本順書簡	書簡	蘭畴	石黒学兄		8	17	墨書	1	通		封筒
1162	松本順書簡	書簡	蘭畴	况翁雅兄		10	14	墨書	1	通		封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
1163	松本順書簡	書簡	蘭疇	况翁詞兄				墨書	1	通		封筒
1164	松本順書簡	書簡	蘭疇					墨書	1	通	宛先は未記入。	封筒
1165	松山棟庵書簡	書簡	松山棟庵	石黒先生	明治18	8	28	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
1166	松山棟庵書簡	書簡	松山棟庵	石黒先生	明治39	1	28	墨書	1	通		封筒
1167	萬里小路通房書簡	書簡	通房	石黒忠憲殿	[大正5]	1	22	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
1168	萬里小路通房書簡	書簡	萬里小路通房	石黒忠憲閣下		3	5	墨書	1	通		封筒
1169	萬里小路道房書簡	書簡	萬里小路道房	貴族院予算委員第三分科各位		3	5	墨書	1	通		封筒
1170	萬里小路通房書簡	書簡	萬里小路道房	石黒忠憲殿		5	4	墨書	1	通	前欠	封筒
1171	萬里小路通房書簡	書簡	萬里生	况翁老台		5	9	墨書	1	通		封筒
1172	萬里小路通房書簡	書簡	萬里小路道房	石黒忠憲閣下		5	15	墨書	1	通		封筒
1173	真鍋斌書簡	書簡	真鍋斌	石黒閣下	[明治30]	10	15	墨書	1	通	年代は内容より推定。「円満辞職」につき。	封筒、翻刻原稿
1174	三浦謹之助書簡	書簡	三浦謹之助	石黒男爵		12	25	墨書	1	通		封筒
1175	三浦梧楼書簡	書簡	梧楼	石黒子爵閣下	[大正13]	2	5	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
1176	三浦梧楼書簡	書簡	梧楼	石黒先生		8	10	墨書	1	通		封筒
1177	三浦義純書簡	書簡	三浦義純	石黒先生		5	19	墨書	1	通		封筒、差出を大正
1178	欠番→金井之恭(360-A)											
1179	三島億二郎書簡	書簡	三島億二郎	石黒忠憲様		8	29	墨書	1	通		封筒
1180	三島毅書簡	書簡	三島毅	石黒男	[明治39]	8	1	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
1181	三島毅書簡	書簡	三島毅	石黒忠憲殿	明治39	8	15	墨書	1	通		封筒
1182	水谷萬甫書簡	書簡	水谷萬甫	茶伯况翁様		5	22	墨書	1	通	番号1182、1183は同封。	封筒
1183	水谷萬甫書簡	書簡	水谷萬甫	石黒况翁様		6	2	墨書	1	通	番号1182、1183は同封。	封筒
1184	水野勝毅書簡	書簡	水野勝毅	石黒総監閣下		1	31	墨書	1	通		封筒
1185	水野勝毅カ書簡	書簡	水野中佐	石黒軍医総監		2	27	墨書	1	通		封筒
1186	水野勝毅書簡	書簡	勝毅	石黒大人		4	9	墨書	1	通	漢詩1枚が同封。	封筒

石黒忠恵関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
1187	水野勝毅書簡	書簡	水野勝毅	石黒軍医監殿		9	10	墨書	1	通		封筒
1188	水野勝毅書簡	書簡	於仁川 勝毅	石黒総監閣下		12	14	墨書	1	通	前欠	封筒
1189	水野勝毅書簡	書簡	水野勝毅	[石黒忠恵カ]				墨書	1	通	前欠、後欠。端裏に「水野勝毅」と上書き。宛先は石黒カ	封筒
1190	三井高保書簡	書簡	高保	况翁尊台	明治26	1	12	墨書	1	通	番号4、137-A、573、1107、1122、1190、1201、1257は同綴。和敬会関係。	
1191	三井高保書簡	書簡	高保	况翁老台	明治38	5	3	墨書	1	通		封筒
1192	三井高保書簡	書簡	高保	况翁老台	明治39	7	8	墨書	1	通		封筒
1193	三井高保書簡	書簡	華精	况翁閣下	大正元	12	1	墨書	1	通	番号1193～1196は同封。	封筒
1194	三井高保書簡	書簡	華精	况翁閣下	大正2	4	14	墨書	1	通	番号1193～1196は同封。	
1195	三井高保書簡	書簡	華精	况翁閣下	大正3	1	16	墨書	1	通	番号1193～1196は同封。	
1196	三井高保書簡	書簡	華精	况翁老閣下	大正3	12	9	墨書	1	通	番号1193～1196は同封。	
1197	三井高保書簡	書簡	華精	况翁閣下	大正4	6	2	墨書	1	通		封筒
1198	三井八郎次郎書簡	書簡	三井八郎次郎	石黒軍医総監殿		2	6	墨書	1	通		封筒
1199	三井八郎次郎書簡	書簡	松籟	石黒老台		2	10	墨書	1	通	番号1199、1205、1206、1209は同封。	
1200	三井八郎次郎書簡	書簡	松籟	石黒老台		2	18	墨書	1	通		封筒
1201	三井八郎次郎書簡	書簡	三井八郎次郎	石黒賢台		6	16	墨書	1	通	番号4、137-A、573、1107、1122、1190、1201、1257は同綴。和敬会関係	
1202	三井八郎次郎書簡	書簡	松籟	况翁雅台		7	1	墨書	1	通		封筒
1203	三井八郎次郎書簡	書簡	三井八郎次郎	石黒老台		7	26	墨書	1	通		封筒
1204	三井八郎次郎書簡	書簡	三井松籟	石黒老台		10	21	墨書	1	通	番号1204、1208は同封。	封筒
1205	三井八郎次郎書簡	書簡	三井松籟	石黒老台		11	3	墨書	1	通	番号1199、1205、1206、1209は同封。	封筒
1206	三井八郎次郎書簡	書簡	松籟	石黒老台		11	29	墨書	1	通	番号1199、1205、1206、1209は同封。	
1207	三井八郎次郎書簡	書簡	八郎次郎	石黒老閣		12	13	墨書	1	通		封筒
1208	三井八郎次郎書簡	書簡	八郎次郎	石黒老台		12	30	墨書	1	通	番号1204、1208は同封。	
1209	三井八郎次郎書簡	書簡	松籟	石黒老台		12	31	墨書	1	通	番号1199、1205、1206、1209は同封。	
1210	三井守之助書簡	書簡	守之助	石黒况翁閣下		9	28	墨書	1	通	端、端裏に「三井守之助」と上書き。	封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
1211	三井守之助書簡	書簡	三井守之助	男爵石黒忠憲殿		11	14	墨書	1	通	番号114、155、359、497、581、654、706、943、1138、1211、1217、1459は同綴。	封筒
1212	箕作秋坪書簡	書簡	箕作秋坪	石黒先生		8	15	墨書	1	通		封筒
1213	箕作麟祥書簡	書簡	箕作麟祥	石黒男爵閣下		11	22	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
1214	峰源次郎書簡	書簡	峰源次郎	男爵石黒様		8	14	墨書	1	通	端裏に「八十二峰源次郎君」と上書き。	封筒
1215	峰源次郎書簡	書簡	峰源次郎	石黒様		11	8	墨書	1	通		封筒
1216	峰源次郎書簡	書簡	峰源次郎	男爵石黒様		12	3	墨書	1	通		封筒
1217	三原重業書簡	書簡	三原重業	石黒况翁様	大正3	11	10	墨書	1	通	番号114、155、359、497、581、654、706、943、1138、1211、1217、1459は同綴。	
1218	宮入慶之助書簡	書簡	宮入慶之助	石黒男爵殿	[大正3]	11	4	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
1219	宮入慶之助書簡	書簡	宮入慶之助	石黒男爵殿		9	6	ペン	1	通		封筒
1220	宮入慶之助書簡	書簡	慶之助	石黒男爵殿		10	29	墨書	1	通		
1221	宮入慶之助書簡	書簡	宮入慶之助	男爵石黒忠憲殿		12	12	墨書	1	通		封筒
1222	宮北宗春書簡	書簡	宮北宗春	子爵石黒忠憲殿		4	2	墨書	1	通	番号1222、1223は同封。	封筒
1223	宮北宗春書簡	書簡	宮北宗春	子爵石黒忠憲殿		5	7	墨書	1	通	番号1222、1223は同封。	
1224	三宅秀書簡	書簡	秀	石黒先生		7	9	墨書	1	通		封筒
1225	三宅秀書簡	書簡	三宅秀	石黒先生		7	14	墨書	1	通		封筒
1226	三宅秀書簡	書簡	三宅秀	石黒先生		7	22	墨書	1	通		封筒
1227	宮崎謙吉書簡	書簡	宮崎謙吉	陸軍軍医総監石黒忠憲殿	明治28	6	15	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
1228	三好重臣カ書簡	書簡	三好重臣	石黒軍医監		1	11	墨書	1	通		封筒
1229	三好退蔵書簡	書簡	退蔵	石黒老台		12	20	墨書	1	通	端に「三好退蔵」と上書き。	封筒、翻刻原稿
1230	三好成行書簡	書簡	三好成行	男爵石黒総監閣下	[明治30]	10	1	墨書	1	通	年代は内容より推定。「円満辞職」につき。	封筒
1231	無方居士書簡	書簡	無方居士	石黒老大人		12	12	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
1232	村田保書簡	書簡	村田保	石黒男爵閣下		3	18	墨書	1	通	番号1232、1234は同封。端に「村田保」と上書き。	封筒
1233	村田保書簡	書簡	水産翁	石黒賢台		5	21	墨書	1	通		封筒
1234	村田保書簡	書簡	保	石黒賢台				墨書	1	通	番号1232、1234は同封。	

石黒忠恵関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
1235	村田豊作書簡	書簡	日本帝国派遣員陸軍一等軍医 村田豊作	大日本帝国陸軍省医務局長 男爵石黒忠恵殿	明治29	7	2	ペン	1	通		封筒
1236	村野正人書簡	書簡	村野正人	石黒老台		3	16	墨書	1	通		封筒
1237	村野正人書簡	書簡	村野正人	石黒老台		3	16	墨書	1	通		
1238	村野正人書簡	書簡	村野正人	石黒老台		3	29	墨書	1	通		封筒
1239	村野謙書簡	書簡	村野謙	况翁大雅賢		10	22	墨書	1	通		封筒
1240	木骨庵芳齊書簡	書簡	木骨庵芳齊	况斎石黒大先生		2	2	墨書	1	通		封筒
1241	元田肇書簡	書簡	肇	石黒男	[大正5]	10	8	墨書	1	通	年代は内容より推定。「寺内伯も大命ヲ拝シ」(大正5年)との文言あり。	封筒、翻刻原稿
1242	本野順次郎書簡	書簡	鳳凰城ニテ陸軍二等軍医 本野順次郎	野戦衛生長官石黒忠恵閣下	明治28	1	1	墨書	1	通		封筒
1243	森下岩楠書簡	書簡	森下岩楠	石黒老閣		12	1	墨書	1	通		封筒
1244	守田宝丹葉書	書簡	北豊嶋郡本駒込村旭ヶ丘六百四十五番地 守田宝丹	石黒忠恵殿	[明治24]	1	25	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
1245	守矢玄医書簡	書簡	守矢玄医	正四位 石黒先生	明治28	7	22	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
1246	八杉利雄書簡	書簡	八杉医正	石黒軍医監殿		2	26	墨書	1	通		封筒
1247	八杉利雄書簡	書簡	八杉医正	石黒軍医監		8	11	墨書	1	通	端に「八杉利雄」と上書き。	封筒
1248	八杉利雄書簡	書簡	八杉利雄	石黒先生		8	20	墨書	1	通		封筒
1249	八杉利雄書簡	書簡	八杉利雄	石黒先生		11	27	墨書	1	通		封筒
1250	八杉利雄書簡	書簡	八杉利雄	石黒先生		11	29	墨書	1	通		封筒
1251	安謹三書簡	書簡	安謹三	石黒先生		7	30	墨書	1	通		封筒
1252	安田善次郎書簡	書簡	松翁	况斎大兄	大正4年	1	1	墨書	1	通	番号1252、1255、1261、1267、1641は同封。	封筒
1253	安田善次郎書簡	書簡	松翁	多門庵主	[大正4]	3	6	墨書	1	通	番号1253、1254、1262～1264、1268は同封。年代は消印より推定。	封筒
1254	安田善次郎書簡	書簡	松翁	多門庵主	[大正4]	10	9	墨書	1	通	番号1253、1254、1262～1264、1268は同封。年代は消印より推定。	
1255	安田善次郎書簡	書簡	松翁	况翁尊台		1	20	墨書	1	通	番号1252、1255、1261、1267、1641は同封。	
1256	安田善次郎書簡	書簡	松翁	况斎賢台		1	31	墨書	1	通		封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料 番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文 庫情報
1257	安田善次郎書簡	書簡	松翁	多門庵主		3	10	墨書	1	通	番号4、137-A、573、1107、1122、1190、1201、1257は同綴。和敬会関係	封筒
1258	安田善次郎書簡	書簡	松翁	況斎尊台		5・6	5・8	墨書	2	通	貼り合せ。	封筒
1259	安田善次郎書簡	書簡	松翁	況翁老台		5・8	12・10	墨書	3	通	貼り合せ。	封筒
1260	安田善次郎書簡	書簡	松翁	況翁尊台		6	3	墨書	1	通	番号1260、1265は同封。	
1261	安田善次郎書簡	書簡	松翁	況翁老台		10	3	墨書	1	通	番号1252、1255、1261、1267、1641は同封。	
1262	安田善次郎書簡	書簡	松翁	況翁尊台		10	21	墨書	1	通	番号1253、1254、1262～1264、1268は同封。	
1263	安田善次郎書簡	書簡	松翁	多門庵主		11	6	墨書	1	通	番号1253、1254、1262～1264、1268は同封。	
1264	安田善次郎書簡	書簡	松翁	況翁老台		11	29	墨書	1	通	番号1253、1254、1262～1264、1268は同封。	
1265	安田善次郎書簡	書簡	善次郎	石黒男爵様		12	13	墨書	1	通	番号1260、1265は同封。端裏に「善次郎手紙」と上書き。	封筒
1266	安田善次郎書簡	書簡	松翁	況翁尊台			11	墨書	1	通		封筒
1267	安田善次郎書簡	書簡	松翁	況斎尊師			17	墨書	1	通	番号1252、1255、1261、1267、1641は同封。	
1268	安田善次郎書簡	書簡	松翁	多門庵主				墨書	1	通	番号1253、1254、1262～1264、1268は同封。	
1269	安広伴一郎書簡	書簡	安広伴一郎	石黒男爵閣下	[大正9]	2	21	墨書	1	通	年代は内容より推定。枢密顧問官の就任につき。	封筒
1270	柳元永書簡	書簡	柳元永	石黒様	[明治26]	11	18	墨書	3	通	年代は消印より推定。番号1270～1272は同封。	封筒
1271	柳元永書簡	書簡	柳元永	石黒様	[明治27]	1	22	墨書	1	通	年代は消印より推定。番号1270～1272は同封。	
1272	柳元永書簡	書簡	柳元永	石黒様	[明治27]	7	15	墨書	1	通	年代は消印より推定。番号1270～1272は同封。	
1273	柳沢徳忠書簡	書簡	柳沢徳忠	石黒従三位殿		1	22	墨書	1	通		封筒
1274	矢野次郎書簡	書簡	矢野次郎	石黒老兄	明治36	12	14	鉛筆	1	通		封筒
1275	矢野次郎書簡	書簡	矢野次郎	石黒兄	明治39	3	1	鉛筆	1	通		封筒
1276	矢野次郎書簡	書簡	矢野次郎	石黒先老台		4	30	墨書	1	通		封筒
1277	矢野俊彦書簡	書簡	俊	師父閣下		6	3	墨書	1	通	端に「矢野俊彦」と上書きあり。	封筒
1278	矢野文雄書簡	書簡	矢野文雄	石黒老台		10	6	墨書	1	通	端に「矢野文雄」と上書き。	封筒
1279	矢野文雄書簡	書簡	矢野文雄	石黒忠憲様				墨書	1	通		封筒
1280	山尾庸三書簡	書簡	山尾庸三	石黒軍医総監		2	5	墨書	1	通		封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
1281	山県有朋書簡	書簡	山県朋	石黒軍医総監	[明治24]	12	23	墨書	3	通	年代は消印より推定。封筒一括。封筒に「某生、為人通帳、政章書添」、「43止(朱筆)」と上書き。 石黒宛山県書簡については、『子爵石黒忠憲所有 元帥陸軍大将公爵 山県有朋君書牘』(資料番号1799)を参照。	封筒、翻刻原稿
1282	山県有朋書簡	書簡	大磯 芽城山人	石黒老台	[明治25]	1	7・10	墨書	2	通	「山県公書牘控目録」22。年代は消印より推定。封筒一括。封筒に「前橋ノ玉宝論演台 内田正ノ事」、「1(朱筆)」と上書き。	封筒、翻刻原稿
1283	山県有朋書簡	書簡	大磯小淘庵主 朋	石黒老兄	[明治27]	2	5	墨書	1	通	「山県公書牘控目録」21。年代は消印より推定。封筒に「行蔵独倚楼云々飛説」、「21(朱筆)」と上書き。	封筒、翻刻原稿
1284	山県有朋書簡	書簡	無隣庵主 朋	石黒軍医総監	[明治29]	8	10	墨書	1	通	「山県公書牘控目録」20。年代は消印より推定。封筒に「滞欧中ノ挨拶、俗客酒量の注意、西班牙衛生隊報告」、朱筆「20」と上書き。	封筒、翻刻原稿
1285	山県有朋書簡	書簡	無隣庵主 朋	况齋石黒翁閣下	[明治33]	10	2	墨書	1	通	年代は内容より推定。田村怡与造参謀本部次長の死去(明治33年10月1日)につき。	封筒、翻刻原稿
1286	山県有朋書簡	書簡	小淘庵主 朋	石黒老台	[明治34]	12	2	墨書	1	通	年代は消印により推定。封筒に「奉天將軍送致、虎ノ大皮献上、渋沢園遊会」、「42(朱筆)」と上書き。	封筒、翻刻原稿
1287	山県有朋書簡	書簡	小淘庵主 朋	石黒老男閣下	[明治35]	2	15	墨書	1	通	「山県公書牘控目録」12。年代は消印より推定。封筒に「(切取り箇所アリ)、日英同盟締約発表後ノ大勢、予算復活問題」、「12(朱筆)」と上書き。	封筒、翻刻原稿
1288	山県有朋書簡	書簡	無隣庵主 朋	石黒老男閣下	[明治35]	4	17	墨書	1	通	「山県公書牘控目録」9。年代は消印より推定。封筒に「九州巡遊後東山帰着、切取りアリ」、「9(朱筆)」と上書き。	封筒、翻刻原稿
1289	山県有朋書簡	書簡	無隣庵主 朋	石黒老男閣下	[明治35]	12	9	墨書	1	通	「山県公書牘控目録」7。年代は消印より推定。封筒に「昨秋来高配云々、佐野伯薨去云々、松本議院へ同伴云々」、「7(朱筆)」と上書き。	封筒、翻刻原稿
1290	山県有朋書簡	書簡	小淘庵主 朋	総管石黒老男閣下	[明治36]	1	30	墨書	1	通	年代は消印より推定。封筒に「山県手紙」と上書き。書簡は破損。	封筒
1291	山県有朋書簡	書簡	有朋	石黒老台	[明治37]	5	14	墨書	1	通	「山県公書牘控目録」52戊。年代は消印より推定。	封筒
1292	山県有朋書簡	書簡	京都無隣庵主 朋	石黒老男閣下	[明治39]	6	13	墨書	1	通	「山県公書牘控目録」へ。年代は消印より推定。封筒に「電車騒動ニ付社会党跳梁憂慮、乃木將軍発明義手」(朱筆)と上書き。	封筒
1293	山県有朋書簡	書簡	古稀庵 朋	石黒老台	[明治42]	1	12	墨書	1	通	「山県公書牘控目録」ホ。年代は消印より推定。封筒に「大谷靖病氣ノ謝状、同氏手簡同封」、「ホ(朱筆)」と上書き。端裏に「うた入り」と上書き。	封筒
1294	山県有朋書簡	書簡	古稀庵 朋	石黒老台	[明治42]	3	8	墨書	1	通	「山県公書牘控目録」ロ。年代は消印より推定。封筒に「平井国手、予算本会議、野村橋本両子遠逝ヲ悼ミ」、「ロ(朱筆)」と上書き。	封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報	
1295	山県有朋書簡	書簡	古稀庵 朋	石黒老男閣下	[明治42]	9	8	12・13	墨書	2	通	「山県公書牘控目録」11。年代は消印より推定。封筒一括。封筒に「法華寺勝地入手工夫」、「11(朱筆)」と上書	封筒、翻刻原稿
1296	山県有朋書簡	書簡	相州小田原板橋 山県朋	男爵石黒忠憲殿	[明治43]	8	5		墨書	1	通	「山県公書牘控目録」イ、後欠、年月日は消印より推定。封筒に「四十三年八月十日 乃木大将耳痛、井上子龍勳客死 切りて井上勝英氏二贈」、「イ(朱筆)」とあり。	封筒、翻刻原稿
1297	山県有朋書簡	書簡	古稀庵 朋	石黒老台	[明治43]	8	19		墨書	1	通	「山県公書牘控目録」又。年代は消印より推定。封筒に「乃木將軍手術」、「又(朱筆)」と上書き。	封筒
1298	山県有朋書簡	書簡	古稀庵 朋	石黒老台	[大正元]	10	9		墨書	1	通	「山県公書牘控目録」48壬。年代は消印より推定。	封筒
1299	山県有朋書簡	書簡	山県有朋	男爵石黒忠憲殿	大正3	6	14		墨書	1	通	端裏に「山県自書封筒」と上書き。	封筒
1300	山県有朋書簡	書簡	相州小田原板橋 古稀庵有朋	男爵石黒忠憲	[大正3]	6	20		墨書	2	通	「山県公書牘控目録」17。年代は消印より推定。封筒一括。封筒に「喜字祝、荔枝ノ謝状」、「17(朱筆)」と上書き。	封筒
1301	山県有朋書簡	書簡	湘南 有朋	子爵石黒忠憲	[大正11]	3	13		墨書	1	通	端裏に「大正十一年三月十三日之書」と上書き。破損。	封筒
1302	山県有朋書簡	書簡	芽城山人 朋	石黒賢台		1	5		墨書	1	通	「山県公書牘控目録」33。封筒に「面接時刻約束」33(朱筆)と上書き。	封筒、翻刻原稿
1303	山県有朋書簡	書簡	古稀庵老主 有朋	石黒老男閣下		1	7		墨書	3	通	「山県公書牘控目録」44甲。封筒に「明治四十五年感状、うた二首」と上書き。	封筒
1304	山県有朋書簡	書簡	有朋	石黒老男閣下		1	7		墨書	1	通	「山県公書牘控目録」11。封筒に「郡制問題政府圧迫激烈」11(朱筆)と上書き。	封筒
1305	山県有朋書簡	書簡	有朋	石黒老兄		1	12		墨書	1	通	「山県公書牘控目録」26。封筒に「印籠返却」23(朱筆)と上書き。	封筒、翻刻原稿
1306	山県有朋書簡	書簡	芽城山人	石黒老台		1	19		墨書	1	通	「山県公書牘控目録」5。封筒に「一家事二付配慮」5(朱筆)と上書き。	封筒、翻刻原稿
1307	山県有朋書簡	書簡	芽城山人 朋	石黒老兄		1	29		墨書	1	通	「山県公書牘控目録」28。封筒に「台湾一先鎮定、蘭約送付ノ挨拶、丹冊転送依頼」28(朱筆)と上書き。	封筒、翻刻原稿
1308	山県有朋書簡	書簡	含雪	石黒賢兄		1			墨書	1	通	「山県公書牘控目録」18。封筒に「林総監重忠、梨堂公藤松帰去、長瀬李家来遊湯酒事、」18(朱筆)と上書き。	封筒、翻刻原稿
1309	山県有朋書簡	書簡	小淘庵主 朋	石黒老男閣下		2	2		墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
1310	山県有朋書簡	書簡	湘南 小淘庵朋	况翁石黒閣下		2	6		墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
1311	山県有朋書簡	書簡	芽城山人	石黒老台		2	6		墨書	1	通	「山県公書牘控目録」31。封筒に「明朝八字登門之事」31(朱筆)と上書き。	封筒、翻刻原稿
1312	山県有朋書簡	書簡	芽城山人	石黒賢台		2	8		墨書	1	通	「山県公書牘控目録」29。封筒に「内田回答一読、松年齢ハ日本流ニテ十五歳之事」29(朱筆)と上書き。	封筒、翻刻原稿
1313	山県有朋書簡	書簡	広嶋ニテ芽城山人	石黒大国手		2	10		墨書	1	通	封筒に「山県公(少し特別)手紙」と上書き。破損。	封筒
1314	山県有朋書簡	書簡	芽城山人	石黒賢台		2	15		墨書	1	通	「山県公書牘控目録」30。封筒に「先日来内話模様聞合」30(朱筆)と上書き。	封筒、翻刻原稿
1315	山県有朋書簡	書簡	芽城山人 朋	石黒老台		2	16		墨書	1	通	「山県公書牘控目録」3。封筒に「強て請求ハ不本意之事」3(朱筆)と上書き。	封筒、翻刻原稿
1316	山県有朋書簡	書簡	芽城山人 朋	石黒賢台		2	23		墨書	1	通	「山県公書牘控目録」4。封筒に「煙散霧消さしめ度之事」4(朱筆)と上書き。	封筒、翻刻原稿
1317	山県有朋書簡	書簡	有朋	石黒賢台		3	8		墨書	1	通		封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
1318	山県有朋書簡	書簡	芽城山人	石黒老台		3	29	墨書	1	通	「山県公書牘控目録」32。封筒に「色狂人来往之事」 32(朱筆)と上書き。	封筒、翻刻原稿
1318-A	山県有朋書簡	書簡	舎雪	石黒老兄		4	8	墨書	1	通	「山県公書牘控目録」37。封筒に「序文送致之事」 37(朱筆)と上書き。	封筒、翻刻原稿
1319	山県有朋書簡	書簡	芽城山人 朋	石黒賢台		4	16	墨書	1	通	「山県公書牘控目録」2。封筒に「某兩人二付注意」 2(朱筆)と上書き。	封筒、翻刻原稿
1320	山県有朋書簡	書簡	無隣庵主 朋	石黒老兄		4	20	墨書	1	通	「山県公書牘控目録」6。封筒に「電文回答到来之事(京 城よりか)」6(朱筆)と上書き。	封筒、翻刻原稿
1321	山県有朋書簡	書簡	有朋	石黒老兄		5	21	墨書	1	通	「山県公書牘控目録」39。封筒に「発程切迫之事」 39(朱筆)と上書き。	封筒、翻刻原稿
1322	山県有朋書簡	書簡	有朋	石黒老兄		5	22	墨書	1	通	封筒に「過日来ノ件猶内話ヲ尽し度之事」 41(朱筆)と上書き。	封筒
1323	山県有朋書簡	書簡	有朋	石黒男総監閣下		5	29	墨書	1	通	封筒に付箋「辛49」あり。	封筒
1324	山県有朋書簡	書簡	椿山荘主 朋	石黒老兄		6	13	墨書	1	通	「山県公書牘控目録」ト。封筒に「誕生日招状」 ト(朱筆)と上書き。	封筒
1325	山県有朋書簡	書簡	古稀庵老主 朋	石黒老兄		6	25	墨書	1	通	「山県公書牘控目録」47庚。付箋「庚47」あり。	封筒
1326	山県有朋書簡	書簡	椿山荘主 朋	石黒况翁		6	25	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
1327	山県有朋書簡	書簡	小淘庵主 朋	石黒賢台		6	27	墨書	1	通	「山県公書牘控目録」14。消印が捺されているが判読 できず。明治20年代カ。封筒に「招魂社へ供シタル石獅子 二付テ山県公爵手紙并奥大将手紙」と上書き。	封筒
1328	山県有朋書簡	書簡	有朋	石黒老兄		7	2	墨書	1	通	「山県公書牘控目録」24。封筒に「過日来之事二付拝晤」 24(朱筆)と上書き。	封筒、翻刻原稿
1329	山県有朋書簡	書簡	有朋	石黒賢兄		7	5	墨書	1	通	「山県公書牘控目録」34。封筒に「退食掛来庵之事」 34(朱筆)と上書き。	封筒、翻刻原稿
1330	山県有朋書簡	書簡	有朋	石黒老兄		7	7	墨書	1	通		封筒
1331	山県有朋書簡	書簡	芽城山人 朋	石黒老台		7	19	墨書	1	通	「山県公書牘控目録」19。封筒に「鳥尾婿養子媒酌取消」 19(朱筆)と上書き。	封筒、翻刻原稿
1332	山県有朋書簡	書簡	芽城山人 朋	石黒老台		7	21	墨書	1	通	「山県公書牘控目録」35。封筒に「箱根同伴医師」 35(朱筆)と上書き。	封筒
1333	山県有朋書簡	書簡	無隣庵主 朋	况斎石黒翁		8	27	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
1334	山県有朋書簡	書簡	京都 無隣庵主 朋	石黒老兄		8	30	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
1335	山県有朋書簡	書簡	舎雪	石黒老兄		9	3	墨書	1	通	「山県公書牘控目録」27。封筒に「日光略記拝借之事」 27(朱筆)と上書き。	封筒、翻刻原稿
1336	山県有朋書簡	書簡	京都 無隣庵主 朋	石黒老兄		9	5	墨書	1	通	「山県公書牘控目録」13。封筒に「松本翁借財二付」 13(朱筆)と上書き。	封筒、翻刻原稿
1337	山県有朋書簡	書簡	椿山荘主 朋	石黒老男閣下		10	9	墨書	1	通	「山県公書牘控目録」8。封筒に「一簡接手供覧之事 明 午後参台談合之事」8(朱筆)と上書き。	封筒、翻刻原稿
1338	山県有朋書簡	書簡	椿山荘主 朋	石黒老男閣下		10	13	墨書	1	通	「山県公書牘控目録」46己。封筒に付箋「46己己」あり。	封筒
1339	山県有朋書簡	書簡	有朋	石黒老兄		10	25	墨書	1	通		封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
1340	山県有朋書簡	書簡	椿山莊主 有朋	石黒賢兄		10	25	墨書	1	通		封筒
1341	山県有朋書簡	書簡	芽城山人 朋	石黒老台		11	6	墨書	1	通	「山県公書牘控目録」50丁。封筒に付箋「丁50」あり。	封筒
1342	山県有朋書簡	書簡	芽城山人	石黒老閣		11	7	墨書	1	通	「山県公書牘控目録」51丙。封筒に付箋「丙51」あり。	封筒
1343	山県有朋書簡	書簡	小淘庵生 朋	况翁石黒老兄		11	8	墨書	1	通	「山県公書牘控目録」36。封筒に「画幅松本翁へ返致、平井ノ命ニテ療養、福島少将病氣」36(朱筆)と上書き。	封筒、翻刻原稿
1344	山県有朋書簡	書簡	椿山莊主 朋	石黒老兄		11	15	墨書	1	通	「山県公書牘控目録」45乙。封筒に付箋「乙〇45」あり。	封筒
1345	山県有朋書簡	書簡	有朋	石黒老兄		11	15	墨書	1	通	「山県公書牘控目録」チ。封筒に「熊本医生建言ニ付、浅田宗伯等会合」チ(朱筆)と上書き。	封筒
1346	山県有朋書簡	書簡	古稀庵老主 朋	帰雲亭宗近		12	1	墨書	1	通	「山県公書牘控目録」23。封筒に「東山草庵より古稀祝茶会ニ鴨到来、大演習参観」23(朱筆)と上書き。山県自筆の封筒のあて先は「石黒男閣下」とある。	封筒、翻刻原稿
1347	山県有朋書簡	書簡	芽城山人 朋	石黒老閣		12	1	墨書	1	通	「山県公書牘控目録」22。封筒に「平井欧州行、芳我軍勇渡欧」22(朱筆)と上書き。	封筒、翻刻原稿
1348	山県有朋書簡	書簡	芽城山人 朋	石黒老兄		12	5	墨書	1	通	「山県公書牘控目録」25。封筒に「某へ忠言、某の謝辞添」25(朱筆)と上書き。謝辞(後欠)が同封。	封筒、翻刻原稿
1349	山県有朋書簡	書簡	有朋	石黒賢兄		12	12	墨書	1	通		封筒
1350	山県有朋書簡	書簡	有朋	石黒男老台		12	21	墨書	1	通	「山県公書牘控目録」10。封筒に「大山大将古伊万里香炉謝状」10(朱筆)と上書き。	封筒、翻刻原稿
1351	山県有朋書簡	書簡	椿山莊主 朋	石黒老閣		12	22	墨書	1	通	「山県公書牘控目録」ハ	封筒
1352	山県有朋書簡	書簡	有朋	石黒総監殿		12	23	墨書	1	通	封筒に「和蘭仕官書牘翻訳ノ願」40(朱筆)と上書き。	封筒、翻刻原稿
1353	山県有朋書簡	書簡	無隣庵主 朋	况斎石黒老兄		12	25	墨書	1	通	「山県公書牘控目録」38。封筒に「陸相進退、第四師団演習、社会醜聞」38(朱筆)と上書き。	封筒、翻刻原稿
1354	山県伊三郎書簡	書簡	伊三郎	石黒男爵閣下	[明治41]	11	28	墨書	1	通	年代は内容より推定。忠篤の結婚につき。	封筒
1355	山県伊三郎書簡	書簡	伊三郎	石黒男爵閣下		7	19	墨書	1	通		封筒
1356	山県伊三郎書簡	書簡	伊三郎	石黒男爵閣下		12	13	墨書	1	通		封筒
1357	山県初男書簡	書簡	参謀本部付陸軍歩兵中佐 山県初男		大正8	4		墨書	1	通	宛先は未記入。	封筒
1358	山賀五平書簡	書簡	山賀五平	石黒男爵閣下		5	24	墨書	1	通		封筒
1359	山賀代三書簡	書簡	山賀代三	石黒男爵閣下	[明治37]	3	13	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
1360	山川健次郎書簡	書簡	健次郎	石黒男爵	大正3	4	4,1 2	墨書	2	通	貼り合せ。端に「山川健次郎」と上書き。	封筒
1361	山川浩書簡	書簡	浩	石黒先生		3	10	墨書	1	通	端に「陸軍少将山川浩君」と上書き。	封筒
1362	山川浩書簡	書簡	浩	石黒先生		12	1	墨書	1	通		封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
1363	山川浩書簡	書簡	浩	石黒賢兄		12	18	墨書	1	通		封筒
1364	山岸常尚書簡	書簡	陸軍一等軍医 山岸常尚	男爵石黒軍医総監閣下		11	7	墨書	1	通		封筒
1365	山極勝三郎書簡	書簡	山極勝三郎	男爵石黒忠憲殿	大正6	2	4	墨書	1	通		封筒
1366	山極勝三郎書簡	書簡	山極勝三郎	男爵石黒忠憲殿	大正8	5	2	墨書	1	通		封筒
1367	山極勝三郎書簡	書簡	於滋賀 勝三郎	石黒軍医総監殿		9	29	墨書	1	通		封筒
1368	山極正香書簡	書簡	山極正香	石黒大老殿	明治41	9	12	墨書	1	通		封筒
1369	山極正香書簡	書簡	山極正香	石黒先生	大正2	11	23	墨書	1	通	新嘗祭=11月23日	封筒
1370	山口鉄平書簡	書簡	山口鉄平	石黒先生		7	29	墨書	1	通		封筒
1371	山口素臣書簡	書簡	素臣	石黒大兄		3	30	墨書	1	通		封筒
1372	山口素臣書簡	書簡	素臣	石黒大兄		4	20	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
1373	山沢静吾書簡	書簡	静吾	石黒様		2	15	墨書	1	通		封筒
1374	山沢静吾書簡	書簡	山沢静吾	石黒忠憲殿		10	14	墨書	1	通		封筒
1375	山田顕義書簡	書簡	大日本私立衛生会 頭伯爵 山田顕義	石黒忠憲殿	明治22	6	5	墨書	1	通	「大日本私立衛生会」の用箋を使用。	封筒
1376	山田顕義書簡	書簡	顕義	石黒賢台	[明治25]	1	26	墨書	1	通	年代は消印より特定。	封筒
1377	山田俊卿書簡	書簡	山田俊卿・満寿	男爵石黒忠憲・令夫人・石黒忠篤	明治40	4	9	墨書	1	通		封筒
1378	山田俊卿書簡	書簡	山田俊卿	男爵石黒忠憲様	明治45	3	21	墨書	1	通	番号1378、1382は同封。	
1379	山田俊卿書簡	書簡	山田俊卿	男爵石黒忠憲閣下	大正7	1	3	墨書	1	通		封筒
1380	山田俊卿書簡	書簡	山田俊卿	男爵石黒忠憲様		1	24	墨書	1	通	端裏に「八十二山田俊卿」と上書き。	封筒
1381	山田俊卿書簡	書簡	山田俊卿	男爵石黒忠憲閣下		5	23	墨書	1	通		封筒
1382	山田俊卿書簡	書簡	山田俊卿	石黒忠憲様		5	28	墨書	1	通	番号1378、1382は同封。	封筒
1383	山田俊卿書簡	書簡	山田俊卿	男爵石黒忠憲閣下		6	16	墨書	1	通		封筒
1384	山田俊卿書簡	書簡	山田俊卿	男爵石黒忠憲様		11	1	墨書	1	通		封筒
1385	山田春三書簡	書簡	春三	石黒軍医惣監殿		8	1	墨書	1	通		封筒
1386	欠番→岡崎生三(257-A)											

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
1387	山田春三書簡	書簡	山田春三	石黒賢台		9		墨書	1	通		封筒
1388	山田春三書簡	書簡	春三	石黒男爵閣下		10	1	墨書	1	通		封筒
1389	山田卓介書簡	書簡	山田卓介	石黒公閣下		6	9	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
1390	山田弘書簡	書簡	山田弘	石黒先生		2	6	墨書	1	通		封筒
1391	山田弘書簡	書簡	山田弘	石黒先生		11	30	墨書	1	通		封筒
1392	山田隆一書簡	書簡	陸軍少将 山田隆一	石黒閣下	[大正5]	4	3	墨書	1	通	年代は内容より推定。大正5年3月に陸軍次官に就任。	封筒、翻刻原稿
1393	山根武亮書簡	書簡	山根武亮	男爵石黒軍医総監閣下	明治38	7	22	墨書	1	通		封筒
1394	山根武亮書簡	書簡	韓国京城龍山殿於山根武亮	男爵石黒軍医総監閣下		5	19	墨書	1	通		封筒
1395	山根武亮書簡	書簡	山根武亮	男爵石黒総監閣下		7	14	墨書	1	通		封筒
1396	山根武亮書簡	書簡	山根武亮	石黒男爵閣下			14	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
1397	山本英輔書簡	書簡	山本英輔	石黒閣下	大正3	9	16	ペン	1	通	軍事郵便。封筒には「軍艦周防 山本中佐」と上書き。	封筒
1398	山本英輔書簡	書簡	軍艦周防 山本中佐	石黒男爵	大正3	11	10・15	墨書	2	通	軍事郵便。封筒には「軍艦周防 山本中佐」と上書き。	封筒
1399	山本麻溪書簡	書簡	八九翁麻溪	石黒况翁様	大正4	1	13	墨書	1	通		封筒
1400	山本麻溪書簡	書簡	麻谿	石黒况翁様	大正9	11	12	墨書	1	通		封筒
1401	右筆筆代書簡	書簡	右筆ノ代	石黒様		10	15	墨書	1	通		封筒
1402	瑜伽教如書簡	書簡	教如	石黒男老閣下	己	8	21	墨書	1	通		封筒
1403	瑜伽教如書簡	書簡	教如	石黒男老閣下		3	23	墨書	1	通		封筒
1404	瑜伽教如書簡	書簡	瑜伽教如	石黒様		8	15・17	墨書	2	通	貼り合せ。	封筒
1405	瑜伽教如書簡	書簡	教如	石黒様		11	23	墨書	1	通		封筒
1406	瑜伽教如書簡	書簡	瑜伽教如	石黒男閣下		11	23	墨書	1	通		
1407	横井俊蔵書簡	書簡	鴨緑江軍司令部 横井軍医監	陸軍軍医総監男爵 石黒忠憲殿	[明治38]	1	31	墨書	1	通	軍事郵便。年代は消印より推定。	
1408	横井生書簡	書簡	横井生	石黒忠憲		9	1	墨書	1	通		封筒
1409	横井信之書簡	書簡	横井信之	石黒賢兄	明治17	1	1	墨書	1	通	破損注意。	封筒
1410	横井信之書簡	書簡	横井信之	石黒閣下		2	6	墨書	1	通		封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料 番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文 庫情報
1411	横井信之書簡	書簡	横井信之	石黒閣下		9	11	墨書	1	通	「東京鎮台」の用箋を使用。	封筒
1412	横川源蔵書簡	書簡	源蔵	石黒賢台		4	8	墨書	1	通		封筒
1413	横田千之助書簡	書簡	横田千之助	石黒閣下		2	17	墨書	1	通		封筒
1414	芳川顕正書簡	書簡	顕正	石黒大国手	[明治39]	11	11	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
1415	芳川顕正書簡	書簡	顕正	石黒老斎		3	3	墨書	1	通		封筒
1416	芳川顕正書簡	書簡	顕正	石黒老大人		8	24	墨書	1	通		封筒
1417	吉田市次郎葉書	書簡	韓国密陽吉田商店ニ テ吉田市次郎	男爵石黒忠憲	明治42	1	24	墨書	1	通		封筒
1418	吉田市次郎カ書簡	書簡	吉田市次郎カ	石黒様		9	13	墨書	1	通		封筒
1419	吉田悦次郎葉書	書簡	吉田悦次郎	男爵石黒忠憲閣下	明治42	7	30	墨書	1	通	点字の手紙。	封筒
1420	吉田悦次郎書簡	書簡	ヨシダエツジロー	イシグロチュートクカ ツカ	大正3	8	12	ペン	1	通	点字の手紙。番号717、1420は同封。	
1421	吉武少佐書簡	書簡	吉武少佐	石黒男爵閣下	明治32	1	1	墨書	1	通		
1422	吉武大尉書簡	書簡	吉武大尉	石黒総監		3	19	墨書	1	通		封筒
1423	陸軍本病院電報	書簡	陸軍本病院電報	石黒医正		4	15	鉛筆	1	通		
1424	和田英作書簡	書簡	和田英作	石黒老台	[明治45]	5	22	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
1425	和田英作書簡	書簡	英作	石黒男爵閣下	[明治45]	10	7	墨書	1	通	年代は内容より推定。銅像鑄造のモデルなど。	封筒
1426	渡辺央書簡	書簡	渡辺央	石黒賢台		12	24	墨書	1	通		
1427	渡辺清書簡	書簡	清	石黒先生		5	4	墨書	1	通	差出人は不円文庫情報による。	封筒
1428	渡辺国武書簡	書簡	国武	石黒国手		4	15	墨書	1	通		封筒
1429	渡辺国武書簡	書簡	国武	石黒国手			9	墨書	1	通		封筒
1430	渡辺兼二書簡	書簡	臨時軍用鉄道監部 渡辺兼二	石黒男爵閣下	[明治38]	1	1	墨書	1	通	軍事郵便。巳は1905年。	
1431	渡辺兼二書簡	書簡	韓国駐劄司令部工 兵中佐 渡辺兼二	男爵石黒閣下	[明治38]	9	2	墨書	1	通	軍事郵便。年代は消印より推定。	
1432	渡辺兼二書簡	書簡	兼二	石黒男爵閣下		11	22	墨書	1	通		封筒
1433	渡辺重綱書簡	書簡	渡辺重綱	况斎先生	明治37	1	1	墨書	1	通	番号1433、1645は同封。	封筒、翻 刻原稿
1434	渡辺千秋書簡	書簡	千秋	石黒男爵閣下	[大正2]	7	1	墨書	1	通	差出年は消印より推定。『大正公論』第3巻第6号同封。	封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
1435	渡辺千秋書簡	書簡	千秋	石黒老閣	大正6	3	4	墨書	1	通		封筒
1436	渡辺昇書簡	書簡	昇	石黒先生		4	11	墨書	1	通		封筒
1437	渡辺昇書簡	書簡	昇	石黒兄・井上兄		10	13	墨書	1	通		封筒
1438	渡辺昇書簡	書簡	在満州第一軍沙呼力屯兵站病院長陸軍三等軍医正渡辺昇	陸軍軍医総監男爵石黒忠憲殿				墨書	1	通	軍事郵便。	
1439	渡辺洪基書簡	書簡	洪基	石黒老台	明治20	7	21	墨書	1	通	番号1439、1442、1444は同封。	封筒
1440	渡辺洪基書簡	書簡	渡辺洪基	男爵石黒忠憲殿	明治28	8		墨書	1	通		封筒
1441	渡辺洪基書簡	書簡	渡辺洪基	石黒老台		2	4	墨書	1	通		封筒
1442	渡辺洪基書簡	書簡	渡辺洪基	石黒忠憲様		2	12	墨書	1	通	番号1439、1442、1444は同封。	
1443	渡辺洪基書簡	書簡	洪基	石黒老台		5	11	墨書	1	通		封筒
1444	渡辺洪基書簡	書簡	洪基	石黒賢台		5	13	墨書	1	通	番号1439、1442、1444は同封。	
1445	渡辺洪基書簡	書簡	洪基	石黒先生		6	25	墨書	1	通		封筒
1446	迂静カ書簡	書簡	迂静カ	况斎老先生		4	13	墨書	1	通		封筒
1447	乙生カ書簡	書簡	乙生カ	忠憲老台	[明治19]	3	4	墨書	1	通	年代は内容より推定。大学令の公布につき。	封筒
1448	恭蔵書簡	書簡	恭蔵	况斎先生		3	30	墨書	1	通	落合恭蔵カ	封筒
1449	恒平書簡	書簡	恒平	况翁雅叟		1	3	墨書	1	通		封筒
1450	恒平書簡	書簡	恒平	石黒况翁様		6	28	墨書	1	通		封筒
1451	寿書簡	書簡	寿	石黒男閣下		5	15	墨書	1	通		封筒
1452	修作カ書簡	書簡	修作カ	長与様・石黒様		10	18	墨書	1	通		封筒
1453	正吉書簡	書簡	正吉	况翁尊下		7	3	墨書	1	通		封筒
1454	二郎書簡	書簡	二郎	石黒男		6	30	ペン	1	通	端に「矢■二郎」と上書き。	封筒
1455	翠園書簡	書簡	翠園	况斎先生		5	8	墨書	1	通		封筒
1456	翠松書簡	書簡	翠松	石黒茶伯	[大正3]	11	26	墨書	1	通	年代は消印より推定。封筒に「石田カ信二郎」と上書き。	封筒
1457	青君カ書簡	書簡	青君カ	石黒大兄		9	6	墨書	1	通		封筒
1458	欠番→関屋貞三郎(656-A)											

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
1459	鉄彌書簡	書簡	鉄彌	况翁様		7	12	墨書	1	通	番号114、155、359、497、581、654、706、943、1138、1211、1217、1459は同綴。	
1460	浅額書簡	書簡	浅額	石黒忠徳	[明治37]	3	25	墨書	1	通	年代は内容より推定。『桃菫遺芳』(明治37年出版)の揮毫を依頼	封筒
1461	善兵衛書簡	書簡	善兵衛	石黒男爵閣下		9	29	墨書	1	通	堀切善兵衛カ	封筒
1462	欠番→石井忠亮(61-A)											
1463	亮書簡	書簡	亮	况斎先生		2	20	墨書	1	通	今村亮カ	封筒
1464	亮書簡	書簡	亮	石黒先生		12	6	墨書	1	通	今村亮カ	封筒
1465	知安書簡	書簡	知安	石黒様		1	28	墨書	1	通		封筒
1466	直義書簡	書簡	直義	石黒様				墨書	1	通		封筒
1467	英夫書簡	書簡	英夫	石黒先生	大正7	10	15	墨書	1	通		封筒
1468	百山書簡	書簡	百山	况斎先雄		11	29	墨書	1	通		封筒
1469	百山書簡	書簡	百山	况斎閣下		7	8	墨書	1	通		封筒
1470	不悉書簡	書簡	不悉			3	23	墨書	1	通		封筒
1471	保右衛門書簡	書簡	保右衛門	石黒先生		7	8	墨書	1	通		封筒
1472	穆書簡	書簡	穆	石黒老台		7	31	墨書	1	通		封筒
1473	正光書簡	書簡	正光	石黒賢台		9	16	墨書	1	通		封筒
1474	松兼書簡	書簡	松兼	况翁老台		12	22	墨書	1	通		封筒
1475	松兼書簡	書簡	松兼	石黒老爺				墨書	1	通		封筒
1476	実書簡	書簡	実	石黒様				墨書	1	通		封筒
1477	稔書簡	書簡	稔	石黒衛生局次長殿		10	29	墨書	1	通		封筒
1478	素一郎書簡	書簡	素一郎	石黒先生		11	11	墨書	1	通		封筒
1479	素清書簡	書簡	素清	石黒大兄		10	20	墨書	1	通		封筒
1480	盛貞書簡	書簡	盛貞	忠憲先生		8	25	墨書	1	通		封筒
1481	欠番→川崎祐名(376-A)											
1482	欠番→川崎祐名(376-B)											
1483	よさ書簡	書簡	よさ	石黒閣下		4	29	墨書	1	通		封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
1484	義利書簡	書簡	義利	况翁先生		1	8	墨書	1	通		封筒
1485	善秀書簡	書簡	善秀			8	22	墨書	1	通	宛先は未記入。	封筒
1486	由己書簡	書簡	由己	石黒先生			30	墨書	1	通		封筒
1487	笠翁書簡	書簡	笠翁	陸軍本病院 石黒軍 医正		10	14	墨書	1	通		
1488	礼三書簡	書簡	礼三	石黒医監公		3	23	墨書	1	通		封筒
1489	安蔵書簡	書簡	安蔵	あけ場町様		2	3	墨書	1	通	梅澤安蔵カ。矢野文雄『安田善次郎伝』安田保善社、1925年、450頁を参照。	封筒
1490	欠番→伊東巳代治(98-A)											
1491	欠番→伊東巳代治(98-B)											
1492	差出人未記名書簡	書簡			[明治38]	9	19	ペン	1	通	後欠。	封筒、翻刻原稿
1493	差出人未記名書簡	書簡		石黒閣下		10	7	墨書	1	通		封筒
1494	差出人未記名書簡	書簡					3	墨書	1	通		封筒
1495	差出人未記名書簡	書簡						墨書	1	通		封筒
1496	差出人未記名書簡	書簡						墨書	1	通		封筒
1497	差出人未記名書簡	書簡						墨書	1	通		封筒
1498	差出人未記名書簡	書簡						墨書	1	通		封筒
1499	差出人未記名書簡	書簡						墨書	1	通		封筒
外国人書簡												
1500	Aeo書簡	書簡	E.Aeo	Tadanori Ishiguro				ペン	1	通		
1501	Baelz書簡	書簡	E.Baelz	Kollege und Baron	大正元年	10	10	ペン	1	通		封筒
1502	Baelz書簡	書簡	E.Baelz			12	11	ペン	1	通		
1503	ベルツはな書簡	書簡	ベルツはな	男爵石黒書簡	大正9	4	22	墨書	1	通		封筒
1504	Cole書簡	書簡	E.W.Cole	男爵石黒忠憲殿	明治36	8	31	印刷	1	通	訳文あり。	
1505	Esmarck書簡	書簡	Esmarck	Herr Tadanori Ishiguro	明治18	12	5	ペン	1	通		
1506	Ferías書簡	書簡	J. Ferías		明治20	5	11	ペン	1	通		

石黒忠憲関係文書目録

資料 番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文 庫情報
1507	Fouque書簡	書簡	アメデー・フーク		明治39	7	10	印刷	1	通		封筒
1508	Gerhard書簡	書簡	Gerhard	Tadanori Ishiguro	明治23	2	16	ペン	1	通		
1509	Gerhard書簡	書簡	Gerhard	Dr.Ishiguro	明治25	1	27	ペン	1	通		
1510	ゲルハルト書簡	書簡	伯林 ゲルハルト	石黒総監閣下	明治26	8	3	墨書	1	通		
1511	Gerhard書簡	書簡	Gerhard	Tadanori Ishiguro	明治26	8	3	ペン	1	通		
1512	Grop書簡	書簡	D.S.Grop	Dr.Ishiguro	明治13	10	28	ペン	1	通		
1513	Gurfe書簡	書簡	E.Gurfe	Baron Ishiguro	明治41	12	29	ペン	1	通		
1514	Ilgner書簡	書簡	Edwin Ilgner		明治20	5	16	ペン	1	通		
1515	Ilgner書簡	書簡	Edwin.Ilgner		明治26	2	23	ペン	1	通		
1516	Ilgner書簡	書簡	Edwin.Ilgner		明治27	4	20	ペン	1	通		
1517	Jourdan書簡	書簡	Dr.Jourdan		明治28	7	7	ペン	1	通		封筒、翻 刻原稿
1518	Rotzbeck書簡	書簡	Anna von Rotzbeck		明治26	5	24	ペン	1	通		
1519	Rotzbeck書簡	書簡	Anna von Rotzbeck		明治26	10	27	ペン	1	通		
1520	Rotzbeck書簡	書簡	Anna von Rotzbeck	Dr.Ishiguro	明治27	1	26	ペン	1	通		
1521	ローツベック書簡	書簡	アンナ・フォン・ローツ ベック	敬愛ナル令夫人貴 下	明治28	11	5	墨書	1	通	訳文カ	
1522	Rotzbeck書簡	書簡	Anna von Rotzbeck		明治28	11	5	ペン	1	通		
1523	Rotzbeck書簡	書簡	Anna von Rotzbeck	Baron Ishiguro	明治40	7	13	ペン	1	通		
1524	Rotzbeck書簡	書簡	Anna von Rotzbeck	T.Ishiguro	明治41	2	23	ペン	1	通		
1525	Rotzbeck書簡	書簡	Anna von Rotzbeck	Baron Ishiguro	明治41	12	3	ペン	1	通		
1526	Rotzbeck書簡	書簡	Anna von Rotzbeck	Baron Ishiguro	明治42	8	7	ペン	1	通		
1527	Rotzbeck書簡	書簡	Anna von Rotzbeck	Baron Ishiguro	明治42	9	30	ペン	1	通		
1528	Rotzbeck書簡	書簡	Anna von Rotzbeck	Baron Ishiguro	明治43	3	19	ペン	1	通		
1529	Rotzbeck書簡	書簡	Anna von Rotzbeck	Baron Ishiguro	明治43	4	23	ペン	1	通		
1530	Rotzbeck書簡	書簡	Anna von Rotzbeck	Baron Ishiguro	明治43	7	4	ペン	1	通		

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
1531	Rotzbeck書簡	書簡	アンナ・フォン・ローツベック	親愛ナル石黒令夫人様		1	7	ペン	1	通	訳文カ	
1532	Rotzbeck書簡	書簡	アンナ・フラン・ローツベッキ	石黒忠憲様				墨書	1	通	訳文カ	
1533	Rotzbeck書簡	書簡	アンナ・フ・ローツベッキ					墨書	1	通	訳文カ	
1534	Satow書簡	書簡	英国公使 エルネスト・サトウ	軍医総監石黒忠憲 貴下		11	14	墨書	1	通		封筒
1535	Scheibe書簡	書簡	Dr.Scheibe	Dr.Ishiguro	明治25	12	13	ペン	1	通		
1536	Sibeelks書簡	書簡	Dr.A. W. Sibeelks	Ishiguro	明治20	1	7	ペン	1	通		封筒
1537	[ドイツ語書簡]	書簡			明治21	6	8	ペン	1	通	差出人不明	
1538	[ドイツ語書簡]	書簡		Tadanori Ishiguro	明治21	6	13	ペン	1	通	差出人不明	
1539	[ドイツ語書簡]	書簡			明治30	5	27	ペン	1	通	差出人不明	
1540	[ドイツ語書簡]	書簡			明治30	7	19	ペン	1	通	差出人不明	
1541	毓朗書簡	書簡	毓朗	石黒男爵	[明治35]	7	19	墨書	2	通	年代は消印より推定。	封筒
1542	王府毓書簡	書簡	大清国北京西牌楼定王府毓より	石黒男爵閣下		12	4	墨書	1	通		封筒
1543	金恭権書簡	書簡	大韓国大韓医院第一回卒業生金恭権	陸軍軍医総監石黒忠憲	[明治41]	1	30	墨書	1	通		封筒
1544	金用梯書簡	書簡	太学進士仙坡金用梯					墨書	1	通		封筒
1545	宋文江書簡	書簡	宋文江	石黒忠憲	[大正3]	9	7	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
1546	張寅根書簡	書簡	張寅根	石黒大人閣下	明治38	3	15	墨書	1	通	「陸軍少将 依田広田郎」名刺が2枚同封。	
1547	長梅外書簡	書簡	長梅外	石黒先生		1	14	墨書	1	通		封筒
1548	潘飛声書簡	書簡	飛声	石黒先生	明治23	7	23	墨書	1	通	庚寅＝明治23年。封筒の消印は明治24年カ	封筒
1549	裕庚書簡	書簡	裕庚	大日本陸軍軍医総監 男爵石黒忠憲閣下	申	1	5	墨書	1	通		封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
第三者間書簡												
1550	島宛秋山省三書簡	書簡	秋山省三	島御兄上		1	15	墨書	1	通		
1551	長与専斎宛井上馨書簡	書簡	馨	長与先生		1	7	墨書	1	通		封筒
1552	福原宛大久保忠寛書書簡	書簡	一翁	福原君		12	3	墨書	1	通		封筒
1553	岡井仁[]宛蒲生伊三郎書簡	書簡	蒲生伊三郎	岡井仁[]		11	20	印刷	1	通	後欠のため宛先不詳。	封筒
1554	検疫委員宛大輔書簡	書簡	大輔	検疫委員		10	17	墨書	1	通	虫損あり。	封筒、翻刻原稿
1555	大沼涉宛佐久間左馬太書簡	書簡	左馬太	大沼老台		1	18	墨書	1	通	番号213・1555は同封。	
1556	長与専斎宛佐野常民書簡	書簡	佐野常民	長与賢台		2	5	墨書	1	通		封筒
1557	松本順宛白戸中佐書簡	書簡	白戸中佐	松本軍医頭			22	墨書	1	通		封筒
1558	岡沢精宛徳大寺実則書簡	書簡	徳大寺実則	岡沢陸軍中将		8	29	墨書	1	通		封筒
1559	熊谷宛富岡鉄斎書簡	書簡	富岡	熊谷	明治45	7	7	墨書	1	通		封筒
1560	平野庸太郎宛中沢日元書簡	書簡	中沢日元	平野庸太郎		9	27	墨書	1	通		封筒
1561	橋本綱常宛乃木希典書簡	書簡	希典	橋本仁兄		7	29	墨書	1	通	封筒は乃木が石黒に宛てたもの。	封筒
1562	穂積重遠宛花井卓蔵	書簡	卓蔵	穂積重遠		9	12	墨書	1	通		封筒
1563	宿駅役人宛原芳男書簡	書簡	石黒大学少助教内原芳男	空宿ヨリ越後国三嶋郡片貝村迄宿駅役人中	[明治3]	7	21	墨書	1	通	庚午＝明治3年。	
1564	靖斎宛藤森弘庵書簡	書簡	大雅	靖斎様		2	29	墨書	1	通		
1565	横井軍医正宛松本順書簡	書簡	松本軍医総監	横井医正		4	4	墨書	1	通	陸軍本病院罫紙を使用。	封筒
1566	藤田軍医監宛三宅書簡	書簡	三宅	藤田軍医監閣下	明治43	7	9	墨書	1	通	端裏に「韓国三宅氏手紙」と上書き。封筒に「朝鮮近藤三宅氏書状」と上書き。	封筒
1567	三保吉宛森影伝右衛門書簡	書簡	森影伝右衛門	三保吉		4	10	墨書	1	通		封筒
1568	村瀬君宛良軒書簡	書簡	良軒	村瀬君				墨書	1	通		封筒
1569	松本順宛Grop書簡	書簡	D.S.Grop	Dr.Matsumoto	明治8	7	17	ペン	1	通	英語。裏面に「東京軍医寮 松本氏より」と上書き。	
1570	Maka宛Moesveld書簡	書簡	A.L.Moesveld	Prof. D Y. Maka	1927	5		印刷	1	通		

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
書類の部												
漢詩類												
1571	[愛古平崇漢詩]	書類	愛古平崇					墨書	1	通		封筒
1572	[赤星漢詩]	書類	赤星	軍医総監石黒先生	大正6			墨書	1	通		封筒
1573	[荒木重雄漢詩]	書類	荒木重雄					墨書	1	通		封筒
1574	[山県有朋宛石川良信漢詩]	書類	石川良信	[山県有朋]	明治21	11	29	墨書	4	通	「山県公書牘控目録」15。石黒忠憲による添書あり。	封筒、翻刻原稿
1575	[石川良信ほか詩箋]	書類	桜所石信					墨書	8	通		封筒、封筒に差出
1576	[石川良信漢詩]	書類	桜所石信					墨書	1	通		封筒
1577	[井上馨漢詩]	書類	世外					墨書	5	通		封筒
1578	[今村亮漢詩]	書類	亮					墨書	6	通		封筒
1579	[今村カ亮漢詩]	書類	亮					墨書	1	通		封筒
1580	[内田正ほか漢詩]	書類	正		大正8	5	22	墨書	2	通	己未＝大正8年。虫損あり。	封筒
1581	[英生川柳]	書類	英生	况斎仁大人		8	19	墨書	1	通	金杉英五郎カ	封筒
1582	[大久保北隠和歌]	書類	大久保北隠					墨書	1	通	端に「大久保北隠」と上書き。	封筒
1583	[大倉喜八郎狂歌]	書類	鶴彦					墨書	1	通	封筒に「京都雪中争到来 鶴彦翁狂歌添」と上書き。	封筒
1584	[大道長安漢詩]	書類	大道長安					墨書	1	通		封筒
1585	[奥義則漢詩]	書類	奥義則		明治41	11	28	墨書	1	通		封筒
1586	[奥義則漢詩]	書類	義則		明治42	1	1	墨書	1	通		
1587	[奥義則漢詩]	書類	義則		[明治45]	1	1	墨書	1	枚	壬子＝明治45年	
1588	[小野敦善漢詩]	書類	小野敦善			9	8	墨書	1	通	冒頭に「充員完成待命中述懐」とあり。宛先は未記入。	封筒
1589	[小野敦善漢詩]	書類	小野敦善					墨書	1	通	冒頭に「况翁閣下瑤韻」とあり。宛先は未記入。	封筒
1590	[笠原光雄和歌]	書類	光雄					墨書	1	通		封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
1591	〔肝付兼行和歌〕	書類	肝付兼行	况斎老台				墨書	1	通		封筒
1592	〔清浦奎吾漢詩〕	書類	奎堂	况斎仁兄大人	〔大正12〕	12	9	墨書	1	通	年代は内容より推定。関東大震災について。	封筒
1593	〔耕念漢詩〕	書類	耕念					墨書	9	通		封筒
1594	〔佐藤医学博士狂歌〕	書類	佐藤医学博士	石黒老雅				墨書	1	通	端に「佐藤医学博士」と上書き。	封筒、翻刻原稿
1595	〔白根専一漢詩〕	書類	白根専一					墨書	1	通		封筒
1596	〔鈴木謙漢詩〕	書類	暢軒鈴木謙		明治5	9	9	墨書	1	通	壬申＝明治5年。	封筒
1597	〔星崖閑人漢詩〕	書類	星崖閑人					墨書	1	通		封筒
1598	〔関矢孫左衛門漢詩〕	書類	関矢忠靖	石黒仁先生	明治5年	8		墨書	1	通	壬申＝明治5年。	封筒
1599	〔関矢孫左衛門漢詩〕	書類	関矢忠靖	石黒仁先生	明治5	12		墨書	1	通	壬申＝明治5年。	封筒
1600	〔関矢孫左衛門漢詩〕	書類	関矢忠靖	石黒先生	明治25	2		墨書	1	通		
1601	〔関矢孫左衛門漢詩〕	書類	関矢忠靖	石黒軍医総監先生	明治27・28			墨書	2	通	貼り合わせ。	封筒
1602	〔関矢孫左衛門漢詩〕	書類	関矢忠靖					墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
1603	〔素堂国井詩箋〕	書類	素堂国井					墨書	1	通		封筒
1604	〔鷹洲漁史漢詩〕	書類	鷹洲漁史		大正3	11		墨書	1	通	甲寅＝大正3年。	封筒
1605	〔仲謙和歌〕	書類	仲謙					墨書	1	通		封筒
1606	〔辻沢玄漢詩〕	書類	菖水辻沢玄					墨書	1	通		封筒
1607	詠巖上審願並短歌	書類	利教					墨書	1	通		封筒
1608	〔天保洞主人漢詩〕	書類	天保洞主人 義制竹		明治33			墨書	1	通	庚子＝明治33年	封筒
1609	〔徳岡緝熙漢詩〕	書類	徳岡緝熙	軍医総監石黒閣下	明治28	1	1	墨書	1	通		封筒
1610	〔徳富淇水漢詩〕	書類		石黒賢台	〔明治30〕			墨書	1	枚	1287に同封されていたものを分割して採録。年代は内容より推定。円満辞職につき。	
1611	〔徳富淇水漢詩〕	書類			〔大正3〕			墨書	1	枚	1287に同封されていたものを分割して採録。年代は内容より推定。古稀祝い。	
1612	〔徳富淇水漢詩〕	書類	淇水老父					墨書	1	枚		封筒、翻刻原稿
1613	〔徳富淇水漢詩〕	書類						墨書	1	通		封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
1614	[徳富淇水漢詩]	書類						墨書	1	枚	1287に同封されていたものを分割して採録。	
1615	新秋雜詠	書類	淇水					墨書	1	通		封筒
1616	[徳富蘇峰漢詩]	書類	蘇峰		[大正13]	1	5	墨書	1	通	甲子＝大正13年	封筒
1617	[利教和歌]	書類	利教	石黒男爵				墨書	3	枚		封筒
1618	[土岐頼徳漢詩]	書類	於金州 土岐頼徳		明治28	1	1	墨書	1	通		封筒
1619	[富永冬樹漢詩]	書類	富永冬樹	石黒男爵閣下	[明治31]	11	15	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
1620	[中目斉詩箋]	書類	中目斉					墨書	2	枚		封筒
1621	閑居雜吟十首	書類	梅震生学					墨書	1	通		封筒
1622	[梅仙漢詩]	書類	梅仙					墨書	1	通		封筒
1623	[長谷川生漢詩]	書類	長谷川生					墨書	1	通		封筒
1624	[長谷川泰漢詩]	書類	長谷川泰	石黒况齋先生				墨書	2	通		封筒
1625	[八田泰輔和歌]	書類	八田泰輔					墨書	1	通		封筒
1626	[林暉礼漢詩]	書類	陸軍三等軍医 林暉礼		明治23	9	4	墨書	1	枚	庚寅＝明治23年	封筒
1627	[晩成堂成器肅敬漢詩]	書類	晩成堂成器肅敬					墨書	1	枚		封筒
1628	[潘飛声漢詩]	書類	潘飛声	石黒先生	明治21	4	29	墨書	1	通	戊子＝明治21年	封筒
1629	[潘飛声ほか詩箋]	書類	潘飛声、大野					墨書	4	枚	新聞切り抜きが同封。	封筒
1630	[東久世通禧漢詩]	書類	東久世通禧	石黒忠憲殿	[明治44]	4	25	墨書	4	通	年代は消印より推定。	封筒
1631	[福島安正漢詩]	書類			明治29	11	8	墨書	1	通	端に「福島安正君」と上書き。	封筒、翻刻原稿
1632	[仏村文ほか詩箋]	書類	仏村文、湊宛居士、佐藤碧海生、太一、					墨書	8	通		封筒
1633	[仏村文漢詩]	書類	仏村					墨書	2	通		封筒、翻刻原稿
1634	[仏村文漢詩]	書類	仏村文					墨書	3	通		封筒
1635	[天放桂学漢詩]	書類	天放桂学					墨書	2	通		封筒
1636	[松浦詮ほか漢詩]	書類	松浦詮ほか					墨書	7	通		封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
1637	[松原鉄城漢詩]	書類	松原鉄城	石黒男爵閣下	[大正2]			墨書	1	通	癸丑＝大正2年。端に「広島県佐伯郡宮内村松原鉄城」と上書きあり。	封筒
1638	[峰源次郎ほか漢詩]	書類	関靖、峰源次郎	石黒様		2	17	墨書	2	通	貼り合わせ。2通目は前欠。	封筒
1639	[峰源次郎ほか漢詩]	書類	峰源次郎、増村度次ほか					墨書	4	通		封筒
1640	[目かねなし和歌]	書類	目かねなし					墨書	1	通		封筒
1641	[安田善次郎カ短歌]	書類			大正4			墨書	1	枚	番号1252・1255・1261・1267・1641は同封。	
1642	[山上善漢詩]	書類	山上善					墨書	3	通	包紙に「巴調 山上善拝具」の上書きあり。	封筒
1643	[横井生漢詩]	書類	横井生					墨書	1	通		封筒
1644	[龍若小子詩箋]	書類	龍若小子					墨書	1	通		封筒
1645	[渡辺重綱漢詩および和歌]	書類	渡辺重綱					墨書	2	通	番号1433・1645は同封。	
1646	[渡辺昇漢詩]	書類	渡辺昇					墨書	1	通	端裏に「渡辺昇」と上書き。	封筒
1647	鈴城翁歌	書類	霜谷	况斎先生				墨書	1	通	霜谷は和知霜谷のこと。	封筒
1648	閑居漫吟十六首	書類						墨書	1	通		封筒
1649	丁辰歳晩	書類						墨書	1	通		封筒
著述・図書												
1650	増訂 化学訓蒙 卷之一	冊子	石黒忠憲		明治3年			印刷	1	冊	頭注書き込みあり。佐伯好郎の印あり。佐伯好郎先生寿康会幹事志保澤博の名刺あり。	
1651	増訂 化学訓蒙 卷之二	冊子	石黒忠憲					印刷	1	冊	頭注書き込みあり。	
1652	増訂 化学訓蒙 卷之三	冊子	石黒忠憲					印刷	1	冊	頭注書き込みあり。	
1653	増訂 化学訓蒙 卷之四	冊子	石黒忠憲					印刷	1	冊	頭注書き込みあり。	
1654	増訂 化学訓蒙 卷之五	冊子	石黒忠憲					印刷	1	冊	頭注書き込みあり。	
1655	増訂 化学訓蒙 卷之六	冊子	石黒忠憲					印刷	1	冊	頭注書き込みあり。	
1656	増訂 化学訓蒙 卷之七	冊子	石黒忠憲					印刷	1	冊	頭注書き込みあり。	
1657	増訂 化学訓蒙 卷之八	冊子	石黒忠憲		明治6年			印刷	1	冊	頭注書き込みあり。	

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
1658	况斎雜纂 一	書類						墨書	1	冊		
1659	况斎雜纂 二	書類			明治27～			墨書	1	冊		
1660	况斎雜纂 三	書類						墨書	1	冊		
1661	况斎雜纂 四	書類						墨書	1	冊		
1662	况斎雜纂 五	書類			明治33～			墨書	1	冊		
1663	况斎雜纂 六	書類			明治34			墨書	1	冊	書状1通挟み込み。	
1664	况斎雜纂 七	書類						墨書	1	冊		
1665	况斎雜纂 八	書類			明治36～			墨書	1	冊		
1666	况斎雜纂 九	書類			明治37～			墨書	1	冊		
1667	况斎雜纂 十 明治三十八年 台湾再遊	書類			明治38			墨書	1	冊		
1668	况斎雜纂 十一 自明治卅八六月至卅九六月	書類			明治38～			墨書	1	冊		
1669	况斎雜纂 十二 自明治卅九年七月至明治四十年六月	書類			明治39～			墨書	1	冊		
1670	况斎雜纂 十三 自明治四十年六月至四十一年八月	書類			明治40～			墨書	1	冊		
1671	况斎雜纂 十四 自明治四十一年八月至四十二年六月	書類			明治41～			墨書	1	冊		
1672	况斎雜纂 十五 明治四十二年	書類			明治42			墨書	1	冊		
1673	况斎雜纂 十六 自明治四十三年一月至明治四十四年六月	書類			明治43～			墨書	1	冊		
1674	况斎雜纂 十七 自明治四十四年七月至大正元年十一月 明治天皇崩御 東久世伯乃木伯藹去 石黒銅像	書類			明治44～			墨書	1	冊		
1675	况斎雜纂 十八 自大正元年十一月至同二年	書類			大正元～2			墨書	1	冊		
1676	况斎雜纂 卷十九 大正三年	書類			大正3			墨書	1	冊		
1677	况斎雜纂 二十 大正四年同五年	書類			大正4～5			墨書	1	冊		
1678	况斎雜纂 二十一 自大正五年五月至同大正六年十二月 明治天皇御聖徳之一 佐藤少将ノ事	書類			大正5～6			墨書	1	冊	付箋挟み込み。	

石黒忠恵関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
1679	况斎雜纂 二十二 大正七年	書類			大正7			墨書	1	冊		
1680	况斎雜纂 二十三 大正八年	書類			大正8			墨書	1	冊		
1681	况斎雜纂 二十四 大正九年 日本赤十字社長中央衛生会長貴族院議員辞任 枢密顧問新任 陸爵	書類			大正9			墨書	1	冊		
1682	况斎雜纂 二十五 自大正十年至大正十一年	書類			大正10~11			墨書	1	冊		
1683	况斎雜纂 二十六 自大正十二年至大正十四年八月	書類			大正12~14			墨書	1	冊		
1684	况翁閑話 付况翁談片	冊子	况翁石黒忠恵		明治34	11	12	印刷	1	冊	博文館より出版。	
1685	况翁閑話続稿 一	書類						墨書	1	冊		
1686	况翁閑話続稿 後篇 二	書類						墨書	1	冊		
1687	况翁閑話続稿 五	書類						墨書	1	冊		
1688	况翁閑話続 六	書類						墨書	1	冊		
1689	况斎随筆草稿	書類						墨書	9	冊		
1690	在欧中見聞録一 簞録一 自第一章至第十三章	書類			明治20~21			ペン	1	冊		
1691	在欧中見聞録二 簞録二 伯林及ミュンヘンドレスデン 自第十四章至第四十六章	書類			明治20~21			ペン	1	冊		
1692	在独手記 在独語学手記1	書類			明治20~21			ペン	1	冊		
1693	在独手記 語学	書類			明治20~21			ペン	1	冊		
1694	在独手記 在独時語学手記3	書類			明治20~21			ペン	1	冊		
1695	在独手記 会計	書類			明治20~21			ペン	1	冊		
1696	在独手記 正■	書類			明治20~21			ペン	1	冊		
1697	在独手記 用語、書札、小札 在欧洲中古手帳ノ内	書類			明治20~21			ペン	1	冊	挟み込みの1888年6月3日付の手紙あり。	
1698	在独手記 コレラ	書類			明治20~21			鉛筆	1	冊	題箋「在独中手記」が表紙に貼付。	
1699	在独中歴史聞書ノ一 三十四年会計小録	書類			[明治34]			鉛筆、ペン	1	冊	聞書きは鉛筆書き、会計はペン書き。	

石黒忠恵関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報	
1700	[ノート]	書類			明治20	1	13	鉛筆	1	冊	明治20年1月13日の日付あり。郡・郡会に関する記述。「遮断地一ヶ所取調書」(京都府の罫紙を使用)を挟み込み。		
1701	[ノート]	書類			明治21	10	21	ペン	1	冊	ドイツ語練習。Tokio 1888 Oct. 21付けのドイツ語手紙の下書きあり。		
1702	[ノート]	書類			明治21	9	10	ペン	1	冊	ドイツ語練習。Tokio 1888 Nov. 10付けのドイツ語手紙の下書きあり。		
1703	[ノート]明治二十三年服役二十年祭写真交換人名、同二十四年長野赤十字会紀行略]	書類			明治23~24			ペン、鉛筆	1	冊	封印ページあり。		
1704	[ノート]	書類					11	11	ペン、鉛筆	1	冊	鉛筆書きは11月11日から。滞欧中のものか。	
1705	[ノート]	書類							ペン	1	冊	ドイツ語練習。Wort と Synonym の対照。	
1706	[ノート]	書類							ペン	1	冊	ドイツ語の学習練習	
1707	[ノート]	書類							ペン	1	冊	ドイツ語学習発音。ハードカバー。	
1708	[ノート]	書類							鉛筆	1	冊	眼科治療について。	
1709	[ノート]	書類							鉛筆	1	冊	外科手術に関するメモ。	
1710	[手帳]	書類			明治37				ペン、鉛筆	1	冊	三井銀行の手帳を使用。明治37年1月の予定など記載。	
1711	陸軍統計手記	書類			明治30				ペン	1	冊	「衛生部士官以上人員 三十年五月十日調」と「独仏英日本戦時軍隊糧食対比表」が添付(ともに陸軍省の罫紙を使用)。名刺貼り付け。	
1712	独逸法学士モッセ氏国家学問書	書類							鉛筆	1	冊		
1713	石黒先生輯病名羅(四十句)辞書	書類	石黒忠恵						ペン	1	冊	「羅甸(ラテン)」の誤記か。	
1714	Lesebuch fuer die Anfaenger der deutschen Sprache	冊子			明治18				印刷、鉛筆	1	冊	ドイツ語学習図書。赤色の付箋紙。鉛筆の書き込み多数あり。	
1715	Fragebuch	書類			明治20~21				ペン	1	冊	ドイツ語の学習練習。	
1716	Gebrauchs-Anweisung fur Thermophor-Gummi-Compressen	書類							印刷	1	枚		
1717	Statistische Angaben uber die hygieinischen Verhaltnisse in den Ansiedelungen der Colonisationstruppen im Hokkaido	冊子	T.ISHIGURO, Generalstabsarzt						印刷	1	冊		
1718	和蘭内景 医範提綱	冊子	榛齋宇田川		文化2	2			印刷	1	冊		

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
1719	新化学式 卷之一	冊子	太田雄寧		明治9	5	27	印刷	1	冊		
1720	新化学式 卷之二	冊子	太田雄寧		明治9	5	27	印刷	1	冊		
1721	新化学式 卷之三	冊子	太田雄寧		明治9	5	27	印刷	1	冊		
1722	新化学式 卷之四	冊子	太田雄寧		明治9	5	27	印刷	1	冊		
1723	[筆写原稿 舎密の命名法ほか]	書類							16	綴		
1724	[筆写原稿 分泌之論ほか]	書類							11	綴		
1725	閣省院庁 改正官員録	冊子	彦根正三		明治19	12	2	印刷	1	冊		
1726	石黒忠憲先生一夕話 第一段漢洋医弁	冊子	成瀬元三郎記		明治16	1		印刷	1	冊		
1727	日本赤十字社台湾支部長 後藤新平閣下演説筆記	冊子	日本赤十字社台湾支部		明治38	4	25	印刷	1	冊		封筒
1728	De Leerstellingen der moderne Chemie 1870	冊子			明治3			印刷	1	冊	オランダ語で書かれた化学図書。	
1729	博愛社創立由来 博愛社規則	書類	博愛社総長 一品 陸軍中将東伏見嘉彰親王		明治13	8		墨書	27	枚	「博愛社」罫紙	
1730	推薦書[外務省御用掛に小池正直二等軍医を推薦]	書類			[明治15]			墨書	1	綴	「陸軍医本部」用箋。	封筒
1731	第4回万国赤十字会議関係書類	書類			明治20				27	枚		
1732	[京師大学堂総教習関係書類]	書類			明治36	1	12	墨書	3	枚	光緒29年＝明治36年。	封筒
1733	[松本順叙爵関係書類]	書類			明治38	2	27	墨書	2	綴		封筒
1734	明治三十八年自二月下旬至同三月上旬 奉天付近之戦闘ニ於ケル第三軍特設衛生機関作業一覽図	書類	第三軍軍医部		明治38	3	26	印刷	1	枚		封筒
1735	台湾島鷄籠港砲撃報告 福州戦争報告	書類						墨書	5	枚	「監軍本部」罫紙。福州戦争報告は清仏戦争(1883～85)の戦況を報告したもの。	
1736	[楊守敬筆談記録]	書類						墨書	21	枚		封筒
1737	[慈善事業に関する意見書]	書類						墨書	1	枚		封筒
1738	[慈善病院寄付金の覚書]	書類						墨書	1	枚	番号1737を参照のこと。	封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
1739	[草案断片]	書類			[明治23]			墨書	2	枚	封筒に「明治廿三年医事大会之案(忠憲案) 好求録原稿ノ一部(忠憲草) 茶会案(円願カ)」と上書き。とじはずれ。	封筒
1740	[台湾ヲ巡視シ成兵ノ衛生ニ付キ意見草稿]	書類	石黒忠憲		[明治28]			墨書	3	枚	「大本営」用箋	
1741	[大倉高等商業学校卒業式の祝辞原稿]	書類			昭和5	3	16	印刷	1	枚		封筒、翻刻原稿
1742	[日清戦争における伝染病発生状況について]	書類						墨書	8	枚	「陸軍省」用箋	
1743	第二回北越親睦会大紀事略	書類						墨書	6	枚	草稿	
1744	福島大将を思ふて	書類	男爵 石黒忠憲					ペン	2	枚	草稿	封筒
1745	[演説原稿 石川県の医学校について]	書類						墨書	3	枚	「監軍本部」罫紙	
1746	[好求会録事草稿]	書類						墨書	2	枚	「好求会録事」など。「石黒氏蔵版」用箋。	封筒
1747	[赤十字関係草稿]	書類						墨書	12	枚	「陸軍省」罫紙	
1748	[医学校設立関係草稿]	書類						墨書	2	枚	「内務省」罫紙	
1749	[石黒忠憲ドイツ語書翰草稿]	書類	T. Ishiguro		明治20	2	16	ペン	7	枚	ドイツ語。差出日は消印より推定。	
1750	[石黒忠憲書翰草稿]	書類	石黒忠憲		明治26	4	28	墨書	1	枚	「石黒氏私用」用箋	
1751	[大槻玄沢書翰写し]	書類						墨書	1	枚		封筒
1752	[エドウィンエルグネル宛書翰草稿]	書類			明治26			ペン	1	枚	肩書きは「希臘国派出クルップ会社ノ代理人 ■■(国名カ)陸軍砲兵中佐」とある。	
1753	[ローツベック夫人宛書翰下書き]	書類		軍医総監エキセルレンツローツベック夫人	明治26	12	12	墨書	1	枚	ローツベック夫人あて。封筒と書状の情報は一致していない。「石黒氏私用」用箋。	
1754	[ローツベック夫人の手紙訳文]	書類	アンナ・フォン・ローツベック		明治28	7	28	墨書	1	枚		
1755	[書翰草稿]	書類						墨書	1	枚		
1756	[書翰草稿]	書類						墨書	1	枚	ローツベック書翰の訳文カ	
1757	[書翰草稿]	書類						墨書	1	枚	前欠ならびに後欠	
1758	[断簡 書翰草稿ほか]	書類						墨書	5	枚	書簡の草稿。包紙1枚あり。	
1759	断簡	書類						墨書	6	枚		封筒
1760	[断簡 赤十字関係]	書類						墨書	1	枚		封筒

石黒忠恵関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
1761	[断簡 ドイツ語]	書類						ペン	1	枚	訳文あり。	
1762	診断書	書類	陸軍々医監石黒忠恵	陸軍中将谷干城	明治15	12	19	墨書	1	枚		封筒
1763	墨水十八景序	書類	栗園外史 浅田常		明治17			墨書	4	枚	甲申＝明治17年。	封筒
1764	明治十八年季上日東京大学植物園宴集	書類			明治18			墨書	2	枚		封筒
1765	時事偶感	書類	作者不知		明治34	11	21	墨書	1	通	年代は消印より推定。	封筒
1766	時事偶感(二)	書類	作者不知		明治34	12	1	墨書	1	通	年代は消印より推定。封筒に「近藤常二郎」と上書きあり。新聞切抜き(「北米通信」(九)河上清)が同封。	
1767	[乃木希典所蔵刀剣一覽]	書類	况齋石黒忠恵		大正2	1	7	墨書	1	枚		封筒、翻刻原稿
1768	『社会医策』編輯余録ほか	書類	早稲田 精堅堂主人		昭和2	5		印刷	2	枚		封筒
1769	舌代	書類				11	22	墨書	1	枚	番号29と1769は同封。	
1770	御請[茶会記録]	書類	大久保北隠					墨書	1	枚		封筒
1771	寄付太郎庵	書類	和敬会					墨書	2	枚		封筒
1772	古鐘庵八景	書類						墨書	1	枚		封筒
1773	春日砥古石之由来	書類						墨書	1	枚		封筒
1774	佐賀邦諺云	書類						墨書	1	枚		封筒
個人・履歴												
1775	大学 文部省 辞令 明治二年ヨリ四年迄ノ辞令	書類			明治2~4			墨書	1	綴		
1776	内閣 陸軍 内務 文部 辞令 自明治十年至廿四年	書類		(石黒忠恵)	明治10~24			墨書	1	綴		
1777	[賞勲局褒状]	書類			明治27	10	3	墨書	3	枚	牛込区役所移転への寄付につき。	封筒
1778	祝辞[軍医総監の就任につき]	書類	畑成国	陸軍軍医総監男爵 石黒忠恵	明治23	10	21	墨書	1	枚		封筒
1779	祝辞[軍医総監の就任につき]	書類	陸軍二等軍医正用 吉佐久馬ほか7名		明治23	11		墨書	1	通		封筒
1780	[退職祝状人名書上げ]	書類						墨書	1	枚		
1781	故石黒子爵追悼会ニ於ケル追悼ノ辞	書類	陸軍軍医団長 三木良英		昭和17	4	27	墨書	1	通		封筒

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
1782	軍医団雑誌 石黒子爵閣下追悼号	書類			昭和17	4		墨書	1	通	コピーを製本したもの。官歴一覧あり。	
1783	[石黒子爵追悼会関係史料]	書類	陸軍省医務局衛生課 長尾少佐	石黒忠憲閣下追悼会	[昭和17]		7	墨書	3	綴	「故石黒子爵追悼会ニ於ケル追悼ノ辞」、著作目録、メモ、名刺など	
1784	明治十三年三月三十一日夜会招請諸君尊名	書類	石黒忠憲		明治13	3	31	印刷	1	枚		封筒
1785	[夜会招待状]	書類	会主 石黒忠憲		明治13	3	31	印刷	1	枚		封筒
1786	北越親睦会広告	書類			明治13	2		墨書	1	枚		封筒
1787	[観艦式招待書類]	書類	海軍大臣男爵 山本権兵衛	陸軍軍医総監男爵 石黒忠憲	明治38	10	20	墨書	4	枚		封筒
1788	[ロックフェラー研究所からの招待状]	書類	The Rockefeller Institute for Medical Research	Surgeon General Ishiguro's				印刷	1	枚		
1789	[誕生日祝状]	書類	曾根高拝ほか30名	いしぐろだいせんせい		2	23	墨書	1	通		封筒、翻刻原稿
1790	[誕生会の招待状]	書類	British Legation	Surgeon General Baron Ishiguro's		5	24	印刷	1	通		
1791	[石黒宛のお礼状]	書類				4	25	ペン	1	通		
1792	感状	書類	岡崎生三カ		明治37	10	13	墨書	1	通	番号252と1792は同封。	
1793	[Gustav Ritter von Kreitnerの葬儀案内]	書類			明治26	11	20	印刷	1	枚		
1794	Todes-Anzeige	書類		Anna von Rotzbeck	明治40	1	19	印刷	1	通	Dr.Carl Ritter von Lotzbeckの会葬案内。	
1795	悼詞(瀬川昌耆)	書類	和敬会代表 正意三位勲一等 石黒忠憲		大正9	12	23	墨書	1	綴		
1796	[竹内正策葬儀通知ほか]	書類	竹内正虎・竹内正照	子爵石黒忠憲	大正11	5	6	墨書	1	通		封筒
1797	[亡友氏名書き上げ 田代基徳ほか16名]	書類						墨書	1	枚		
1798	衛生局員氏名 並宿所 十九年五月調	書類			明治19			墨書	3	枚	罫紙 内務省。後欠。	

石黒忠恵関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
1799	山県公書牘控目録	書類	石黒忠恵		大正14	9	4	墨書	1	冊	石黒宛山県書翰の目録。石黒本人が作成カ。山県より石黒宛封筒を含む。 原題は「山県公書子爵石黒忠恵所有 元帥陸軍大将公爵 山県有朋君書牘」。	
家政												
1800	明治二十四五年月計簿 保護預り函入明細	書類			明治24			墨書	1	冊	明治26年の記載もあり。	
1801	旧月計簿 明治四十一年 至四十三年六月	書類			明治41~43			墨書	1	冊	表紙のみ。	
1802	月計簿	書類			大正4~9			ペン	1	冊	大正4~9年の記述。	
1803	月計簿	書類						墨書	1	冊	明治19~22年頃の記述。	
1804	月計簿	書類						墨書	1	冊	表紙のみ。	
1805	借家証書	書類	竹内正義・多田健助	石黒忠恵	明治13	12	1	墨書	1	枚		
1806	蔵有物取調帳	書類	石黒		明治18	7	30	墨書	3	枚		
1807	請取証	書類	石黒謙造	石黒忠恵	明治21	10	14	墨書	1	枚		
1808	旧本 所得税届出原簿	書類			明治24~37			墨書	1	冊	明治24~36年が本文の記述。明治37・38・39年が挟み込み。	
1809	旧本 家産原簿	書類						墨書	1	冊	挟み込み多数あり。	
1810	〔大正10年~昭和4年 所得額申告書控〕	書類			大正10~昭和4			墨書	1	冊	「昭和八年第三種所得税申告書」の頁に「会計録」が挟み込み。	
1811	〔領収証〕	書類	津川屋治助、富士見軒	石黒	明治19	1・7	15・5	墨書	2	枚		
1812	〔通運会社領収証〕	書類	岩野沢駅内国通運社代取扱所ほか		明治14	7	28	墨書	7	枚	包紙1枚あり。領収書の日付は7月28日~8月5日。	
1813	牛乳通	書類	陸軍御用 牛乳所	石黒	明治19	2		墨書	1	枚		
1814	牛込区衛生会永世会員章	書類			明治28				1	個	専用の箱に在中。箱蓋の内側に「麹町区飯田町三丁目拾番地 鈴木梅吉老舗」と上書き。	
1815	〔施術予約書〕	書類	小幡英之助	石黒様		5	18	印刷	1	通		

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
雑資料												
1816	[宝暦絵図]	書類			宝暦2			墨書	1	枚		封筒
1817	捺印(下條桂谷)	書類						印判	1	枚	後欠。桂谷は下条正雄のこと。	
1818	吉田松陰先生遺墨・石印	書類	田口乾三	石黒忠憲	明治40	9		印刷	4	枚		封筒
1819	[梅花図]	書類						墨書	1	枚		封筒
1820	回神丹	書類	石黒忠憲方劑・妻久氏賀子施薬						2	袋	現物の薬が封入。	封筒
1821	般若心経	書類						墨書	2	枚	他に短冊あり。	封筒
1822	[営業案内 和洋染物類]	書類	鈴川鳴平					印刷	1	枚		
1823	萩原守一離婚届	書類	萩原守一	石黒男爵	明治35	2	10	墨書	2	綴		封筒、翻刻原稿
1824	カード(竹内式部ノ書)	書類						印刷	1	枚	名刺として使用カ。「大日本新潟港南浜通一番町 鈴井弥一」と印刷。	
1825	絵葉書(Berchtesgaden)	書類						印刷	1	枚	未使用。	
1826	絵葉書(ヴィルヘルム2世)	書類						印刷	1	枚	未使用。	
1827	絵葉書	書類						ペン	1	枚		
1828	封筒(立見尚文)	書類			[明治37]	6	15	墨書	1	枚	封筒のみ。立見の名刺が同封。年代は消印より推定。	封筒
1829	封筒(Hotel Pennsylvania)	書類		子爵石黒忠憲殿	大正10	7	3	墨書	1	枚	年代は消印より推定。	
1830	封筒(寺内伯手紙)	書類						墨書	1	枚	封筒のみ。	
1831	封筒(寺内正毅ほか)	書類	寺内正毅、裕庚、渡辺洪基、伊東祐亨、小野利教					墨書	10	枚	封筒のみ。	封筒
1832	封筒(東郷)	書類	東郷拝	石黒男爵閣下				ペン	1	枚	封筒のみ。“Societe Japonaise De La Croix-Rouge”の封筒を使用。	
1833	封筒(二宮忠八)	書類	二宮忠八	子爵石黒忠憲殿				墨書	1	枚	封筒のみ。	封筒
1834	封筒(長谷場純孝)	書類	長谷場純孝	石黒男爵閣下				墨書	1	枚	封筒のみ。	封筒

石黒忠恵関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
1835	封筒(松平乗承ほか)	書類	菊池左文、佐藤眼科病院、松平乗承、牛込新潟県人社、富田儀作、佐藤国治、西脇銀行	石黒忠恵閣下				墨書	7	枚	封筒のみ。	
1836	封筒(ローツベック手紙)	書類						墨書	1	枚	封筒のみ。	
1837	封筒(夢陥旅順城 七言一首)	書類						墨書	1	枚	「山県公書牘控目録」二、封筒のみ。	封筒
1838	封筒(故友人詩箋)	書類						墨書	1	枚	封筒のみ。番号443・1154・1838は「戦死者手紙」として一括。	
1839	封筒(独乙大字手紙)	書類						墨書	1	枚		
1840	封筒(ドイツ人カ)	書類		Dr.Ishiguro				ペン	1	枚		
1841	包紙(茶友手紙)	書類						墨書	1	枚		封筒
1842	包紙(三十七八年役出征軍人手紙ノ一)	書類						墨書	1	枚		
1843	[石黒忠恵関係切抜]	書類						印刷	14	冊		
1844	[石黒忠恵関係雑誌記事コピー]	書類						印刷	11	冊		
1845	[徳川慶久伯爵にかんする抜粋]	書類						墨書	1	通	新聞のコピー	
1846	[葬儀場建設にかんする抜粋]	書類						印刷	2	枚	新聞のコピー	封筒
1847	[沼倉延幸氏論文抜刷、書翰翻刻ほか]	書類			昭和59			印刷	5	袋		
日記												
1848	営務日記 卷一 自明治二十七年六月三日 至七月二十七日	日記			明治27			ペン、鉛筆	1	冊	裏表紙(貼紙)「営務日誌 六冊ノ内一」	
1849	営務日記 卷二 自明治二十七年七月廿七日 至十月廿四日	日記			明治27			ペン、鉛筆	1	冊	裏表紙(貼紙)「営務日誌 六冊ノ内 二」	
1850	営務日記 卷三 自明治廿七年十月廿六日 至同十一月二十六日 第一軍巡視口誌	日記			明治27			ペン、鉛筆	1	冊	裏表紙(貼紙)「営務日誌 六冊ノ内 三」「石黒野戦衛生長官」	
1851	営務日誌 卷四 自明治二十七年十一月廿七日 至明治廿八年二月十五日	日記			明治27～28			ペン、鉛筆	1	冊	裏表紙(貼紙)「営務日誌 六冊ノ内 四」	
1852	営務日誌 第五 自明治二十八年二月十六日 至四月十二日	日記			明治28			ペン、鉛筆	1	冊	裏表紙(貼紙)「営務日誌 六冊ノ内 五」	

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
1853	野戦衛生長官石黒忠憲 営務日誌 六 自明治二十八年四月十三日 至同年 十二月卅一日	日記			明治28			ペン	1	冊	赤の付箋紙2枚、白の付箋紙(「李伯相大人」、「北白川宮、御容体、御葬儀」と墨書き)2枚あり。野戦衛生長官部「初発以降四月廿三日マデ澎湖島馬公避病院虎列拉患者表」青焼き1枚が貼付け。	
1854	営務日誌 七冊ノ内 七	日記			明治29			ペン、鉛筆	1	冊	明治29年1月2日の記述から3月30日。「廿七八年戦役従軍出征人員及補充人員」墨書1枚、「自廿七年七月八日至廿九年二月廿日帰朝患者」墨書1枚、挟み込み。	
1855	石黒忠憲韓清旅の日記 全	日記			[明治27]			墨書	1	冊	和綴。10月25日から11月24日。11月3日に頁に付箋紙が貼り付け。	
1856	高野紀行 明治二十九年六月十二日 十九日、新潟紀行 明治二十九年七月 七日	日記			明治29	6		ペン、鉛筆	1	冊		
1857	明治二十九年十月台湾巡回日誌、同 三十年二月英照皇太后陛下大葬参列 日誌	日記			明治29～ 30	10		ペン、鉛筆	1	冊	「明治二十九年自四月十六日至十月三十一日 患者転帰百分比例比例表」嘉義衛戍病院(衛戍病院の罫紙に墨書き)、メモ(IMPERIAL GOVERNMENT TELEGRAGHSの裏にペン書き)、台湾の地図が挟み込み。ノート内の始まりには「英照皇太后陛下御大葬の記」	
1858	観楓紀行 下 明治卅年十一月	日記			明治30	11		ペン	1	冊	手帳サイズ。	
1859	明治三十七年七八月巡回日記、卅七 年七月巡回日記 下	日記			明治37	7		ペン、鉛筆	1	綴	手帳を2冊綴ったもの。貼紙「小倉 熊本 佐世保 福岡 広島 松山 善通寺 高松 姫路 大阪 名古屋 仙台 函館 青森 弘前」	
1860	明治三十八年巡回日誌 二 台湾	日記			明治38			ペン	1	冊	附「台湾諸官衙各団体職員概見表」明治三十八年七月一日調 台湾総督府陸軍幕僚副官部」刷り物1枚附	
1861	四国巡廻手帳 明治三十五年十月十 五日より十月廿七日迄	日記			明治30年 代	10		ペン、鉛筆	1	冊	手帳サイズ。	
1862	明治四十三年四、五、月満韓巡回手記	日記			明治43			ペン	1	冊	「赤十字社の慰労会」(6月5日付『国民新聞』)が挟み込み。	
1863	美島日録	日記	石黒忠憲					ペン	1	冊	10月12日から10月27日	
1864	日録(鎮台病院概況ほか)	日記	石黒忠憲					墨書	23	丁	罫紙 陸軍省	
1865	御留守中日記帳	日記	執事					墨書	7	枚		
1866	懐中日記 明治二十年上半分	日記			明治20			鉛筆	1	冊	手帳サイズ、印刷局の作成	
1867	日乗 卷二 自明治廿年九月一日 至 廿一年一月廿六日	日記			明治20～ 21			ペン	1	冊		
1868	日乗 卷三 自明治廿一年一月廿七日 至 年 月 日	日記			明治21			ペン	1	冊	記述は7月23日分まで、その他メモあり、附「独逸老帝一代記日録」ペン書き2枚	
1869	日乗 卷四 自明治廿一年七月廿四日 (巴里) 至同年十二月卅一日	日記			明治21			ペン	1	冊		

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
1870	日記 明治22年	日記			明治22			ペン	1	冊	当用日記 印刷局	
1871	日記 明治23年	日記			明治23			ペン	1	冊	当用日記と同形であるが、扉、奥付なし、複製本か？背革やや難、1枚目とれ。見返しに書類1綴が挟み込み(総経費147円66銭8厘の支出内訳。明治23年1月3日～25日の旅費)。	
1872	日記 明治24年	日記			明治24			ペン	1	冊	当用日記 金原喜一	
1873	日記 明治25年	日記			明治25			ペン	1	冊	当用日記 金原喜一	
1874	日記 明治26年	日記			明治26			ペン	1	冊	当用日記 金原喜一	
1875	日記 明治27年	日記			明治27			ペン	1	冊	当用日記 金原喜一。10月18日に「伝染病人費」(陸軍省の罫紙を使用)1枚が挟み込み。	
1876	日記 明治28年	日記			明治28			ペン	1	冊	当用日記 金原喜一、8月23日に家の図面1枚が挟み込み、うしろの表紙内側破れあり。	
1877	日記 明治29年	日記			明治29			ペン	1	冊	当用日記 金原喜一	
1878	日記 明治30年	日記			明治30			ペン	1	冊	当用日記 金原喜一	
1879	日記 明治31年	日記			明治31			ペン	1	冊	当用日記 金原喜一。8月23日に不動産売却書類1枚(面積1995坪、売価18,000円)が挟み込み。見返しにも同書類(売価1035円30銭)1枚が挟み込み。	
1880	日記 明治32年	日記			明治32			ペン	1	冊	当用日記 博文館	
1881	日記 明治33年	日記			明治33			ペン	1	冊	当用日記 博文館。見返しに「ORIENTAL YOUNG MEN'S ASSOCIATION」(英文のパンフレット)が挟み込み。書類の切り抜き(新年式など)が2枚あり。	
1882	日記 明治34年	日記			明治34			ペン	1	冊	当用日記 博文館。	
1883	日記 明治35年	日記			明治35			ペン	1	冊	当用日記 博文館。補遺67頁に「茶室諸入用」が貼付。見返しの袋に史料あり(「古宇田君墓碣」1枚、領収証書2枚、手紙(妙心寺開山の事)1枚、メモ1枚、手紙(園より石黒忠憲あての手紙、(明治)41年1月5日の日付あり)1枚、メモ1枚)。	
1884	日記 明治36年	日記			明治36			ペン	1	冊	当用日記 博文館。182頁に記(金5円50銭、石黒飼い犬エレガの咬傷事件の顛末について、明治36年9月)1枚が、264頁に新聞切抜きが挟み込み。見返しの袋に史料あり(「貯金登記済通知書」2枚)	
1885	日記 明治37年	日記			明治37			ペン	1	冊	当用日記 博文館。見返しに名刺貼付(東京朝日新聞・渡辺萬蔵)、2頁にメモ貼付(徴兵令第25条により適齢届を区長に提出)、記(食事代金16円50銭の受領書、明治36年10月3日、華族開館内山崎武八郎より石黒あて)、「明治卅七年当用日記 附録 会計部」、見返しの袋に史料あり(名刺、領収書、通常為替金受領証書など)	

石黒忠憲関係文書目録

資料番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文庫情報
1886	日記 明治38年	日記			明治38			ペン	1	冊	当用日記 博文館。132頁に「通常為替金受領証書」、290頁に「晩餐会出席」、332頁に「郵便物受領書」が挟み込み	
1887	日記 明治39年	日記			明治39			ペン	1	冊	当用日記 博文館。見返しに名刺貼付(秋山隆蔵)。25・128・332頁に「郵便物受領書」、364頁に受領書が挟み込み。	
1888	日記 明治40年	日記			明治40			ペン	1	冊	当用日記 博文館。背表紙に難あり。87頁に「郵便物受領書」、178頁に手紙(借勘定および利息の支払いにつき、三菱合資会社寺西善四郎より石黒忠憲あて、明治40年12月25日)、232頁に名刺(福井虎次郎)、メモ(購入品の書き上げ)、受領書2枚、印鑑(信州上級郡網掛村泉口神社ノ印)などが挟み込み。	
1889	日記 明治41年	日記			明治41			ペン	1	冊	当用日記 博文館。、見返しにカタログ(「Allenbury's Milk-Foods」1908年10月)、新橋国府津間列車時刻表、記(明治43年1～12月の出納記録、佐藤佐平治郎より石黒忠憲御支配人安達伴次郎あて、明治40年12月25日)など挟み込み。	
1890	日記 明治42年	日記			明治42			ペン	1	冊	当用日記 博文館	
1891	日記 明治43年	日記			明治43			ペン	1	冊	当用日記 博文館	
1892	日記 明治44年	日記			明治44			ペン	1	冊	当用日記 博文館。6月26日に「処方」、7月9日に「郵便物証明書」、補遺20頁に付箋、見返しに下敷き(カタログ「BYNIA AMARA」)・領収書2枚などが挟み込み。	
1893	日記 明治45年	日記			明治45			ペン	1	冊	当用日記 博文館。見返しに図面1枚、11月17日に「大正元年十一月十七日午餐 富士見軒」が挟み込み。	
1894	日記 大正2年	日記			大正2			ペン	1	冊	当用日記 博文館。見返しの袋に「貨物受取表」2枚、「小為替金受領証書」1枚などあり。	
1895	日記 大正3年	日記			大正3			ペン	1	冊	当用日記 博文館。7月3日に「郵便物受領書」、8月11日に「TRANSLATION OF TELEGRAM」・名刺(森安信平)、10月1日に「郵便物受領書」「通常為替金受領証書」「小為替金受領証書」、見返しに下敷き2枚、見返しの袋に「貨物受領書」1枚あり。	
1896	日記 大正4年	日記			大正4			ペン	1	冊	当用日記 博文館。見返しにメモ・監査表各1枚	
1897	日記 大正5年	日記			大正5			ペン	1	冊	当用日記 博文館	
1898	日記 大正6年	日記			大正6			ペン	1	冊	当用日記 博文館	
1899	日記 大正7年	日記			大正7			ペン	1	冊	当用日記 博文館	
1900	日記 大正8年	日記			大正8			ペン	1	冊	当用日記 博文館	

石黒忠憲関係文書目録

資料 番号	標題	区分	作成者	宛先	年	月	日	記述法	数量	単位	備考	不円文 庫情報
1901	日記 大正9年	日記			大正9			ペン	1	冊	当用日記 博文館	
1902	日記 大正10年	日記			大正10			ペン	1	冊	当用日記 博文館	
1903	日記 大正11年	日記			大正11			ペン	1	冊	当用日記 博文館	
1904	日記 大正12年	日記			大正12			ペン	1	冊	当用日記 博文館	
1905	日記 大正13年	日記			大正13			ペン	1	冊	当用日記 博文館	
1906	日記 大正14年	日記			大正14			ペン	1	冊	当用日記 博文館	
1907	日記 大正15年	日記			大正15			ペン	1	冊	当用日記 博文館	
1908	日記 昭和2年	日記			昭和2			ペン	1	冊	当用日記 博文館	
1909	日記 昭和3年	日記			昭和3			ペン	1	冊	当用日記 博文館	
1910	日記 昭和4年	日記			昭和4			ペン	1	冊	当用日記 博文館	
1911	日記 昭和5年	日記			昭和5			ペン	1	冊	当用日記 博文館。	
1912	日記 昭和6年	日記			昭和6			ペン	1	冊	当用日記 博文館	
1913	日記 昭和7年	日記			昭和7			ペン	1	冊	当用日記 博文館	
1914	日記 昭和10年	日記			昭和10			ペン	1	冊	当用日記 博文館	
1915	日記 昭和11年	日記			昭和11			ペン	1	冊	当用日記 博文館	
1916	[明治21年1月～7月23日日記挿入書類]	日記						印刷	31	枚	封筒に「第二冊目 (明治廿一年一月～七月23(ママ)日」と上書きあり。番号1868の関連資料カ	